

ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

1

2023

January

職業奉仕月間

**あなたが
「つくっている」ものは？**

第51回

ロータリー研究会





1953(昭和28)年1月に創刊した『ロータリーの友』は、
本号で創刊70周年を迎えました。これからもロータリーライフの友でありたい。



創刊から70周年を迎えて

今号にて、創刊から70周年の節目を、皆さまと共に迎えることができましたことを祝いたいと存じます。

『ロータリーの友（以下、友）』は、日本における地区が二つに分割される際、互いの緊密性維持と情報共有を目的に、1953年1月、3,300部をもって創刊。現在、発行部数は約8万9,000部を数えるに至っております。

『友』は、日本のロータリー34地区のロータリアンのための機関誌として発行されております。毎号、国際ロータリー（R I）の方針、国内外のロータリーの会員の活動紹介を通じて親睦を推進。また、国内外における各種ロータリー情報を掲載することにより、ロータリー精神を涵養し、ロータリー活動の発展に寄与できるよう、各地区から選任された地区代表委員の皆さまと編集部が一体となり、制作にあたっております。

1991年には、エバンストンで開催された、世界に27誌（当時）ある地域雑誌編集長セミナーにおいて、『友』は「PRESIDENT'S GENERAL EXCELLENCE AWARD（R I会長総合優秀賞）」を受賞する、という栄に浴した際、

パウロ・コスタR I会長は「この賞の授与で最も大切なことは、『友』の読者が受賞者だ、ということです」とコメントされました。

ロータリーも現在、変化の潮流の中に置かれていますが、創刊70周年の節目に当たり、『友』発刊の目的を改めて確認し、これまでの基盤の上にさらに読みやすく、ためになる機関誌作りに努めてまいりたいと存じます。

雑誌は読み手によって価値付けられ、読み手によって育てられます。日本のロータリアンの皆さまと共に『友』の発展のために力を尽くしてまいりたいと存じます。

高野孫左エ門

ロータリーの友委員会委員長
一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事

親愛なる日本のロータリー会員の皆さまへ

『ロータリーの友』創刊70周年を記念し、日本のロータリー会員のこれまでの素晴らしい功績について記すことができ、大変うれしく思います。

日本のロータリーが100周年を迎えたのは、つい2年前のことです。長年にわたり、日本のロータリー会員の皆さまがロータリーのリーダーとして活躍され、特に環境プロジェクトへの支援や、最近ではウクライナでの救援活動において、リーダーシップを発揮されていることを誇りに思います。

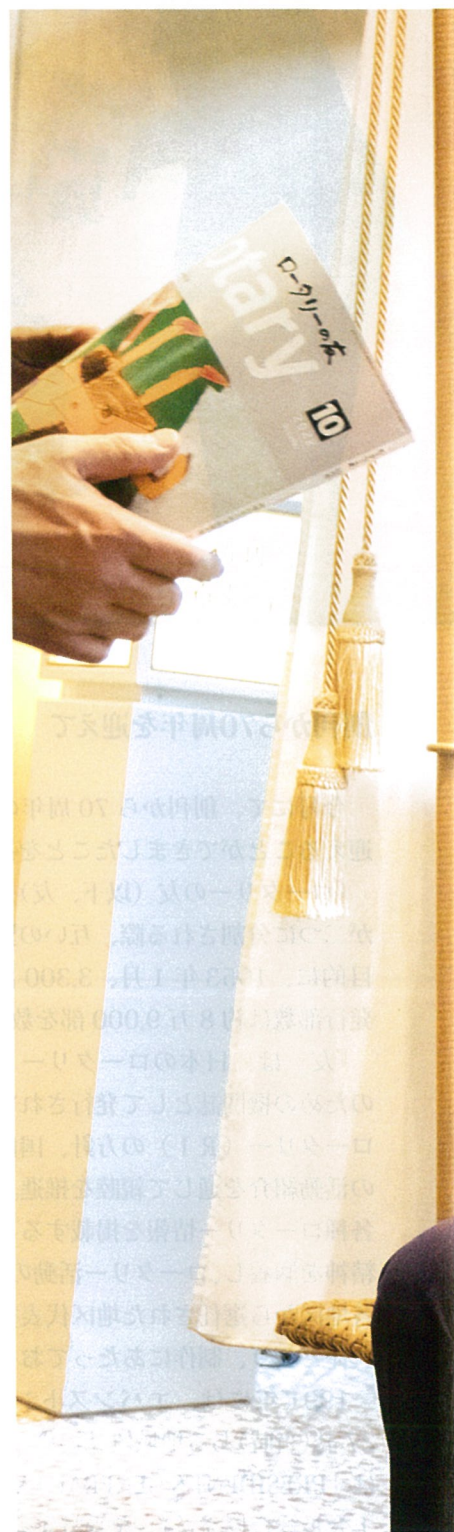
ご存じの通り、「DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）」は今日のロータリーの大きな焦点です。会員の皆さまは、より多くの女性のクラブ入会を促すことを含め、障壁を取り除き、全ての会員にとって温かく包括的な体験を生み出すために、懸命に取り組んでいらっしゃるものと存じます。私は、『友』がこの課題から手を引くことなく、日本中にもっと歓迎される環境づくりに向けて積極的な取り組みを続けていることを、誇りに思います。また、会員にとっての居心地のよさと配慮を重視することで、日本の若い人たちがロータリーに目を向けるようになり、日本の8万5,000人のロータリー会員がさらに増えることを期待しています。

ロータリーを「イマジン」する今年度、私は全てのロータリー会員に、「ロータリー・モメント」を思い浮かべてもらうようお願いします。人生を変えるような奉仕活動を行った時、あるいはクラブの会員や地域社会との特別な絆を感じた時など、皆さん、特別な思い出があるのではないのでしょうか。また、『友』に体験談を寄稿していただくと、他の会員にインスピレーションを与え、ロータリーの発展のために会員が行っている活動をより深く理解することができます。

皆さまの会員増強と奉仕への献身に感謝します。日本におけるロータリーのさらなる成功を、心よりお祈り申し上げます。

ジェニファー・ジョーンズ

2022 - 23 年度 R I 会長







“ロータリーを育てる”雑誌

『ロータリーの友』創刊70周年を、心からお祝い申し上げます。

70年前、日本が二つの地区に分かれるに当たって、会員たちが情報を共有し、意思疎通を円滑にすることを目的に創刊されたと伺っております。その後、R Iが認定する日本のロータリー雑誌としての使命を着実に果たしてこられました。また、R Iに関連する事柄や海外の情報、特集などは横組みで、国内の各地区やクラブにまつわる話題は縦組みで提供するといった工夫を重ね、日本のロータリアンがロータリーを深く理解することに大きく貢献されてこられたことは、誠に称賛に値すると確信しております。

今年度、私はロータリー財団地域コーディネーター(R R F C)とロータリー公共イメージコーディネーター(R P I C)とが提唱する「日本の津々浦々からの世界ポリオデー」を推奨し、これを活用して地区とクラブが“ロータリーを育てる”一助にしたいと考えました。『友』では、このことを積極的に取り上げ、関連するフォトコンテストの周知にもご協力いただきました。『友』の協力

とR R F C外の地域コーディネーターの相互連携のおかげで、世界ポリオデーには多くの地区やクラブが参加し、大盛況となりました。改めて、『友』の広報力の素晴らしさを実感させていただきました。

これからも、R Iおよび世界のロータリーの動向、日本各地の活動とともに、ポリオ根絶をはじめとする人道的奉仕および“ロータリーを育てる”に集約される、われわれの活性化目標の進捗状況^{しんちよく}もご報告くださるよう期待しております。そして、私たちロータリアンの知識をより深め、奉仕と親睦意欲を一層高めて、日本のロータリーのさらなる発展を支えてくださることも願っております。このたびは、創刊70周年、誠にありがとうございました。

佐藤 芳郎

2022 - 24 年度 R I 理事

CONTENTS

1月は 職業奉仕月間

祝！『ロータリーの友』創刊 70 周年 3

創刊から 70 周年を迎えて

ロータリーの友委員会委員長

一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事 高野孫左エ門

親愛なる日本のロータリー会員の皆さまへ

R I 会長 ジェニファー・ジョーンズ

“ロータリーを育てる” 雑誌

R I 理事 佐藤芳郎

R I R I 会長メッセージ 8

R I 会長 ジェニファー・ジョーンズ

特集 職業奉仕月間 11

あなたが
「つくっている」ものは？
— 私のプライド、その仕事 —

第 51 回ロータリー研究会 22

PICK OUT PROJECT 26
END POLIO NOW

特集 『友』創刊 70 周年特別企画 30

バックナンバーでたどる
『友』70 年 1990 ~

よねやまだより 40

米山から世界の町へ^①

ラオス・チャンパサック

Food for Thought ⑦ 42
佳き予感

地区大会略報 II 46

第 2500 地区／第 2790 地区／第 2510 地区／第 2780 地区／
第 2710 地区／第 2840 地区／第 2610 地区／第 2630 地区

NEW GENERATION 48

ローテックス 木村奈穂／ローターアクター 藤島澤奈

- 10 ● ロータリーとは
- 44 ● People of action around the globe
- 49 ● パズル de ロータリー／詰め碁
- 50 ● エバンストン便り
- 51 ● 2023 年国際大会 **R I**
● 財団管理委員長からのメッセージ **R I**
- 52 ● お知らせ 『友』誌ご購読数の変更について／地区別
クラブ数・会員数一覧表／『友』2 月号主要記事予定
- 53 ● 日本ロータリー分布図／奥付
- 54 ● 表紙について／パズルの答え／詰め碁の答え／内外
よろず案内
- 57 ● 投稿規定



Building connection through comfort and care

Rotary recently surveyed our members and found something that should be unsurprising but still caused many of us in Rotary leadership to sit up and pay attention: The single most important factor in member satisfaction is the club experience. How at home you feel in your club, how rewarding club meetings are, and how engaged you feel in service projects.

I have seen this firsthand across the Rotary world this year. When members feel an emotional connection to their club, they cannot imagine leaving. And that connection is often forged in “Rotary moments,” when people feel that special connection to the people around them and the impact of their service. Our Imagine Impact Tour is all about shining a light on those Rotary moments and encouraging our members to tell their stories.

But there’s something else that makes an enormous difference in building and sustaining that connection. It’s the comfort and care of our members — both Rotarians and Rotaractors. As my Rotary friend Todd Jenkins says, “People can’t see how you think, but they sure can see your actions.”

We are in the relationship business, and if we take care of each other — genuinely show concern for each other — then we will make friends for life, and we will do anything to widen that circle of friendship.

The question is: How do we live with our eyes wide open and do the things that really matter? We do this

by taking time for each other, actively listening to one another, and treating every Rotary member as equally valuable — no matter how long we have been a member or what position we hold.

People like me in Rotary leadership can offer all kinds of advice about how to make your club experience more valuable. But what’s most important is for everyone in every Rotary club to speak up and listen to one another. We should never be afraid to share with our fellow Rotary member what we expect to get out of our membership and have an open discussion about how to make that happen.

To lead a Rotary club is to invite such dialogue and to be willing to try new approaches. Good leadership is giving it away. Propping others up. Allowing others to feel the victory.

I have one last request for club leaders. We still need to do more worldwide to increase our female membership. It’s up a bit this year, but I know we can and must do better. Rotary is growing again. As I write this, we’re just a handful of members away from surpassing 1.2 million Rotarians again. So let’s redouble our efforts to bolster our clubs with great new members, then keep them for life by providing comfort and care.

JENNIFER JONES

President, Rotary International

↑
ジュネーブで世界保健機関が開催したイベント、「2022年世界ポリオデーとその先: 母子のためのより健康な未来」にローターアクトターたちと参加するジョーンズ会長

居心地のよさと配慮によって絆を結ぶ

ロータリーが最近会員に行ったアンケートの結果から、想定はしていたものの、リーダーたちの多くが思わず目を見張る事実が浮かび上がりました。それは、会員満足度を左右する最も大きな要因はクラブでの体験だということです。クラブがどれだけ居心地よく感じられるか、クラブの例会がどれだけ意義のあるものか、どれだけ自分が奉仕プロジェクトに関わっていると感じられるか。

私は今年度、この事実を世界各地のロータリーで目の当たりにしてきました。クラブとの絆を実感すると、会員は退会しようとは思わなくなります。そして、そういう絆から人と人との特別なつながりと、自分たちの奉仕の影響（インパクト）を感じる「ロータリー・モメント」が生まれてきます。「イマジン・インパクト・ツアー」では、そうしたロータリー・モメントに光を当てて、会員の皆さんに自分たちのストーリーを語ることを促します。

しかし、そういう絆をつくり、維持するのに大きな効果があるものが、他にもあります。それは、居心地のよさと配慮です。私のロータリー仲間トッド・ジェンキンスさんが言うように、「人々はあなたの頭の中をのぞくことはできないけど、あなたの行動は見ることができる」

私たちは人間関係の中で生きています。お互いを大切にし合い、お互いに心からの気遣いを示すことができれば、一生の友達ができ、その友情の輪を広げるために行動するようになることでしょう。

どうすれば日々の暮らしの中で大切なことを見逃さず、そのことのために行動を起こせるのでしょうか。答えは、お互いのために時間を使い、積極的に話を聞き、入会時期や役職にかかわらず、全てのロータリー会員を等しく接することにあります。

私を含め、ロータリーのリーダーたちは、皆さんのクラブ体験をより価値あるものにする方法について、いろいろなアドバイスをすることができます。しかし何より大事なことは、それぞれのクラブの各会員が自由に意見を話し、それに対し皆が耳を傾けることです。そしてお互いの話を聞くことです。ロータリーでの活動から得たいものをロータリー仲間と共有し、それを実現するためのオープンな話し合いをすることをためらってはいけません。

ロータリークラブを率いるというのは、そのような対話を促し、新しいアプローチを積極的に試みることなのです。優れたリーダーシップとは、与えること、そして支えること、そして勝利を味わわせることなのです。最後に、クラブのリーダーたちにお願ひがあります。世界中で、女性会員の増強にもっと注力すべきです。今年度は少し女性の会員数が増えていますが、もっといい結果が出せるはずです。ロータリーは再び成長の時を迎えています。執筆時で、ロータリアンの数が120万人を再び超えるのに、あとほんの少しのところまできています。ですから、大勢の新会員をクラブに迎え入れて、一生ロータリー活動が続けてもらえるように、配慮を高め快適なクラブ体験が得られるように、これまで以上に頑張っていきましょう。

ジェニファー・ジョーンズ

2022-23年度 国際ロータリー（R I）会長

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数37,050、会員総数1,201,081人（2022年11月16日国際ロータリー公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,216、会員数84,467人（2022年10月末現在）となっています。

2022－23 年度会長テーマ



イマジン ロータリー

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

Rotarian's **PRIDE**

職業奉仕月間 特集

— 私のプライド、その仕事 —

職業奉仕 (Vocational Service) の Vocational は、“天から与えられた、使命感を持って従事する天職”を意味するとされます。自分の職業を常に見つめ直し、その質を高め、誇りを持って、職業を通じて世に奉仕する会員が「つくっている」ものは？

「
つく
つて
いる
ものは
」
あなたが





毎朝、始発電車が
通過するのを
見守っております。



林 里紅

札幌北ロータリークラブ（北海道）
レール圧接

たくさんの人の思いを乗せて
電車は毎日線路の上を走って
おります。夢を持って試験会
場に向かう方、勇気を持って
プロポーズに向かう方、故郷
に別れを告げ新しい土地へ向
かう方、毎日の通勤・通学に利
用する方、たくさんの方々の
人生を乗せて……日々、北海
道のレールをつなぎ、メンテ
ナンスを行い、安全に快適に
電車が走れるレールを弊社は
提供しております。今日一日
が皆さまにとってすてきな一
日でありますように……との
思いを込めて、毎朝、始発電車
が通過するのを社員心を一つ
にして、見守っております。

Have a nice day

皆さまのすてきな一日がつく
れたら！



麻生満美子

吹田ロータリークラブ（大阪府）
子ども靴輸入販売

赤ちゃんが生まれて初めて履く靴。柔
らかい革素材の靴には、まるで母さ

んの手のひらで包まれているような「ぬ
くもり」が感じられるのです。ファース
トシューズを出産お祝い品として贈る
方の温かい笑顔と、赤ちゃん、そのご
家族の幸せな笑顔をつなぐ仕事に、誇
りを感じます。



野渡 和義

川崎ロータリークラブ（神奈川県）
医薬品製造

肌のうるおい:肌にとって最も大切な保
湿力の高い製品をお届けすること。心
のうるおい:お客さまの喜びは社員に
とっても心が潤うこと。社会のうるお

い:企業活動による利潤を社会に還元
すること。これが「うるおい」を大切に
する弊社の企業理念。創業者は「あなた
の肌のために～ for YOUR SKIN」→
yuskin」と名付けました。あれから65
年、これからも変わらない思いで歩み
続けます。



細田 千恵

浦和ロータリークラブ（埼玉県）
ガス供給

2022年4月、東京ガスネットワーク（株）は、東京ガスから都市ガスを皆さまにお送りするガス導管事業などを引き継ぎ、事業を開始。これまで培ってきたお客さま・地域とのつな

がり、「安心・安全・信頼」について、さらに努めてまいります。また、地域のエネルギーに関する課題解決と、地域発展への貢献も担っていきたいと思っています。

私も、この地の人になる



事務所	
エイト Associate	
今井 陽子	
中村 健人	
虎頭 信宏	
羽柴 研吾	
村尾 卓哉	事務事務
近藤 素子	
脇山 泰朋	
佐々木 遼那	事務事務
三瀬 崇史	事務事務
坪場 傑	
奥村 佑亮	
鄭 敏雄	
Peter Cassidy	

弁護士法人
東町法律事務所
HIGASHIMACHI, LPC

日中間の
双方向法律
サービス

私も、晴れやかになる

麦 志明

神戸東ロータリークラブ（兵庫県）
涉外弁護士

神戸を主な拠点として、主に東京・大阪で弁護士業を行っています。在日華僑（かきょう）であるというバックグラウンドから、中国の企業・個人が関係する日本国内における訴訟・投資契約・企

業法務・国際相続・在留資格の取得などのインバウンド法務、日本の企業が関係する中国国内における訴訟・投資契約・企業法務・国際租税などのアウトバウンド法務など、中国に関連する法律サービスを広く取り扱っています。紛争が解決したときに、依頼者さまのお顔が晴れやかになっていると、こちらも晴れやかな気持ちに。そこにやりがいを感じます。



阿部 俊範

石巻東ロータリークラブ（宮城県）
獣医

動物病院を開業している獣医師です。妻の容子は頼もしい仕事仲間。犬、猫はもとよりハムスター、フクロモモンガ、ヘビ、カメ、野生鳥獣まで来院します。そんな患者さんが皆元気に、幸せになるよう祈念しながら、診察・治療をしています。2011年3月のあの震災をくぐり抜けた、人と動物の幸せのために。

人も動物も、取り残さない



盛島美智子

東松山むさしロータリークラブ（埼玉県）
歯科医師

歯科医院を開業し院長歴38年。地域のホームドクターとして、お子さまからお年寄りまで「安心」して通院してもらえるようスタッフ全員で、チーム医療に取り組んでいます。きめ細かな医療

サービスを目指し、副院長の娘と共に、専門医を得て新しい知識、技術、器具を導入し、幅広い治療と安心を提供できるよう、日々努力しています。

嶋村 理郎

萩ロータリークラブ（山口県）
ポリエチレンパイプ製造

多様なポリエチレンパイプを作っています。実はポリエチレン、地球環境に優しい素材。リサイクルできる材料として農業用や土木用に使用され、パイプを通し、わが社は地球環境に貢献しています。今後もSDGsに適した製品作りに励みたいです。それは、「水と環境」をつくることですから。

水と
環境

岡山 信広

六ヶ所ロータリークラブ（青森県）
風力発電事業

私は開拓3世です。祖父が国策による酪農でこの地に入植し、父も国の諸施設の仕事に携わってきました。3代目の私は風力発電事業のほか、先代からの建設業や畜産業なども手掛けております。六ヶ所村と周辺地域の強風に先祖は悩まされてきましたが、今やその強風が資源の時代に。ここ睦栄（むつさかえ）風力発電所は、雇用と納税という形で地域に貢献しています。風力発電は「再生可能エネルギー」と称されますが、寄稿に当たり「エネルギー」の和訳を再考すると『動力』を見いだしました。「電力」という『動力』の供給とともに、経済活動に『活力』を与えるため、風力発電は大変有意義であると信じ、これからも推進してまいります。高さ80mで回る羽根の下で、今日も風に吹かれながら！

動力
活力！



対崎 育代

掛川ロータリークラブ（静岡県）
フラワーショップ

13歳から学んできたお花。でもお花屋さんは無理、と思っていたら「掛川のシャッターの閉まっている店を少なくしたい」とのお話。小さなお店を開いて20年。花嫁さんがブーケをお持ちの時の笑顔、エンディングの花祭壇のお写真周りの花に「すてきですね」、お小遣いで母の日のカーネーションを買いに来てくれる子どもたち。「疲れたら昼寝して」とクッションを買ってくれるスタッフに支えられる、街の小さなお花屋さん!! 人の営みを生きた花で支える。これからも、ずっと。



密井 康一

喜多方ロータリークラブ（福島県）
生花販売

喜多方の街の花屋です。父の後を継ぎ、2代目として経営しています。花屋という職業は、お客さまの想(おも)いを「カタチ」に

するものだと思っています。うれしいとき、悲しいとき、言葉に表せない気持ちを、花束やアレンジメントという作品にして日々、お客さまの代弁者として一輪、一輪丁寧に制作しています。



祖父江佳乃

名古屋北ロータリークラブ（愛知県）
仏教

徳風山有隣寺の住職の私がつくろうと試みているのは、かの聖徳太子「和を以て貴しと為す」から頂いた「和」。和とはなごみ。なごみとは手を合わせる心。貴とは大切。ご飯を食べる手とお尻を拭く手、どちらも同じ手です。同様に、良いこともするのに、つい人と比べる浅ましい心も持ち合わせるのが人間。そんな自分を手を合わせ、内観する時を設けてほしいのです。自身が顕（あき）らかになれば、人に優しくできます。優しさとは強さ、一流の人は皆優しいですよ。拌む心、優しさがつくりだせますように。和をつくりたい、と心から。



飯島 裕也

上田東ロータリークラブ（長野県）
薬剤師

日々、心がけるのは予防、治療、介護、福祉など人生の健康ステージに絶えず寄り添い、思いやりとともに患者やそのご家族、地域の生活者に役立つ「情報」を、薬剤師として判断、提供すること。ただ薬を販売するだけではなく、そこに個別最適化した「情報」という付加価値を提供する。それが、患者や地域のお役に立てることだと。職能に求められる価値は時代に伴い変遷するので、業務を常に見直しブラッシュアップしつつ、「古き良き」顔の見える関係も築き上げたいです。国内初導入の大型タッチディスプレイ Vmotion をバックにしたいの思い。



磯野 典正

勝浦ロータリークラブ（千葉県）
建設業（配管工事）

荒廃した300坪の竹林を無料で借り受けキャンプ場に整備、一日1組、1名さまから。春はウグイスの声と千葉のカツオで乾杯、秋の夜長、冬の燗酒（かんざけ）。火を囲み過ごす空間のコンセプトは「非日常」。建設したのはキャンプ場ですが、つくったのは「非日常」のつもりです。現代は多忙な日常の連続。時間に追われ、毎日を流されていると大切なものを見失ってしまいます。ぜひ、意識的に「非日常」を。

神山 芳子

下館ロータリークラブ（茨城県）

バレエスクール

幼稚園児の時に私の元にやってきた子が「先生、もう30年よ」。クラシックバレエの基礎が身に付いてくると、背筋が伸び、シャンとした姿勢が日常となり、とても印象的な姿が目映るように。体幹は長い間に培ってこそ得られる、の証しで、まさしく「継続は力なり」を身をもって示します。一つのことを「継続」することが、明日への糧とつながっていくことの大切さ。バレエ、そしてロータリーを通じ、次の世代の一人一人の「継続」をつくっています。



宮良 幸男

石垣ロータリークラブ（沖縄県）

豆腐製造業

沖縄では「あちこーこー（温かい）」の豆腐を、島豆腐と呼びます。島豆腐は温かくなくては。1967(昭和42)年創業のわがマルサン豆腐店では、今年から滋賀県産の大豆に替えて販売。国産大豆を使用することで消費者から「さらにおいしくなった」と喜ばれております。おいしい島豆腐を地域の皆さまに届けるため、朝早くから作業をするスタッフには感謝しています。お隣は勤続20年超えの宮古容子さん。



今野 正明

白鷹ロータリークラブ（山形県）
簡易郵便事業

山形県の花で、染色や口紅の原料となる「紅花」の栽培加工に携わって32年。「最上(もがみ)紅花」として名をはせた栽培加工技術は、400年以上山形で受け継がれ2019年、日本農業遺産に認定、続いて世界農業遺産認定も申請中。一次審査は通過しています。化学染料では不可能な「日本の紅」。皇室をはじめ、日本の伝統行事で大切に使われています。山形の紅花を誇りにし、後世に受け継いでいきたいと思っています。

吉泉 正幸

八女ロータリークラブ（福岡県）
茶製造販売業

創業135年、八女(やめ)茶の製造販売に43年携わり、現在は福岡県茶商工業協同組合の理事長として、国のG I (Geographical Indication) 認証を受けた昔ながらの自然仕立ての

「八女伝統本玉露」を柱として、世界に発信。今年2023年は、八女茶発祥より600年の歴史の重さを継承する年にあたります!! 今後も歴史を築かれた先代の英智と努力に感謝をしつつ、八女茶の素晴らしさを世界により一層伝えるべく、力強い活動を継続していききたいと思います。



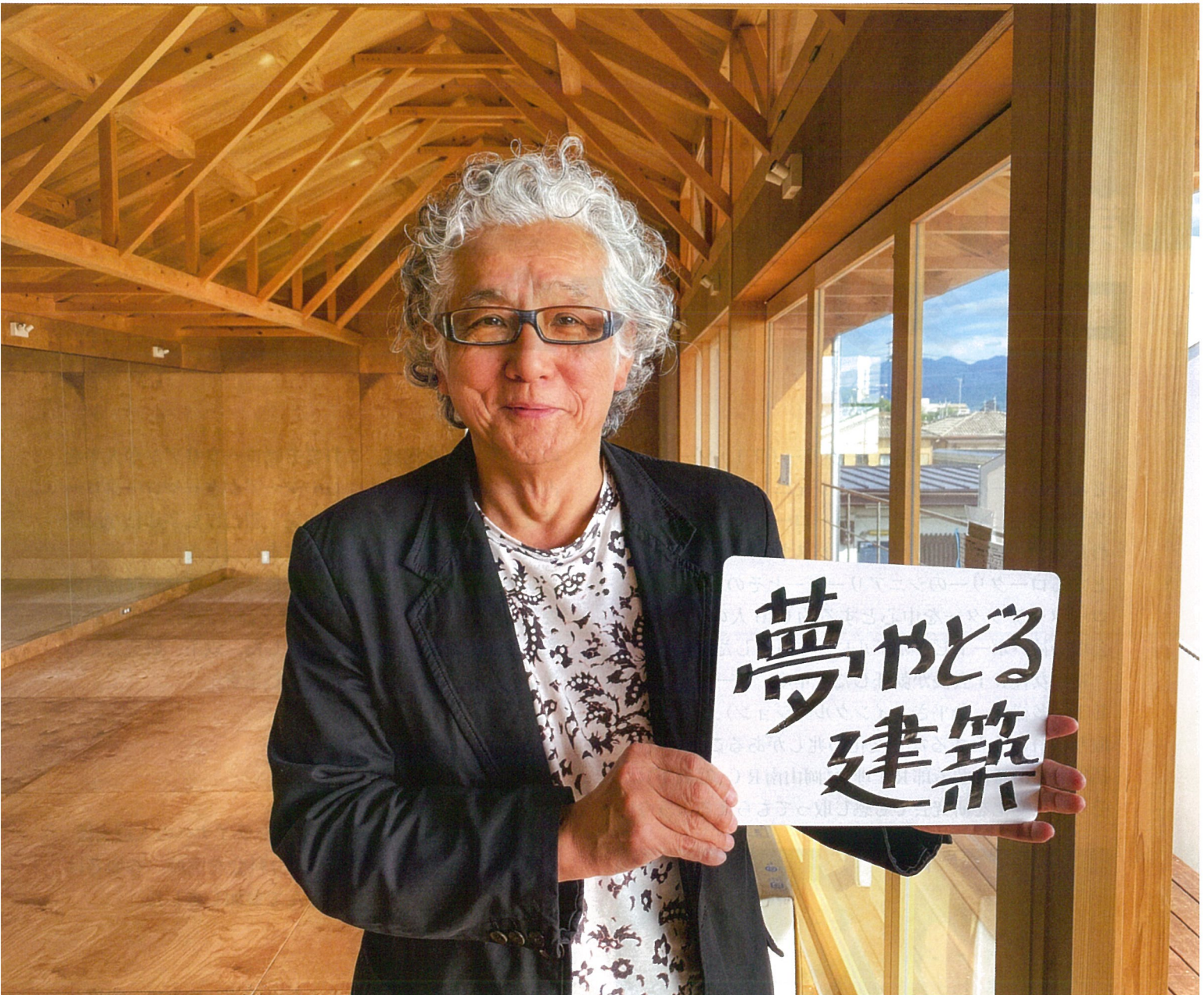
関谷 昌人

京都ロータリークラブ（京都府）

建築家

住宅や会社のビル、飲食店や古民家の改修などの設計を手掛けています。社会に対し、自身の設計した作品で新しい建築の可能性を提案することが建築家の重要な役割と考えていますが、同時に、設計を依頼されたクライアントの夢を実現することも大切

な仕事となります。建築の持つ社会性とクライアントの個性とのバランス、融合が求められます。建築はそれらを使う人の夢であり、同時に社会の夢でなくてはなりません。そんな「夢やどる建築」を目指して、日々仕事に取り組んでいます。



建築はそれらを使う人の夢であり、同時に社会の夢でなくてはなりません



第51回 ロータリー研究会

11月21～22日、国際ロータリー(RI)ゾーン1A、2&3のロータリー研究会が、ジェニファー・ジョーンズRI会長とイアン・ライズリーロータリー財団管理委員長を迎えて開催。ガバナー、パストガバナーをはじめとするロータリーのシニアリーダーとそのパートナー、ローターアクトーを中心とする約640人の参加者が、会場の神戸ポートピアホテルに集まりました。

初の女性RI会長が就任した今年度、ロータリーにD E I(多様性、公平さ、インクルージョン)を積極的に取り入れようとするなど変化の兆しがあることを受け、招集者である佐藤芳郎RI理事(岡山南RC、写真下)は、そうした変化を研究会でも感じ取ってもらえるよう今回



のプログラムを構成。これまではロータリアンが大半を占めていた登壇者にも、ローターアクトーやロータリー学友が加わり、発表される意見・報告にも多様性が反映され、活気に満ちた雰囲気が生まれました。

研究会の最後、ジョーンズ会長とライズリー財団管理委員長は、こうした新たな挑戦を高く評価。「研究会を楽しんだ」と感想が述べられました。以下、研究会での新しい取り組みを中心に、紹介します。

初めて① 分科会

「D E I」「環境と会員拡大」「ウクライナへの人道支援」「貧困と教育機会」のテーマ別分科会を実施。参加者は自分の関心があるテーマを選んで参加しました。

「D E I」

ロータリーが推進するD E Iを再確認した上で、組織としてD E Iを取り入れる対象として、主に女性と若者を中心に議論を進めました。他の国の女性会員数が増えているにもかかわらず日本の女性会員数が伸び悩んでいることに対し、この分科会に参加していたジョーンズ会長からは「国ごとの文化、習慣、そして変化に対応するス

ピードの違いを考慮した上で、しっかりと取り組んでいけばよい」とのコメントがありました。

「環境と会員拡大」

国有地を借りて80年計画で行っている北海道の函館ロータリークラブ(RC)のバードサンクチュアリプロジェクト、二酸化炭素を削減する藻を食べるウニを別の場所に移す宮崎県の日向RCの活動、環境分野で日本初のグローバル補助金事業となった、新潟西RCによるタイでのプロジェクトの事例が、各地区のガバナーから発表されました。

「ウクライナへの人道支援」

福田哲三氏(名古屋和合RC)と浦田幸一氏(伊勢中央RC)が中心となり、全国に呼びかけて26地区が合同で実施した、ウクライナ難民へ仮設住宅と車両を寄贈するプロジェクトなどを紹介。ウクライナ側からもお礼の動画が届き、短期間で多くの地区が支援の意志を表明したことで、本格的な寒さを迎える前に「多くの難民を救うことができた」と実感、自分たちの支援が活用されていることが確認できたと語りました。

「貧困と教育機会」

「ジョーンズ会長が2022年の国際協議会の講演の中で話されたロータリーマジックにヒントを得た」と、同分科会を監修した水野功氏(東京飛火野RC)。3人のロータリー平和フェローとICU(国際基督教大学)ロータリー平和センター長の新垣修氏が登場。現在ICUで学ぶルス・マリア・カレノさんが、メキシコからアメリカに移住した両親を持つ自身がフェローになるまでの経験を基に、教育を受ける機会を移民や難民に与えることの意義を語りました。「将来の夢は？」との質問に、「安定した生活ができ、自分の望みが実現し国連機関で就職できている今が夢そのもの」と答えるフェローも。貧困問題に関して、子ども食堂で活動をするローターアクターから質問もありました。

ジョーンズ会長語録

66

私たちがローターアクターとより緊密に連携するために、地区の委員会に委員としてローターアクターに加わってもらいましょう。SNS関係の作業をしてもらうだけでなく、彼らの声を聞き、彼らにアイデアを求めるのです。敬意を持って接することが重要です。

お茶席に招かれて、千玄室大宗匠(京都RC)とお話する機会に恵まれました。99歳になる千さんですが、話していてまさに若い思想家だと思いました。

ロータリアンになるローターアクターはわずか5%です。彼らはロータリーが大好きだというのに。彼らは私たちのDNAを持っています。

一緒に楽しんだ経験は私たちの組織の鼓動です(インクルージョン・ビュッフェにて)。

若い人たちがウクライナの戦争や新型コロナの問題で不安になる時代です。しかしこのような困難な時であるからこそ、ロータリーが影響力を発揮し、地域社会の支持を得るべきだと思います。

会員増強において数字には注意が必要です。単に増やすのではなく、ロータリーにふさわしい人を勧誘する必要があると思います。クラブで有意義なやりがいのある経験をして、楽しみながら成長していくような人を。

ロータリーのリーダーは、奉仕と親睦において、どうすれば会員がモチベーションとインスピレーションを維持できるかに関心を持つべきです。会員はクラブで得られる経験に満足していますか？ロータリーの中で、他にしたいことがあるのではないか？と。

”



初めて② 若者が壇上にたくさん

登壇者の一部がロータリアンではないセッションは、これまでの研究会でもありましたが、今回の研究会の三つのセッションのうち二つをロータリアン以外の人が占めたのは、今回が初めてのことでした。



そのうちの一つ目は、ローターアクトについて。今年度からローターアクトクラブがR Iの加盟クラブとなりましたが、ローターアクトクラブの自立という点で、日本ではまだ課題が多く残っています。登壇者は国際協議会に参加した経験を持ち、ロータリーに関する知識も経験も豊富な4人のローターアクト。現状を踏まえた上で、ロータリアンと共にした素晴らしい経験、現在目の前にある問題、ロータリアンへの要望、新しい取り組みを発表。ロータリアンを交えた登壇者のクロストークが進む中で、多くの本音が飛び出しました。その結果、ローターアクトがロータリーで活躍するためには、ロータリアンとのコミュニケーションや情報をもっと必要であり、それは双方からの働きかけが必要であるとい

うことが明確に。ロータリアンが今後ローターアクトの声に耳を傾け、どのような形でフィードバックしていくのかを考えさせられる機会となりました。

二つ目のセッション「未来へ架ける橋」では世界で活躍するライラリアン、米山学友、平和フェロー、ローテックス、ロータリー財団奨学生が会場と海外をオンラインで結び、ステージとスクリーンから登場。途中映像が乱れるハプニングもありましたが、その状況も楽しみながら、平和な未来のために、世界各地で活躍するロータリー学友が報告を行いました。

でもやっぱりポリオ

佐藤R I理事は、今年度が始まる前から、ロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)などR I役員のネットワークを通じ、改めてロータリーの最優先課題である「ポリオ根絶」に着目しようと呼びかけてきました。

ポリオが根絶した場合の社会に与える経済効果や、最近、アメリカでポリオが発症した経緯・由来など、現在の状況に即した説明があり、ポリオの知識をアップデート。30年以上にもわたりインドでポリオワクチンを投与し続け、国内外のロータリー会員にポリオ根絶の大切さ、奉仕の喜びを体感する機会を与え続けている関場慶博氏(弘前アップルRC)、子どもの頃の自分がポリオに罹患したと知った時の苦しみを記した母の手記を紹介した小林操氏(越谷北RC)の講演が行われました。

また、10月24日の世界ポリオデーに合わせて展開されたイベントの事例では、第2790地区(千葉県)、



世界ポリオデーイベント

フォトコンテスト 結果発表!

R P I C 賞



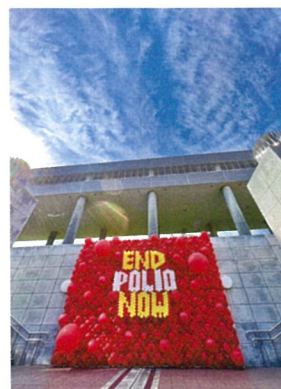
吉岡 毅(奈良RC)
「盧舎那仏にポリオ根絶の願いを込めて」

三木管理委員賞



紙本 瑞基(幸手RC)
「幸手市民の思い」

佐藤R I理事賞



鈴木 寛尚(富里RC)
「ポリオ根絶への思いを青空に誓う」

第 2670 地区（四国）、第 2750 地区（東京）が報告。ユニークな取り組みに注目が集まりました。世界ポリオデーフォトコンテストの報告では、告知から締め切りまで約 2 カ月という短時間ながら集まった 157 点の作品の中から、ジョーンズ R I 会長賞、ライズリー管理委員長賞、佐藤 R I 理事賞、三木管理委員賞、R P I C 賞の受賞者が発表されました。ジョーンズ会長、ライズリー氏も、力作ぞろいで甲乙つけ難かったと講評。



最新のポリオ関連情報を知り、ロータリアンが果たすべき約束の重要性を再認識し、共にポリオと闘う力強い仲間が大勢いることを確認できました。

なおジョーンズ会長は、来日前、世界保健機関(WHO)のテドロス・アダノム事務局長と会談（横組み P50 参照）した際に、「ポリオ根絶を達成したら、ノーベル平和賞を受賞するのはロータリーでしょう」と言われたとのこと。日本のロータリアンのポリオ根絶活動を知ったジョーンズ会長、ノーベル平和賞受賞の瞬間を「イマジン」したかもしれません。

初めて③ インクルージョン・ビュッフェ

佐藤理事の所属する岡山南 R C のウクレレ同好会と、ウクレレ・ギター奏者のマキレレさんがハワイアンミュージックで参加者を歓迎。ウクレレ同好会はこの日のために練習を重ねたとのこと。参加者はライトをつけたスマホを掲げ、演奏に応えました。

会期中の晩餐会・パーティーの主体といえば、ロータリアンとそのパートナーの参加が通例でしたが、今回は、研究会に出席したローターアクターや若い学友なども参加。カジュアルで、多様性に富んだ夕食会となりました。

今年度ガバナーたちはおそろいのちょうネクタイで臨みました。会場中央にはダンスフロアが設けられ、ノリノリのシニアリーダーの姿に目がくぎ付けになるローターアクターも。楽しい時間を共にすることで参加者同士の隔たりがなくなり、まさに狙い通りのインクルージョンな夜となりました。ダンシングクイーンがジョーンズ会長だったのは、言うまでもありません。

取材：『友』編集長 野崎 恭子



ライズリー管理委員長賞



彌富 照皇（熊本東南 R C）
「思いを待つ少女」

ジョーンズ R I 会長賞



深尾 兼好（鹿児島西 R C）
「やったあー！」

END POLIO NOW

10月24日の世界ポリオデーにちなんで、日本各地でポリオ根絶への取り組みが行われました



@ 成田国際空港 第2790地区

成田国際空港にてポリオ根絶啓発イベントを開催。広場にバルーンアートを設置し、会員約200人、千葉県立成田国際高校のダンス部や吹奏楽部の生徒約100人が「END POLIO NOW」Tシャツを着て参加。岸田文雄首相からのメッセージ入りチラシも配布した。15～31日には空港内のデジタルサイネージで啓発ムービーを流した。

(10月23日 千葉県)

@ JITリサイクルインクスタジアム

甲府RC

サッカーのヴァンフォーレ甲府対いわてグルージャ盛岡戦応援例会の開催に合わせ、ポリオ根絶に向けたPRブースを出店。子ども向けに塗り絵の体験会を行い、ポリオ根絶活動の紹介パンフレットと、「END POLIO NOW」のロゴ入り風船を配布した。用意した100セットの塗り絵は全てなくなり、大盛況のうちに終了。試合のハーフタイムには、ポリオ根絶をPRする長さ6m幅1.2mの横断幕を会員15人で掲げてピッチを一周した。

(10月23日 第2620地区 山梨県)



@ 津志田河川自然公園

熊本西RC

地元の津志田河川自然公園で実施された第11回「乙女河原クリーンキャンペーン」を後援。清掃後にフリーマーケットが開催され、キャンプ道具の販売や飲食ブースが多数出店される中、ポリオ根絶のための募金活動を実施。たくさんの人から寄付があり、ポリオの現状を尋ねる人もいた。

(11月5～6日 第2720地区 熊本県)





@川口SKIPシティ &川口駅

川口RC/川口RAC
10月21～23日、川口SKIPシティで開催された市産品フェアにブースを出店。23日はJR川口駅東口のペデストリアンデッキでも募金活動を行い、ウクライナ支援に34万258円、ポリオ根絶支援に7万7,445円が集まった。

(第2770地区 埼玉県)



@本場大館きりたんぽまつり

大館・大館中央・大館北・大館南RC

大館樹海ドームで開催された「第50回本場大館きりたんぽまつり」で、今年度で5回目となるポリオ根絶募金活動を行った。

(10月8日 第2540地区 秋田県)

@まちの駅・ 新鹿沼宿

鹿沼・鹿沼中央・鹿沼東RC

鹿沼市役所にて市長らにポリオ根絶の趣旨説明をした後、出発式を行い、市街地にてプラカードなどを掲げて行進。「まちの駅・新鹿沼宿」にて募金活動や関連グッズを配布した。

(10月24日 第2550地区 栃木県)



@ボウリング場

第2790地区・第2グループ

3回目となる、ポリオ根絶チャリティーボウリング大会を開催。会員家族や友人ら過去最多の総勢79人が参加。各レーンに設置したコインボックスやスマイルの募金が合計15万6,261円と、こちらも過去最高額が集まった。

(10月16日 千葉県)



@例会

東京愛宕RC

昭和20年代に青森でポリオの感染拡大防止に奮闘した看護師の映画「じょっぱり 看護の人 花田ミキ」を製作中の五十嵐匠監督の卓話を実施。花田さんが監督の命の恩人であったことが製作のきっかけ。映画は今年公開を目指し、映画製作への支援を呼びかけている。

(10月4日 第2750地区 東京都)



@熊本マチナカ音楽祭

第 2720 地区第 3・4 グループ
熊本第 3・4 グループのインター
シティミーティングを熊本市で開
き、ポリオ根絶に関する講演を実
施。その後、開催中の「熊本マチ
ナカ音楽祭」の会場に移動し、お
そろいの真っ赤な T シャツ姿で
ポリオ根絶の寄付を呼びかけ、総
額 40 万 1,780 円の募金が集まっ
た。

(10月23日 第2720地区 熊本県)

@ぞっこん!さく市

佐久 RC

「ぞっこん!さく市」にブースを出店し、ポリオ根絶のためのチラシ配布や募金活動を実施。クラブのイメージキャラクター「あんずちゃん」も缶バッジやポップコーンを配布して広報活動を盛り上げた。

(10月1〜2日 第2600地区 長野県)



@子ども食堂

川口 / 鳩ヶ谷武南 RC

前年に続き、若手会員を中心に子ども食堂を開催し、メンバーは「END POLIO NOW」 T シャツを着用し参加した。会員 2 人の店舗から協力を得て用意した本格的なチキンと野菜のカレー 400 食分は全て配布。バルーンアートやおもちゃのくじ引きも行った。

(10月23日 第2770地区 埼玉県)

@道路 弘前 RC

世界ポリオデーに向け、交通量が多い大通りに特大PRポスターを掲示。活動への協力を呼びかけた。

(10月15日 第2830地区 青森県)





@古河関東ド・マンナカ祭り

古河中央RC

「第24回古河関東ド・マンナカ祭り」にブースを出店。ロータリーのロゴ入り風船ヨーヨー釣りやお菓子を配り、パネルでポリオ根絶などロータリーの活動を広報した。（10月8～9日 第2820地区 茨城県）



@ジャズ&クラシックコンサート

名寄RC

チャリティーコンサート「END POLIO NOW ポリオ根絶活動『あと少し』ジャズ&クラシックコンサート フルートの調べ」を移動例会として一般に公開し開催。会員出演によるキャンペーンビデオも上映し、協力を呼びかけた。（10月23日 第2500地区 北海道）



@信州駒ヶ根ハーフマラソン

駒ヶ根RC

「第9回信州駒ヶ根ハーフマラソン」で、走り終えたランナーにチューチューアイスを配り、ポリオ根絶のための寄付を呼びかけた。（9月25日 第2600地区 長野県）



@食の祭典 in ぎふ郡上&ふるさとしりと夢まつり

郡上長良川RC

初のポリオ根絶募金に挑戦。「食の祭典 in ぎふ郡上」（9月17～18日）と「ふるさとしりと夢まつり」（10月30日）で実施。初回は手探りだったが、「しりと夢まつり」では地区大会の物販ブースで見つけた「END POLIO NOW」のロゴ入り風船を準備して配布。その効果もあって、3日間の合計で6万1,144円の浄財が得られた。（第2630地区 岐阜県）



@幼稚園&保育園

岡山備南・岡山岡南・岡山西南RC

地元の5園に通う園児約200人に紙石けんとクラブ特製のチラシを渡し、ポリオ根絶の大切さを伝えた。看護師による手洗い指導も行った。（9月26日 第2690地区 岡山県）

『ロータリーの友』創刊 70 周年特別企画
バックナンバーでたどる

『友』70年

1990 ～

9月号(1950・60年代)、11月号(70・80年代)に続く第3回は90年代以降の出来事の一部を『友』誌面で振り返ります。『友』ウェブサイトで公開している創刊号(1953年1月号)からのバックナンバーを、ぜひご活用ください。

※ID・パスワードはクラブ事務局にお尋ねください。

モスクワにロータリークラブ結成

Rotary milestone—A club in Moscow
アーチャー会長が4～5ページで予告しているように、本号の締め切り後にモスクワRC結成の大ニュースが入りました。やりくりして掲載します。



上:1990年ポートランド国際大会で。初参加のソ連と、R Iに復帰した東欧各国のクラブ代表が記者会見。
下:ソ連・東欧代表のパネル討論後、演壇に多数のロータリアンが握手に詰めかけた(90年9月号)

“東欧にロータリーが復活、モスクワにもクラブができた。この大会にそれらクラブの代表が現実に参加した。一つの世界を目指すロータリアンの夢はさらに大きく膨らんだ。その意味でポートランド国際大会は歴史的大会となった”(90年9月号)

関連記事

「ロータリアン家族のロシア見聞記」(57年2月号)／「ソ連の素顔」(88年7月号)／「目をよく見て下さい R Iがソ連の若い指導者をホスト」(89年4月号)／「アーチャーR I会長モスクワを訪問」(90年3月号)／「夢は正夢—ソ連・東欧が参加 歴史的国際大会開く」(90年9月号)／玉村文夫「ロシア平和フォーラム ロータリーを学ぶ新国家の礎に 苦闘するロシアRCに友好の手を」(95年12月号)／「ナホトカRCチャーターナイト」(96年7月号) など……

10月 東西ドイツが統一

1990

冷戦終結。ソ連にロータリークラブ創立へ
90年5月号で「モスクワにロータリークラブ結成」を速報。88年春の米ソ首脳会談での合意を受け、同11月にソ連から若手指導者160人がアメリカを訪問しサミット会議を開催。うち2日間のホストをR I(国際ロータリー)が務めました。その流れで89年11月、R I会長がソ連を訪問しロータリークラブ設立の可能性を打診、実現となりました。これでR Iはソ連に奉仕クラブを持つ世界初の民間国際団体に。この頃ソ連関連の記事は多く、ロータリーの世界平和への思いが伝わってきます。



右上・下:根室西RCがサハリンから70人を招き、戦後初の日ソ子ども交流を実現(91年10月号) 下:バルセロナ国際大会でゴルバチョフ元ソ連大統領が基調演説。ロシアのクラブ数は71に(02年10月号)

日本、バブル
経済崩壊

7月 地区番号が4桁
に。日本31地区に

12月 ゴルバチョフ大
統領辞任。ソ連邦崩壊

7月 日本33地区に

7月 日本34地区に

大江健三郎氏がノー
ベル文学賞受賞

1991

世界のロータリー地域雑誌から
『友』がグランプリに！

91年4月号では「R I 第7回ロータリー地域
雑誌編集長セミナー略報」を掲載。27カ国の
地域雑誌のうち、『友』が「R I 会長総合優秀賞」
(グランプリ)に選ばれました。



受賞した6誌の編集長（『友』は左から3番目）

ロータリー創始者の訪日(1935年)回想録

90年2月号では2月23日のロータリー創立
記念日にちなみ、35年に初来日したポール・
ハリスの滞在時の模様を、彼の著書から紹介
(『The Rotarian』編集長が要約し寄稿)。



“ポール・ハリスは、この日本滞在中、米山
梅吉氏よりハシの使い方を教わった”

1992 1994

財団学友が内外で活躍

財団学友が国連軍縮部門のトップへ
94年11月号に、1987－88年度
ロータリー財団国際親善奨学生で、
国連難民高等弁務官事務所の中満泉
さんが寄稿。中満さんはその後、国
連事務次長兼軍縮担当上級代表に就
任(17年5月号)。国連本部で働
く日本人で最高位の職員の一人とな
り、軍縮部門を統括しています。



つつ、同時に活動を効率的に行う
は、時に非常に難しいことだった。
2年、ボスニアの各地をたびたび
月からは、ザグレブの国連軍本部
から出向し、国連事務総長特別代

財団学友関連記事

「山崎直子さんを招き宇宙少年団を結成！」(2010年4月号)
／「ロータリー財団学友がロータリーへの恩返し ロータ
リー財団100周年記念シンポジウム開催」(17年1月号)／「財
団学友の上岡敏之さん 新日本フィル交響楽団の音楽監督に
就任」(17年10月号) など……

時のテーマを語る「ガバナー座談会」

(1976年5月号～2005年6月号)

5人程度の現役ガバナーによる座談会は約30年続きました。
テーマを追うだけでも、その時代の興味や関心、昔も
今も不変の課題などが見えてきます。



座談会テーマ

「ロータリーの発展は老・壮・青の融和にある」(77年
3月号)／「小さなまちの小さなクラブ」(81年2月号)
／「国際障害者年をいかに受けとめるか？」(81年5月
号)／「経済発展と環境保全におけるロータリー精神」
(90年6月号)／「さあ21世紀のロータリーが始まる」
(2000年12月号) など……

1月 阪神・淡路大震災

3月 地下鉄サリン事件

7月 ポリオ撲滅をR Iの最優先事項に。R Iのゾーン再編成で日本が1・2・3・4ゾーンに

11月 Windows95 日本語版発売

11月 「たまごっち」発売

1995

1995年1月 阪神・淡路大震災

ロータリアンも被災者となる中、全国で救援活動を実施。95年3月号で速報、4月号から続々と活動の投稿が寄せられています。95年10月号「大震災と職業奉仕」特集では、鉄道会社社長や病院院長、司法書士、生協組合長など兵庫県内企業のロータリアンの声を紹介。

神戸YMCAへ届けるバイク12台を積み出す第2680地区（兵庫県）の緊急輸送車（95年3月号）



そのバイクで物資の配給に向かう東京RC・宮崎幸雄会員（左）と横浜RCの吉村恭二会員（95年5月号）



“6月22日の全線開通は、涙の開通だった。（中略）人々は打ちひしがれてはいなかった。「生き抜かねば」と目は輝いていた”（神戸電鉄社長／神戸西RC・一本松康雄会員）

“今後の明るい希望の具体例としてクローズアップされたのがボランティアの台頭である。さまざまな局面で見られた「やさしさ」「思いやり」には目を見張るものがあった”（コープこうべ組合長／神戸東RC・木村正人会員）

関連記事

計馬忠「阪神・淡路大震災現況報告」（95年5月号）／「被災地に友情の手を」（95年6月号）／今井鎮雄「R I 理事就任にあたり 声をかけあうコミュニティがほしい」（95年7月号）／田中毅「阪神・淡路大震災復興事業報告書」（97年8月号） など……

1996

緒方貞子さん、栄誉に輝く

96年のロータリー国際理解賞は、ロータリー財団学友で国連難民高等弁務官の緒方貞子さんが受賞。96年6月号「難民の保護者」で緒方さんの経歴、9月号「人類への奉仕に向かって」でカルガリー国際大会での受賞スピーチを紹介。



“1951年、ロータリー財団の奨学金のおかげで、私は若い政治学専攻の学生としてアメリカの大学院での勉強を始めました。（中略）ロータリーとの接触を通じて地域社会での奉仕の大切さを学びました。ロータリーの標語「超我の奉仕」に深い感銘を受け、それ以来、この感銘が私を導いてきました”

※ロータリー国際理解賞とは？

80年のロータリー創立75周年時に創設。国際理解と親善、世界平和の推進に多大の貢献があったロータリアン以外の個人・団体に与えられ、最初の受賞者は日本の岩村昇博士（81年）。その他ローマ法王ヨハネ・パウロ2世（82年）、経口ポリオ生ワクチンの発明者アルバート・セービン博士（85年）、救世軍（88年）、ハベルチェコスロバキア大統領（90年10月号参照）、ジミー・カーター元アメリカ大統領（94年7月号参照）、ネルソン・マンデラ南アフリカ共和国大統領（97年9月号参照）など。後に「ロータリー国際理解と平和賞」と改称、04年に廃止。

参考：「ロータリーの最も高貴な賞」（91年5月号）

7月 香港、イギリスから中国に返還

11月 山一証券・北海道拓殖銀行経営破綻

2月 長野オリンピック

7月 日本35地区に

9月 アメリカで同時多発テロ

1997

1998

2000

2001

日本の会員数が最多に！

97年2月号掲載、96年11月末現在の「地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表」。『友』の集計で最多の会員数を記録しました。

地区	RC数	会員数(女性会員)	出席率(%)
第2500地区	68	3,401 (23)	86.32
第2510地区	69	4,313 (41)	86.19
第2520地区	43	1,960 (41)	84.69
第2530地区	60	3,260 (10)	89.73
第2540地区	43	1,902 (17)	85.05
第2550地区	51	2,745 (54)	91.66
第2560地区	94	5,640 (69)	90.46
第2790地区	80	4,365 (38)	89.43
第2800地区	54	2,531 (35)	88.39
第2810地区	44	2,039 (4)	90.25
第2820地区	55	2,972 (36)	88.38
第2830地区	43	1,800 (15)	84.21
第2570地区	54	2,836 (18)	90.54
第2580地区	69	4,903 (54)	89.78
第2590地区	56	3,214 (57)	89.05
第2600地区	56	3,273 (30)	94.84
第2610地区	60	3,314 (35)	91.83
第2620地区	81	4,619 (54)	93.30
第2750地区	83	6,231 (141)	88.52
第2770地区	78	3,945 (84)	89.69
第2780地区	67	3,570 (20)	91.19
第2630地区	77	5,130 (39)	94.90
第2640地区	69	3,909 (47)	91.63
第2650地区	89	6,780 (19)	98.29
第2660地区	81	5,702 (125)	94.90
第2680地区	72	4,239 (10)	94.38
第2690地区	66	4,269 (38)	92.56
第2760地区	76	6,375 (52)	98.85
第2670地区	71	3,954 (21)	90.59
第2700地区	59	3,999 (24)	93.88
第2710地区	70	4,323 (9)	95.11
第2720地区	71	3,416 (32)	90.44
第2730地区	60	3,221 (13)	88.05
第2740地区	55	3,162 (16)	91.57
計	2,224	131,312(1,321)	

※掲載後、各地区からの修正報告により数字は変動。
記録では96年11月末現在「13万1,342人」が最多。

長野オリンピックにミニ聖火台を寄贈

98年2月の長野オリンピック。白馬ジャンプ競技場のジャンプ台正面に、第2600地区（長野県）がミニ聖火台を寄贈（98年4月号）。全34地区の賛同を得て1億円（パラリンピックに約2,380万円）を大会組織委員会に寄付しました。同ジャンプ台では原田雅彦選手らが金メダルを獲得し、感動を呼びました。



周辺に地区内58クラブが各1本の桜の植樹も（98年4月号）

関連記事

「写真で振り返る日本のオリンピックとロータリー」
（16年10月号）

長寿コーナー「SPEECH」

『友』創刊直後から紹介してきた地区大会や会合の講演録。縦組み「SPEECH」として多様なジャンル、テーマの講演を紹介し続けています。

私と小説



わたなべ じゅんいち
昭和8年北海道生まれ。東京大学文学部卒業。小説家、エッセイスト。代表作『私と小説』。

人のもつ才能とは、何であらうか。才能も、見方によってさまざまである。頭がよく感性が鋭いのは、もちろん才能だが、同時に、ある種の鈍さもある。生きるうえでのりっぱな年を取れば取るほど、頭を使い、いろいろなことを、まだまだ多彩な才能が、自分に見つけ出していくように。

関連記事

渡辺淳一「私と小説」（91年4月号）／東山魁夷「美との巡り合い」（94年3月号）／星野哲郎『『えん歌』は人生の応援歌』（97年1月号）／曾野綾子「アジアの調和」（97年2月号）／森永卓郎「回復に向かう日本経済」（98年4月号）／アグネス・チャン「小さな命からの伝言」（98年9月号）／堺屋太一「平成の改革」（98年11月号）／深川純一「ロータリー運動の核心」（2000年1月号）／辺見じゅん「歴史を直視し学ぶ」（01年8月号）／佐藤千壽「一隅を照らす」（02年4月号）／島津久厚「私のロータリー五〇年」（05年2月号）／日野原重明・市川團十郎「いのち輝いて」（08年2月号）／佐藤千壽・深川純一「識字力あれど識智力のない日本」（08年7月号）／今井鎮雄「未来を見つめよう」（11年6月号）／山中伸弥「iPS細胞がひらく新しい医学」（16年6月号）／出口治明「変態が改革する多様性社会」（20年9月号） など……

私の執筆時代と人生の分かれ道
かつて私は札幌市立大学の文学部教授に就任して、大抵、毎週（土曜）の朝日新聞の「私と小説」を執筆していた。その時、その大抵、毎週（土曜）の朝日新聞の「私と小説」を執筆していた。

5月 サッカー
日韓共催W杯

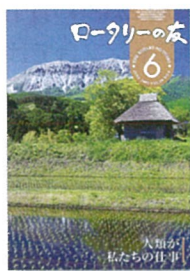
7月 ロータリー創立100年に向け
ポリオ撲滅キャンペーン開始

7月 日本34地区に
再編成

2002

『友』、活版→写植→DTP編集に

創刊50周年を前に、02年7月号からDTP(コンピューター編集)に。一般誌より少し大きく太い文字を採用、サイズも大きく。この頃「クラブホームページ開設一覧」などの記事も増え、アナログからデジタル時代に移行している様子がうかがえます。



B5判

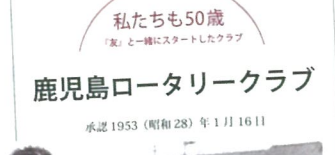


A4変型判

2003

『友』創刊50周年記念特別号
(03年1月号)

元RI理事・千玄室氏の特別寄稿「ロータリーの奉仕の心」、同じく50周年を迎えたクラブの紹介、奉仕活動を振り返る年表、「50年前の私」など、縦組み投稿欄もさまざまな形で「50」を祝う大特集に。



誌上で討論! 「言いたい 聞きたい」

02年7月号からロータリーや『友』に感じたこと、問題提起などを紹介する「言いたい 聞きたい」がスタート。2000年代から隆盛していたインターネットのように、双方向で意見交換ができる欄を、との目的で設置。その後もテーマを設定して意見を募集する「同論・異論」など、雑誌らしさを演出。

『友』の討論コーナー

- 言いたい 聞きたい(02年7月号～12年6月号)
- 同論・異論(11年12月号～13年3月号)
- 侃侃諤諤(19年10月号～)



かん かん がく がく • kan kan gaku gak



●今回のテーマ
クラブの合併は
必要か?

東日本大震災に対し、さまざまな自
粛の声を聞くが自粛はすべきなの
か? すべきではないのか?

例会の服装、どうしていますか?

●今回のテーマ
例会回数を減らす
ことについて

学ぼう、ロータリーのこと。新会員にロータリー情報を提供

新会員向けに、初歩的なロータリーを解説するシリーズ「新会員ノート」(02年8月号～04年6月号)を開始。以後、「基本の樹」(04年8月号～07年6月号)、「はじめての歩み」(11年8月号～13年6月号)、「Rotaryいま……」(13年8月号～16年6月号)などでロータリーの基本情報や旬の話題を解説。

※規定審議会などで記事執筆時からルールが改変されていることがあります。

関連記事

「ロータリーの歯車の歩み」(02年8月号)／「ご存じですか? RYLA」(03年9月号)／「四つのテスト その由来をひもとく」(03年10月号)／「ロータリーの先駆者 海外編」(05年9月号)、「同・国内編」(05年10月号)／「ロータリー・ソング」(05年12月号)／「ロータリーにNOはない」(12年8月号)／「クラブの定款と細則」(12年9月号) など……

新会員ノート

ご存じですか?

RYLA

ロータリー青少年指導者育成プログラム——Rotary Youth Leadership Awards(頭文字を取ってRYLA、ライラといいます。14～18歳、19～30歳までの若い人のためのプログラムで、国際ロータリー(RI)が1971年に正式に採用しました。対象年齢が14～18歳、19～30歳と2つのグループに分かれているのは、多様なニーズと彼らの成長過程に、柔軟に対応できるようにするためです。

3 青少年による青少年への絶えざる、励ますこと;
4 青少年指導者として地域社会に尽くす青少年の優れた資質を公に表彰すること
RYLAの主題
RYLAを行うには、その活動予定6つの主題に振り回されなければなりません。

規範:
る伝達力の重要
ロータリーは
こと:
り、世界の市民
あり、地元の重
問題を考察する。

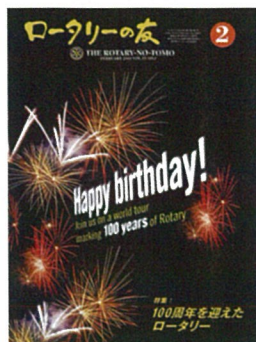
6月 ローター100周年を
祝うシカゴ国際大会開催



2005

ロータリー 100 歳をお祝い

05 年 2 月はロータリー 100 周年。05 年 8 月号ではロータリー発祥の地・シカゴでの 100 周年記念国際大会をレポート。また、当時 R I が発刊した『奉仕の1世紀 国際ロータリー物語』などを参考にロータリーの歴史を振り返る「奉仕の1世紀 実りの新世紀」(04 年 8 月号～05 年 6 月号)を連載。投稿欄も毎号、クラブの記念事業でにぎわいました。



2 月号は全世界の地域雑誌
が同じ表紙でお祝い



100 周年記念例会で、会員が「最初の 4 人」役となり、ロータリー創立の時を演じる (伊勢南 R C / 05 年 6 月号)

「奉仕の1世紀 実りの新世紀」

「ロータリーの誕生」(04 年 8 月号) / 「ロータリー財団の始まり」(04 年 11 月号) / 「国際ロータリーの試練」(05 年 1 月号) / 「ロータリー米山記念奨学会のはじまり」(05 年 3 月号) / 「日本から出た二人の国際ロータリー会長」(05 年 4 月号) など……

7月 日本初の女性ガバナー就任
(第2630地区・田中稔子氏)

7月 日本が1・2・3
ゾーンに

2007

ビル・ゲイツ氏とのポリオ根絶共闘、開始

09 年 3 月号「国際協議会リポート」では、プログラムにはなかったビル・ゲイツ氏登場の模様を紹介。ゲイツ氏は、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が、07 年の 1 億ドルに続き、さらに 2 億 5,500 万ドル(約 224 億円)の提供を発表、会場を驚かせました。ロータリーはこれに応えるため、独自に「2 億ドルのチャレンジ」を開始し、予定より早い 12 年 1 月に目標額を達成。



“皆さんがこの闘いをスタートさせたのですから、皆さんは最後の最後まで闘い抜くに違いありません。(中略) ロータリーがかかわっているからこそ、私たちは迷うことなくこのような巨額の投資が行えるのです。この闘いが終わりを迎えるとき、私たちは必ず皆さんとともに勝利を祝います”

関連記事

「ゲイツ財団 ポリオのない世界への道」(09 年 3 月号) / ビル・ゲイツ「ポリオのない世界へ」(09 年 4 月号) / 「ビル・ゲイツ」(09 年 5 月号) など……

縦組みの取材記事シリーズ、始まる

04 年 11 月号から、各地のロータリアンを紹介する「風紋 その人その人生」を開始。プロのライターとカメラマンがロータリアンを取材するシリーズで、ほぼ 3 年ごとにテーマ・対象を変えて続いています。

関連コーナー

- 風紋 (04 年 11 月号～07 年 6 月号)
- 手に手 くらぶ探訪 (07 年 8 月号～10 年 6 月号)
- この人、この仕事 (10 年 9 月号～13 年 6 月号)
- わがまち……そしてロータリー (13 年 10 月号～16 年 6 月号)
- クラブを訪ねて (16 年 8 月号～19 年 6 月号)
- この人 訪ねて (19 年 7 月号～)



7月 田中作次氏が
R I 会長に就任

2012

福島の高校生をオーストリアに(11年11月号)



7月 財団の新補助金
モデル「未来の夢」開始

1月 『友』電子版開始

4月 熊本地震

6月 ローターリー財団創立100周
年を祝うアトランタ国際大会

7月 日本が1A・
2・3ゾーンに

2013

2014

2016

2017

2019

ロータリーの新たなブランド戦略、開始



Rotary



R I は11年から公
共イメージ向上を目
指した取り組みを開
始し、13年8月に
新しいロータリー
の公式ロゴを発表。
『友』も徐々に表紙や
色などをブランドイ
メージに合うデザイ
ンに変更しました。



コロナ禍転じ……アンケート調査報道
新型コロナの影響で20年5月号は6
月号との合併号に。全34地区緊急ア
ンケート「どうする？地区会合」「ロー
ターアクターに聞きました」を掲載。投
稿が減り、編集部も取材が難しい状況
下、オンラインを活用した大規模なア
ンケート調査報道を行うように。

関連記事

「新型コロナウイルス感染症の影響に関するアン
ケート調査より『①どうなった？例会』（20年11月号）、
「同『②どうなる？ クラブの今後』（20年12月号）
／「伺いました！国内の衛星クラブの声」（21年8月
号）／「女性会員に聞きました」（22年4月号）



「ロータリーの綱領」→「目的」へ

13年、「ロータリーの綱領」の和訳が「ロータリー
の目的」に。その経緯を綱領等翻訳問題調査研究小
委員会が11年2・9月号、12年3月号で解説。

アンケート設問：「Object」の訳語としていずれが
適切か（単位：%）

1. 現行の「綱領」でよい。	46.8
2. よりわかりやすい「目的」がよい。	50.0
3. その他	2.9

漫画連載「ポール・ハリスとロータリー」
(20年7月号～21年6月号)

過去に漫画家の会員によ
る4コマ漫画の連載は
ありましたが、数ペー
ジのものは初めて。併せて
動画も制作しました。



[www.rotary-no-tomo.jp/
manga/index.php](http://www.rotary-no-tomo.jp/manga/index.php)



『友』 表紙セレクション

1953年創刊号



1959年4月号



1965年5月号



1970年2月号



1978年3月号



1988年10月号



7月 東京オリ
ピック開催

バックナンバーでたどる『友』70年

1月 新型コロナ
感染拡大

10月 日本のロー
タリー100周年

6月 『ロータリー
日本100年史』発行

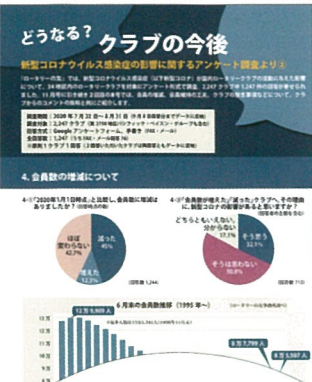
7月 6つの重点分
野に「環境」追加

7月 DEI(多様性、公平さ、イン
クルージョン)をR I 細則に追加

2020

2021

2022



全国 RC 姉妹クラブ一覧

昨年12月、各クラブの姉妹クラブ提携状況の調査を行いました。クラブとは、姉妹クラブの締結はしていないが交流しているクラブ。

全国地区別・姉妹クラブ数(海外RCと提携分)	地区別・クラブ名
全国 213RC	
第349地区 11RC	第350地区 1RC
第351地区 4RC	第352地区 4RC
第353地区	第349地区 千草里
第355地区	
第357地区	
第359地区	
第361地区	
第365地区	
10RC	第370地区 12RC

76年3月号。全国クラブの会費、年齢調査など、昔は郵送で集計していました

千氏の語るロータリー過去・現在・未来
21年8月号では、「日本のロータリー100周年を祝う会」で行われた千玄室氏の基調講演「果たしてロータリーは？過去・現在・未来」を掲載。1954年、京都RCのバスターガバナーから若手中心の新クラブ創立を頼まれたこと、『手続要覧』が英語だったことなど、入会当時から未来の展望までを講演しました。R I 理事、財団管理委員などを歴任した千氏は50年代から『友』に登場しています。



“ロータリーから奉仕を取ったら、もう未来はありません。ですから奉仕という言葉に対して、言葉だけにとらわれるのではなくて、その言葉の意味、哲学というものをもう一度クラブにおいて、会員が語り合い理解し合っていたらいいならば、このロータリーという大河は、つつがなく目的地に流れていくでしょう”

関連記事

千宗興「座談会 若いロータリアン大いに語る」(57年4月号) / 「ガバナーの横顔 千宗室 奉仕に徹する国際人」(75年7月号) / 「世界の人びとに通ずる心をもとう」(76年9月号) / 「賓主歴然 お茶とロータリー」(86年5月号) / 「R I 理事を務めて」(90年6月号) / 「茶の心 千玄室氏に聞く」(2004年3月号) / 「一盃からピースフルネスを」(22年9月号) など……

日本のロータリー 100 周年

20年10月20日、日本のロータリーが100周年を迎えました。100周年記念仕様の鐘(右上写真参照)や記念切手、会員からデザインを募集したピンバッジが作られました。



創刊号から全てが電子版に
22年7月から、『友』バックナンバーが全て電子版で読めるように。

www.tomo-archive.net



ラオス・チャンパサック

米山から世界の町へ

19

—— ラオス第2の都市パクセーを有するチャンパサック。コーヒーの産地でもあり、遺跡や美しい自然が残されています。



米山奨学生・米山学友の近況を、その故郷や、今、暮らしている町とともに紹介するシリーズです。今回の紹介者は……

(株)マージオン代表取締役

ワンマニ チャンニャケム さん

(ラオス / 2006 - 08 / 東京府中 R C)

「サバイディーマイ? (お元気ですか)」

ラオスを観光するなら気候の良い 11 月から 2 月、ラオス政府も推進するエコツーリズム(自然観光)がお勧め。どこも自然は美しく、おいしい野菜や魚を堪能できます。

私が紹介するのは、南部のチャンパサック県。ここはコーヒーの産地として有名で、後でお伝えしますが、私の今と、とても関わりの深い場所。飲む楽しみだけではなく、農園でのホームステイ、コーヒー豆の収穫、焙煎^{ばいせん}といった、コーヒー好きにはたまらない体験ができます。また、カオ山にあるワット・プー遺跡。ラオ語でワットは寺、プーは山を指し、2001 年に国内で 2 番目にユネスコ世界遺産に登録されました。1000 年以上前にクメール人によって築かれた石造りの宮殿や寺院が点在しており、カンボジアのアンコールワットより前に造られたといわれています。

料理といえば、カオチャーパテは外せません。これはフランスパンを使ったアジアスタイルのサンドイッチ。元フランス領だった歴史を反映し、パン自体がおいしくて、たくさんの豚肉とハム、野菜をピリ辛な味付けで仕上げます。ラオスでしか味わえないグルメですし、街中で気軽に食べられます。辛味の後には、カオトム!

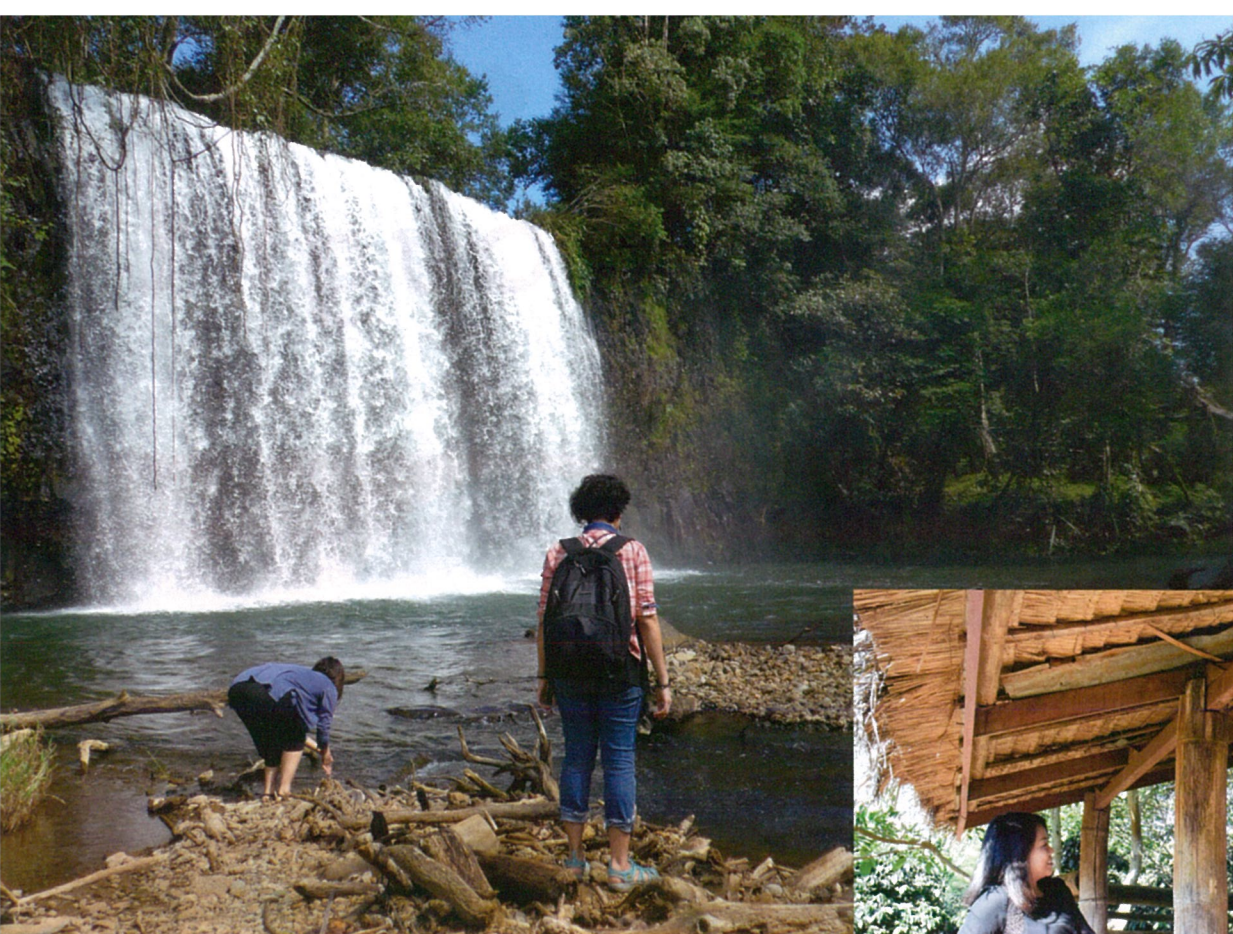
カオトムは、もち米の“ちまき”をココナツミルク味にして、甘みを足した伝統的なお菓子。家庭の特別な行事や、お寺に喜捨をしに行く時には欠かせないものです。

写真右上から：カオチャーパテとカオトム



ユネスコの世界遺産に指定されているワット・プー遺跡の一部





写真上：エコツーリズムで、滝の風景を満喫
右：コーヒー農園に滞在してのんびりと

私は2000年に来日し、東京で1年間、徳島で3年間勉強した後、電気通信大学大学院に進学しました。卒業後は外資系企業の日本支社で働き、15年に結婚。出産を機に15年間にわたる日本での生活を終え、帰国しました。

18年に「社会に貢献し、社会と一緒に成長していけるソーシャル・エンタープライズ企業」を社是に掲げ、(株)マージョンを設立。20年に自社コーヒープランド「KAPEPA COFFEE」を発表。翌年にカフェ事業「KAPEPA CAFÉ」を開業し、22年にはKAPEPA コーヒー農園の運営も始めました。現在は、各事業の運営をしながら、日本とラオスに関するアドバイザー業務、若者支援事業をバックアップするローカルビジネスのコンサルティングをしています。

米山奨学生時代は、世話クラブになってくれた東京府中ロータリークラブのさまざまな行事に参加しました。ロータリアン、他の米山奨学生との交流など、全てが貴重な経験でした。ロータリアンたちの、人や社会、世界のために奉仕する精神、私たち外国人への分け隔てない心を実感できたことが、今の私につながっています。相手を理解する力、誠実さ、分析力、判断力、忍耐力、それらの多くは奨学生時代に培われたように思います。今になって、あの頃学んだことが、いつまでも生かせる、生きた経験だったんだと気付きました。

今の自分があるのは米山のおかげ。ロータリアンの皆さんに、心から感謝しています。ラオスと、この国の若者を支援するという形で、私もロータリーと世界に恩返しをしていきたいと思っています。



奨学生時代の経験を生かし、今に羽ばたくワンマニさん

※米山記念奨学事業、または「よねやまだより」へのお問い合わせは、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281 Eメール : mail@rotary-yoneyama.or.jp



Food for Thought

おいしい生活のためのヒント



デザイン：加藤英一郎

テーマ：佳き予感

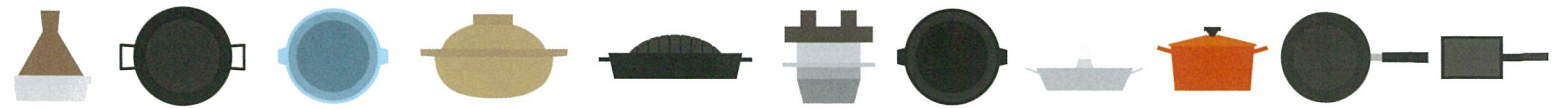
新年明けましておめでとうございます。お正月は、一年の中でも特別な時だと思いませんか。特に私たち日本文化に育った者には同じ365日なのに、絶対にお正月だけは違う、と。お正月は誰にでも平等にやってくる「ハレの日」だからなのでしょう。「ハレの日」とは、お祭りや儀礼、お祝い事など、普段とは違う非日常のこと。「晴れ着」や「晴れ

の舞台」なども「ハレ」につながるのです。一年中能天気「ハレ男」がお正月の「ハレの日」の食をご紹介します。

お屠蘇は年長から？ 年少から？

お正月の朝、家族がそろって膳を囲む風景。そこにはお屠蘇、お雑煮やお節料理が並んでいるのではないでしょ

うか。お屠蘇とは、屠蘇散と呼ばれる5～10種類の生薬を配合したものを、日本酒やみりんに漬けた薬草酒のことで、無病長寿を願って飲まれます。元旦に、仏壇や神棚を拝み、お節を食べる前、年少者から年長者の順、厄年の人が最後に飲んで杯を納める、というのが伝統的な作法ですが、年配者が若者に英知を伝えるという意味から、



久保田英男（職業分類：菓子製造販売）

鎌倉RC会員。学生時から家業関連の飲食業でキャリアを重ね、現在は大学で外食・ホテル業界での就職を目指す学生たちに自分の経験を伝えている。わが家は、鎌倉禅寺の影響が動物性が一切入らない精進系のお雑煮。

年長者から先に飲むという地域もあります。なお、年少者から先に飲むのは「毒見」という説も。おめでたい中にも少し物騒な感じ。

お屠蘇の次はお雑煮。平安の御代が始まりといわれ、もともとはお正月だけでなく「ハレの日」に供される食べ物でした。文字通り「さまざまな具材を煮雑ぜた」もの。お正月のお雑煮は、正月に年神様を迎えるために、前年に収穫した米から作った餅や野菜を供えたものをお下がりとしていただくことで、旧年の農作物の収穫が無事であったことに感謝し、新年の豊作や家内安全を祈るという、農耕民族である日本人に深く根付いた食文化なのです。

バリエーションは日本一のお雑煮

さて、そのお雑煮こそ地域によって大きな違いがあるので、少し紹介します。

まず、主役の餅ですが、関東では角餅、関西では丸餅。もともとつきたてを手で丸めていましたが、人口の多い江戸の町では、ついた餅をのして切り分ける方が効率が良かったということで角餅が生まれました。

その習慣が関東や東海・東北地方にも広まり定着したのですが、北前船によって京文化の影響が強く残る山形県庄内地方や、つきたての餅をよく食べる習慣のある岩手県一関市は、今でも丸餅が主流です。逆に藩主の山内氏、島津氏が長く江戸にとどまっていたこ

とから、土佐（高知県）や薩摩（鹿児島県）には角餅を使う地域があります。

お雑煮の汁の味付けの違いを見てみましょう。大きく分類すると、関西近畿圏では白みそ仕立てが多く、そのほか、関東や東日本、西日本や九州では澄まし汁が主流です。

出汁^{だし}の取り方になるとこれまた千差万別。かつお節や昆布といった代表的なものから、島根では干し鮎、岡山ではするめ、広島はカキを使うことも。九州では焼きあご、北海道では鶏がら……とご当地の特色満載です。

奈良県では丸餅に白みそ仕立てという点では近畿圏のお雑煮とそれほど違いはないのですが、その脇にきな粉が添えられています。お雑煮の餅を取り出し、きな粉をまぶして食べるそう。きな粉は邪気をはらうという考えからです。東北の岩手県宮古では、煮干しの澄まし汁に、三陸沖で取れるイクラをのせたおわんから餅を取り出し、甘いクルミだれをつけていただきます。

お雑煮に入る具材となると、定番などなく、これこそ、地域や家庭での組み合わせは無限大。特徴的なものだけご紹介すると、宮城県仙台のお雑煮は、器からはみ出さんとばかりに焼きはぜが一匹デン!! その姿に圧倒されます。新潟はサケとイクラの親子雑煮、サケが^{そじょう}遡上する地域らしいですね。長野ではブリのお雑煮。海のない長野なのに? と思いますが、越中と飛騨、信州を結ぶ「ブリ街道」。「なるほど」とうなずけますよね。

尾張名古屋はみそのイメージが強いのですが、澄まし汁仕立てのお雑煮に特産の「もち菜」が入るそうです。「みそをつけず（失敗しない）、名（菜）を持ち（餅）上げる」という縁起を担いでいるそうです。験担ぎなら大阪も。元旦は白みそ、二日は澄まし汁仕立てに水菜だけ。「商い」と「飽きない」をかけています。九州博多地域には雑煮の三種の神器「ブリ」「かつお菜」「あごだし」。出世魚のブリは、おめでたいお正月には欠かかせない素材のようです。

もっともっとたくさん紹介したいし、まだまだいろいろなお雑煮があるのでしょね。お節料理も紹介できませんでした。それくらいお正月は盛りだくさんなんです。ここで紹介できなかった「こんなのあるよ」、掲載したもので「それ違うよ」というお声があれば、ぜひお聞かせください。

お正月は先述の通り、年神様をお迎えして祝う日。その日に使う箸にも意味があります。両端が細長くなっている祝い箸を使いますが、これは取り箸と食い箸ということではなく、一方を人が使い、もう片方を神様が使う「神人共食」を表しています。新年の初めに神様と共に、という気持ちのこもった縁起の良い箸なのです。こうした文化を絶やすことなく伝えていきたいですね。

どうぞ、この新しい年が世界中の全ての人にとって平和で幸せでありますようにお祈り申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

ROTARY 1月号から



コソボ

ペジャ・ロータリークラブ（RC）は、アメリカ同時多発テロから21年を経て、コソボ市内に「記憶と友情」の碑を建てました。このプロジェクトのために、クラブ会員や地元企業、個人の篤志家から、3万ドル（約400万円）以上の寄付金や寄贈品が集まりました。「石碑の価値は計り知れません。同様の石碑があるかと検索したところ、東ヨーロッパにはないことが分かりました」と会長のアルベル・アスラニさんは言います。ツインタワー跡から掘り出され、ニューヨーク市消防局から寄贈された鋼鉄の梁（はり）を石碑に使うというアイデアは会員の発案によるもの。「ニューヨーク市はペジャからほぼ7,400km離れています。しかし、あの日、9月11日には、ニューヨーク市がずっと近くに感じられました」と、除幕式でアスラニさんは語りました。

同時多発テロで亡く
なった人々の出身国
(アメリカ国務省より)

77 カ国以上

ポルトガル

チャリティーウォークはロータリーの資金調達の定番ですが、シルヴェスRCの会員は、ポルトガルのバレンサからスペインのサンティアゴ・デ・コンポステラ大聖堂に向かう120kmの巡礼の路に挑戦。9月23日に7人のロータリアンとその友人3人で出発し、クラブはソーシャルメディアを活用して、実況と資金集めを行いました。このチャリティーウォークで、アルマサン・デ・ペラにある地元の学校に、自閉症やダウン症候群の子どもたちが落ち着いて過ごせる部屋と庭を造るための資金約1万4,000ドル（約200万円）が集められました。子どもたちからもらった学校のマスコットである縫いぐるみにも励ましてもらった、と参加者の一人であるパム・ウィンさんは言います。



1075 年

サンティアゴ・デ・コンポステラ
大聖堂の建設が始まった年

アメリカ

バッテリーリサイクル会社・レッドウッドによると、世界でコンピューターや乾電池などの電子廃棄物は17%、リチウムイオン電池を使うデバイスは5%未満しかリサイクルされていないそうですが、これらの化学物質は「ほぼ無限に再利用できる可能性」を秘めています。2022年の初めから、全米で十数のロータリークラブがネバダ州に拠点を置く電池リサイクル業者とキャンペーンを展開して、数万kg分の携帯電話やノートパソコン、パワードリル、電動歯ブラシなどを回収しました。「これはすぐに着手できる活動です。要らないものが処分できて、アメリカのサプライチェーンの安定性と環境問題の解決、電気自動車の普及にも貢献できる取り組みです」と、環境の持続可能性のロータリー行動グループのリーダーを務める、カリフォルニア州ロスアルトスRCのクラリ・ノレットさんは言います。



1億台以上

アメリカで1年間に廃棄される
携帯電話の数



フィジー

フィジーに生える
マングローブ種の数 **8種類**

9月、ラウトカRCの会員は地元ボランティアと共に、185㎡近くあるタイペリアの海岸線に4,000本以上のマングローブの苗木を植えました。低所得者層が暮らすこの地域は、ラウトカの中心部から約4km離れたヴィティ・レヴュー島にあります。「フィジーのように、人口の大半が沿岸部の近くに住む国にとって、家庭と生活を守ることは特に重要です。マングローブの植栽は浸食から沿岸部を守り、海岸線の生態系を回復させるのに役立ちます」と会長のチラグ・パルマさんは言います。同クラブは林業省とも協力し、スキューバダイビングの親睦活動グループから寄付された130ドル（約2万円）の資金を使って苗木の購入に充てました。

23億人

2021年に全世界
で食料不安を抱える
人の数

カナダ



オンタリオ州のオークビルRC、オークビルウエストRC、オークビルトラファルガーRCの有志たちは9月17日、度重なる自然災害に見舞われたカリブ海の国、セントビンセント・グレナディーンに大麦を送るために梱包作業を行いました。会員は大麦を量って1ポンド（約500g）ずつ袋に入れ、箱詰めしました。オークビルRC会員のスディープ・コースラさんは、「通常はフルタイムの従業員5人が2回のシフトで行うことを、私たちは3時間で終わらせた」と言います。オークビルRCは、世界中で災害地支援を迅速に行っている慈善団体のグローバルメディックが運営する倉庫を借り、毎月この作業を行うと話しています。





第2500 地区

2022 年 10 月 8 ～ 9 日
旭川市民文化会館ほか
ホスト 旭川西 RC

久木佐知子ガバナー R I 会長、R I 会長代理、ガバナーと、全てが女性という初の地区大会。初日には女性会員向けセミナーが開かれ、多くの会員の参加を得ました。2 日目は、テレビなどでコメンテーターとしても活躍中の信州大学特任教授・山口真由氏が「世界の潮流 日本の現状」と題して記念講演。ロータリーでも話題の多様性について触れ、今後の指針となる内容でした。また、両日とも山口淑子 R I 会長代理からはロータリーに関する分かりやすい講話があり、今の時代のロータリーを映し、女性が主役の大会となりました。



第2790 地区

2022 年 10 月 8 ～ 9 日
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ほか
ホスト 松戸 RC

小倉純夫ガバナー 柳生好春 R I 会長代理を迎え、3 年ぶりに約 1,400 人が一堂に会した地区大会。2 日目本会議は、歌手・渡辺真知子氏と大原保人スーパージョズカルテットのジャズコンサート、ロータリアンで俳優の高橋英樹氏の記念講演「俳優活動とロータリーの精神」。その他、「千葉から世界を変えるフェスタ」と銘打って、地区内会員企業 20 社などによる大物産展を開き、会場ではロータリー活動のパネル展示や寄付の受け付けも。盛りだくさんの企画で、会員たちはロータリーの良さを実感し、心から楽しんでいました。



第2510 地区

2022 年 10 月 14 ～ 16 日
札幌プリンスホテルほか
ホスト 札幌西 RC

石丸修太郎ガバナー 本会議は来場者 300 人とオンライン配信を併用。今回は地区目標の一つ「青少年への支援を発展・充実させる」を具現化するため、2 日目本会議では「RYLA がもたらすロータリーの将来」と題して記念フォーラムを開き、基調講演とパネル討論で、各会員の理解を促進。3 日目には記念行事として「ユースフォーラム」を開催。インターアクト、ローターアクトの活動紹介や講演、討論会など充実した内容で、今大会をきっかけに、各クラブがより一層、青少年奉仕に注力できるよう弾みをつける好機となりました。



第2780 地区

2022 年 10 月 15 ～ 16 日
相模原市民会館ほか
ホスト 津久井中央 RC

佐藤祐一郎ガバナー 初日の地区指導者育成セミナーでは、四宮孝郎 R I 会長代理が「魅力あるクラブになる為に」と題して講演。D E I（多様性、公平さ、インクルージョン）の説明を含め、ロータリーの魅力を語りました。翌日は相模原市立共和小学校吹奏楽団が元気いっぱい演奏。記念講演では、東京海洋大学名誉博士・客員教授のさかなクンが「お魚と環境のはなし」と題して講演。こちらも大いに盛り上がり、地区の指針「取り戻そう！」「記憶に残る年にしよう！」を象徴し、ロータリーの再始動を印象付ける大会でした。



第2710 地区

2022 年 10 月 15 ～ 16 日
周南市文化会館ほか
ホスト 徳山 R C

石川良興ガバナー すがすがしい秋空の下、永田壮一 R I 会長代理をはじめ延べ 1,300 人を迎えての開催。初日は東京大学大気海洋研究所の道田豊教授が「海洋プラスチック汚染とは何か～瀬戸内海の現状を踏まえて～」と題する基調講演。地球規模の環境問題について語り、大変好評でした。翌日の本会議の記念講演、俳優サヘル・ローズさんの「出会いこそ、生きる力」では、人と人の関わりの大切さを国際的な視野で語りかけ、会員たちはうなずきながら聞き入っていました。3 年ぶりの対面式での大会は、盛況のうちに幕を閉じました。



第2840 地区

2022 年 10 月 22 ～ 23 日
太田市民会館ほか
ホスト 太田 R C

中野正美ガバナー 初日の地区リーダーシップセミナーでは、橋岡久太郎 R I 会長代理が「これからのロータリー」と題して講演。続くパネルディスカッションの内容からも、ロータリー活動への指針を得ました。翌日の本会議は音楽デュオ「シエル」の演奏で開幕。^{コスモス}「秋桜」「いい日旅立ち」といった名曲が流れると、ロビーでポリオ根絶募金中の会員も聴き入っていました。その他、地区内米山奨学生全員の登壇と代表者の発表など。橋岡氏は講評の後、能楽師として祝福の能の一節を披露。「能」への関心も一気に高まった地区大会でした。



第2610 地区

2022 年 10 月 22 ～ 23 日
富山国際会議場ほか
ホスト 富山南 R C

黒川伸一ガバナー 庄司尚史 R I 会長代理を迎え、初日は元ポリオ根絶コーディネーターの松本祐二氏が「ポリオのない世界を達成するために」と題し、ワクチン投与活動の体験や根絶の重要性を力説。夕刻からは富山城石垣に「END POLIO NOW」の文字を投影し、一般に広く訴え、会員たちは根絶への誓いを新たにしました。翌日は参議院議員・橋本聖子氏の記念講演「オリンピック・パラリンピック東京大会の成果と課題」。自身のスポーツとの関わり、大会の成果を踏まえ、今後の選手育成の課題などを熱く語りました。



第2630 地区

2022 年 10 月 22 ～ 23 日
長良川国際会議場ほか
ホスト 岐阜 R C

高橋伸治ガバナー 秋晴れの岐阜に安間みち子 R I 会長代理を招き、3 年ぶりに対面式での開催となりました。オープニング、かやの木芸術舞踊学園「響」による和太鼓とダンスが融合したパフォーマンスは迫力満点。また、初日の基調講演、元 R I 研修リーダー・鈴木一作氏による「What is Rotary?」、翌日の大学院大学至善館教授・枝廣淳子氏による記念講演「地域経済とレジリエンス」と二つの講演が企画され、共に大変示唆に富む内容でした。韓国やタイからの来訪を含め 1,600 人以上が集い、心の絆を深められた充実の 2 日間でした。

NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

緑あつてロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

寄り添い合える世界に

ローテックス 木村 奈穂

現在、私はアメリカ・ワシントンD.C.にある大学院で紛争解決・難民保護を学んでいます。小学生の頃に見たドキュメンタリー映画での「この世界には、住む場所を追われ、教育が受けられず就職もできない人々が多くいる」という気付きは、幼い私には理解できない世の不条理でした。その後、中高6年間で難民・移民について勉強する中で、この問題は日本も関与していることだと認識し、この分野で仕事をするのが目標となりました。

上智大学在学中は、日本の難民受け入れの実態と入国管理法に関して調査し、東京出入国在留管理局に収容されている難民認定申請者と、難民認定を受けた人々へのインタビューを基にウェブサイトを開設。その中で母国で迫害を受け日本へ逃れた経緯や、難民として生きる過酷さを記事にし、より多くの人々に、日本が難民問題に

どう責任を持って向き合うべきかを考えてもらうことを目指しました。

ロシアの侵攻から少したった昨年6月上旬、ウクライナ国境近くのポーランドの町、メディカへ避難民支援に行きました。自分と同年代でキーウで就職予定だった女の子が、母親と妹をウクライナに残し、父親と2人でオーストリアへ避難する様子。一時避難所で哺乳瓶片手に夜中にミルクを受け取りに来る若い母親の疲れきった顔。戦下での現実、人道支援の限界と可能性を体感。残り1年の大学院生活で専門性をより高め、卒業後は現場のニーズに合った長期的な難民保護支援に携わりたいと思っています。

2016 - 17 年度第 2580 地区青少年交換学生としてアメリカへ派遣。ジョージタウン大学大学院で紛争解決の修士課程 1 年。趣味は映画観賞とサイクリング。



今できることを全力で

ローターアクター 藤島 滯奈

ロータリアンの父からローターアクトクラブ(RAC)の存在を教えてもらい、静岡RACに入会して1年半たちました。コロナ禍による自粛生活の中、活動内容を詳しく知らないまま例会に参加したのをきっかけに、もっとロータリーのことを知りたいと思い、入会を決めました。

入会から半年を過ぎたころにウクライナでの戦争が始まりました。クラブで何か支援をと考えましたが、どう行動したらよいのか分からずにいました。その時、静岡ロータリークラブ(RC)では、会長がMy RotaryやSNSを駆使して、ロータリーを通じて支援する方法を整えており、私たちにも声をかけてくれました。街頭で募金活動を経験したことで、「支援はしたいけど方法が分からない」といった、かつての私のような人々への橋

渡しができると実感しました。温かい思いのこもった寄付金を、安心して預けてもらえる団体に私は所属しているのだと誇りに思いました。

以前、静岡RC会長からロータリーと他団体との違いを、「ロータリーは個人でも社会奉仕活動ができる人が集まった団体」と教えてもらったことがあり、今回のウクライナ支援も、まさにその言葉通りだと感じました。

ロータリアンのさまざまな活動から、多くの学びを得られるのも私たちの特権です。元々インドア派の私ですが、国際的にも活躍できる団体にいる利点を最大限に生かして、今後の活動をしていきたいと思っています。

静岡県静岡市在住。ゼンセイ(株)勤務。静岡RAC会員。2022-23年度会長。趣味は旅行、音楽鑑賞。最近は文字を美しく書く練習をしています、まだ上達を実感できていません……



●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者(現役、学友どちらも可)を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp

解けないメール

出題：小野寺 紳
作画：ライトマン

ユリカさんが同僚のヤマダ君からこんな相談を受けた。

「いやあ、知り合いからメールをもらったのだけど、全然意味が分からないんだ。ユリカさんこれ分かる？」

どうやら、四つの変な文からそれぞれ一つの漢字を導き出し、それをうまく並べて四字熟語を作ればいいらしい。

「いまだに解けないけど、悔しいのでまだその知り合いに答えを聞いていないんだ」

しばらく読んでいたユリカさんは、「こんなの簡単。教えてあげるから、今日のお昼はヤマダ君のおごりね！」と言。

さて、その四字熟語はなんだろう？

君に送る言葉はこれだよ。

- ・道から首を出したら軍が来た。
- ・社から土をどけたらひとくちだ。
- ・間の日がなくなり鳥居が立つ。
- ・指のひにちがなくて、かたなくち。

答え



机の上で 緑を育てよう!

毎月10人に
頭から草がニョキニョキ
「ヘアラボ」を
プレゼント!!

◆パズル de ロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「1月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄（縦組み）に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆締め切り◆ 2023年2月10日(金)必着(当選発表は4月号)

●パズル de ロータリー（10月号）の答えと当選者は、横組みP55に掲載しています。

詰め碁



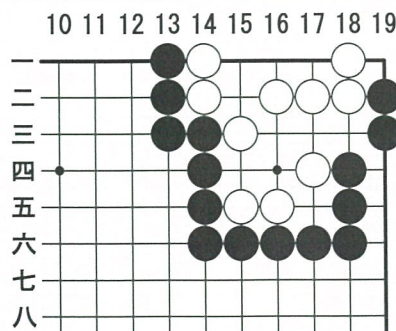
出題

日本棋院

問題

黒先 2つの手筋を駆使して
白の眼形を奪います。
(5分で初段)

●詰め碁の解答は、横組みP55に掲載しています。
(※詰め碁にはプレゼントはありません)





*アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）世界本部の所在地です

進むべき道は明らか： 世界の保健リーダーがポリオ根絶について語る

記事 Ryan Hyland/Arnold R.Grahl
写真 Monika Lozinska

10月21～22日、スイス・ジュネーブの世界保健機関（WHO）本部で開かれたR IとWHOの共催イベント「World Polio Day 2022 and Beyond」で、グローバルヘルス分野のリーダーがポリオ根絶への自信を示し、最前線で活動するヘルスワーカーたちをたたえました。

開会セッションでは、テドロス・アダノムWHO事務局長が「ポリオ根絶は手の届くところにある」と述べ、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の努力によってポリオの症例が99.9%削減されたことに触れました（1988年に35万件だった症例数が、2021年はわずか6件）。しかし、22年はパキスタンで20件、アフガニスタンで2件の症例が出ており、状況が不利となっていることも指摘。野生型ポリオウイルスが常在するのはこの2カ国のみである一方、アメリカでポリオの患者が出たことや、イギリスの下水からポリオウイルスが検知されたことは、ポリオが世界から根絶されない限り、引き続き世界の脅威であることを示しています。マラウイとモザンビークでも、21年と22年、ポリオ

の症例が確認されています。「誤った情報、予防接種が行き渡りにくい人々、地域社会の疲労感など、今も多くの課題に直面しています」と事務局長。

新型コロナが主な原因となって、ポリオの予防接種活動が大幅な中断に直面したことも、近年の課題となっています。

こうした課題に対応するため、GPEIの2022～26年ポリオ根絶戦略では、成果が実証された方策や革新的な手段を用いています。10月上旬にドイツ・ベルリンで開かれた世界保健サミットで、ロータリーを含む支援者らがこの戦略に26億ドルを投入することを約束。この資金は、ポリオ常在国および最近ポリオが発生した国でのポリオ予防接種に充てられる他、新型経口ポリオワクチン2型（nOPV2）の導入にも活用されます。この新型ワクチンは、従来のワクチンの遺伝子を組み換えたもので、伝播型ワクチン由来ポリオ（変異型ポリオとして知られる）を発生させる可能性がより低いものです。この資金はさらに、医療のあらゆるレベルにおける女性のエンパワメントにも活用されます。「根絶の実現には、ジェンダー平等が不可欠です。なぜなら、ポリオの影響下にある国の多くでは、他人の家や子どもに近づくことが認められているのは、女性だけだからです」

事務局長はさらに、WHOが引き続きポリオ根絶に最優先で取り組んでいくことを強調しました。「ロータリーのご支援があれば、子どもは歴史の教科書だけでポリオを知ることになるでしょう。そのような未来が一日も早く来ることを願っています」

イベント2日目は、予防治療と母子の健康に焦点が当てられた他、地域ごとのニーズと協力の機会についての分科会が行われました。

-Rotary International



特別月間が変更になりました

2023年4月 環境月間

2023年7月 母子の健康月間

最新情報はMy Rotaryでご確認ください。

今後のR I国際大会

2023年5月27～31日

オーストラリア・メルボルン

（以下、予定）

2024年5月25～29日

シンガポール

統計

全世界ロータリアン総数

1,201,081人

クラブ数 37,050 クラブ

地区数 520 地区

国と地域 200以上

ローターアクト会員数 201,785人

クラブ数 11,445 クラブ

国と地域 160以上

インターアクト会員数 434,999人

クラブ数 18,913 クラブ

国と地域 150以上

2022年11月16日現在

ロータリーの友

Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

野生型ポリオウイルス による症例数

掲載ウェブサイト：

GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）

polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/（2022年11月23日現在）

		2022年	2021	2020	2019
常在国	パキスタン	20	1	84	147
	アフガニスタン	2	4	56	29
非常住国	モザンビーク	8	0	0	0
	マラウイ	0	1	0	0
世界合計		30	6	140	176

R IやR I会長のSNSアカウントはこちら

国際ロータリー
@Rotary

ジェニファー・ジョーンズR I会長
@JenJonesRotary





RI 指定記事

メルボルン国際大会

メルボルンの写真 スポット

2023年5月27～31日に開催されるメルボルン国際大会で写真を撮るのにお薦めの、写真スポットをご紹介します。

メルボルン・スカイデッキは、南半球で最も高い観測地点として知られ、ユーレカタワーの88階からは、街の観光名所を360度見渡せます(写真)。ポートフィリップ湾や、晴れていればダンデノン丘陵が見えます。

戦争慰霊館ではバルコニーからの眺望が楽しめます。アルバートパークでは、エキゾチックな自生樹木が並ぶ曲がりくねった小道を湖の南側に進めば、絵画のように美しいメルボルン市街地の地平線が広がります。

分科会の会場であるメルボルン国際会議場と友愛の家から徒歩で行ける距離には、川辺のにぎわいが楽しめる南埠頭プロムナード。近くには写真映えする帆船のポリーウッドサイドが停泊しています。

本会議は、テニスの全豪オープンセンターコートとして知られる屋内競技場、ロッドレーバー・アリーナで開催されます。会場の外に出て、高くそびえる高層ビルを背景に写真を撮ってみては。会場内なら、ロータリーのロゴの背景の前で、新しくできた友人たちと写真を撮りましょう。

— Eva Remijan-Toba

国際大会の参加登録はこちら
convention.rotary.org/ja



ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

新しい始まり、新しい奉仕の機会

新しい年が幕を開けました。新たな始まりや体験に胸を弾ませる今こそ、常識を破る考え方で、ロータリーを通じて奉仕する新しい機会を見つけましょう。

今年は地域社会の経済発展プロジェクトに取り組むことを検討してみませんか。このロータリーの重点分野では、職業上の経験を生かして地域の起業家精神を促進し、地域社会が持続可能な方法で自立するのを支援します。格言を借りれば、「魚を与えるのではなく、釣り方を教える」こと。畜産事業を立ち上げるための小口融資もあれば、地域経済を持続的に発展させるため、ロータリーが地域社会と協力し、農村の自立に向け、多面的にアプローチすることもあるでしょう。

2000年、独立に移行中だった東ティモールは暴力と破壊行為に苦しんでいました。地域社会は住居と生活環境の改善だけでなく、新しい経済を必要としていました。そこで、オーストラリアのロータリークラブは東ティモールの屋根ふきプロジェクトを立ち上げ、屋根用のトタン板を提供した後、水槽や穀物サイロの製造と設置も始めました。プロジェクトが展開するに連れて他の団体やロータリー財団の支援が加わり、成功への道筋をつける補助金が交付されました。

程なくして、このプロジェクトにより、住宅や学校、児童養護施設、商業ビルの屋根を建設するのに十分な資金を集めることができるようになりました。自給的農業を営む農家は穀物サイロを手に入れ、何百人もの人たちが、建設と管理の基礎に関する専門的な訓練を受けました。何千もの新しい水槽が設置され、水くみの仕事で学校に通えなかった女の子たちが、学校に通えるようになりました。今日では地元の人々を雇用し、大きな影響を与える商業的な事業となっています。そして、そこまでの道筋をつけたのは私たちの財団です。

2023年にはどのような体験が待っているのでしょうか。地区補助金でしょうか。それともグローバル補助金でしょうか。オーストラリアのメルボルン、私の自宅からすぐ近くの会場で開かれる2023年ロータリー国際大会で新しい友人をつくり、古い友人と再会し、プロジェクトのパートナーが見つかるかもしれません。

学び、成長し、奉仕する機会を活用するために、新年の抱負を考えましょう。それも、楽しみながら。何といたってもロータリーなのですから。

というわけで皆さん、今年も精いっぱい楽しみましょう。

IAN H.S. RISELEY

2022-23年度ロータリー財団管理委員長

Illustration by Viktor Miller Gausa

『友』誌

ご購入数の変更について

- ①今年度『友』誌の下半期分(2023年1~6月号)の減部については、2022年12月5日に締め切らせていただきました。12月6日以降の会員数変動による減部は、2023年1月10日までにご連絡いただければ、2~6月号の減部として、お受けいたします。
- ②1月11日以降にご連絡いただいた減部のご希望は、全て次年度2023年7月号からになりますので、ご了承ください。
- ③追加購読のお申し込み時に「印刷版」をご希望の場合は、在庫がある限りお受けいたします。
- ④部数変更のご連絡がない場合には、2022年12月号と同数と同じ購入商品形態(印刷版/電子版)でご購読されるものとして、対応させていただきます。

『ロータリーの友』誌代

定価275円

(本体価格250円送料込)

「電子版」閲覧時には、ID・パスワードが必要です。パスワードは半期ごとに変わります(IDは変わりません)。下半期分のパスワードは、1月3日付でお送りした請求書右下に記載していますので、1月15日からの電子版は、新しいパスワードでご利用ください。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2022年10月末現在)

地区	R C 数	会員数	21年10月末 会員数
第2500地区	66	2,247	2,212
第2510地区	69	2,427	2,465
第2520地区	77	2,100	2,178
第2530地区	63	2,227	2,243
第2540地区	40	1,133	1,129
第2550地区	48	1,667	1,687
第2560地区	54	2,015	2,037
第2570地区	50	1,595	1,581
第2770地区	74	2,351	2,362
第2790地区	82	2,702	2,690
第2800地区	49	1,516	1,526
第2820地区	55	1,872	1,864
第2830地区	40	1,118	1,136
第2840地区	45	2,076	2,083
第2580地区	70	2,923	2,865
第2590地区	52	1,872	1,894
第2600地区	53	1,888	1,918
第2610地区	64	2,528	2,548
第2620地区	75	2,854	2,863
第2630地区	73	3,092	3,089
第2750地区	97	4,580	4,578
第2760地区	84	4,676	4,735
第2780地区	67	2,329	2,274
第2640地区	65	1,598	1,650
第2650地区	96	4,322	4,369
第2660地区	79	3,508	3,509
第2670地区	74	2,916	2,925
第2680地区	70	2,545	2,625
第2690地区	65	2,949	2,952
第2700地区	60	3,109	3,096
第2710地区	72	3,165	3,158
第2720地区	74	2,376	2,379
第2730地区	68	2,365	2,365
第2740地区	55	2,105	2,096
34地区合計	2,225	84,746	85,081

日本のロータリー

会員概数 84,467人

クラブ数 2,216

(左の表中34地区合計から、第2750地区のP Bグループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750クラブ数・会員数は、P Bグループ9 R C 279人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P 10「日本のロータリー」数は34地区合計からP Bグループを引いた数。21年10月末P Bグループ9 R C 会員数275人。

地区会員数修正 本誌12月号横組みP37(9月末)表中、2730:2,352人、34地区合計会員数:84,475人、表外とP6「日本のロータリー」最終行会員数84,196人。

ご案内 左記一覧表は、3つの地域順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組みP 53奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

2月号主要記事予定

横組み 平和構築と紛争予防月間

特集 インタビュー 報道写真家・千葉康由

縦組み 人との出会い 他者のために生きる

セブン銀行特別顧問・東洋大学理事 安齋 隆

この人訪ねて 柳澤育代さん(奈良RC)



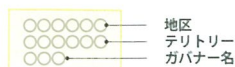
◆お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

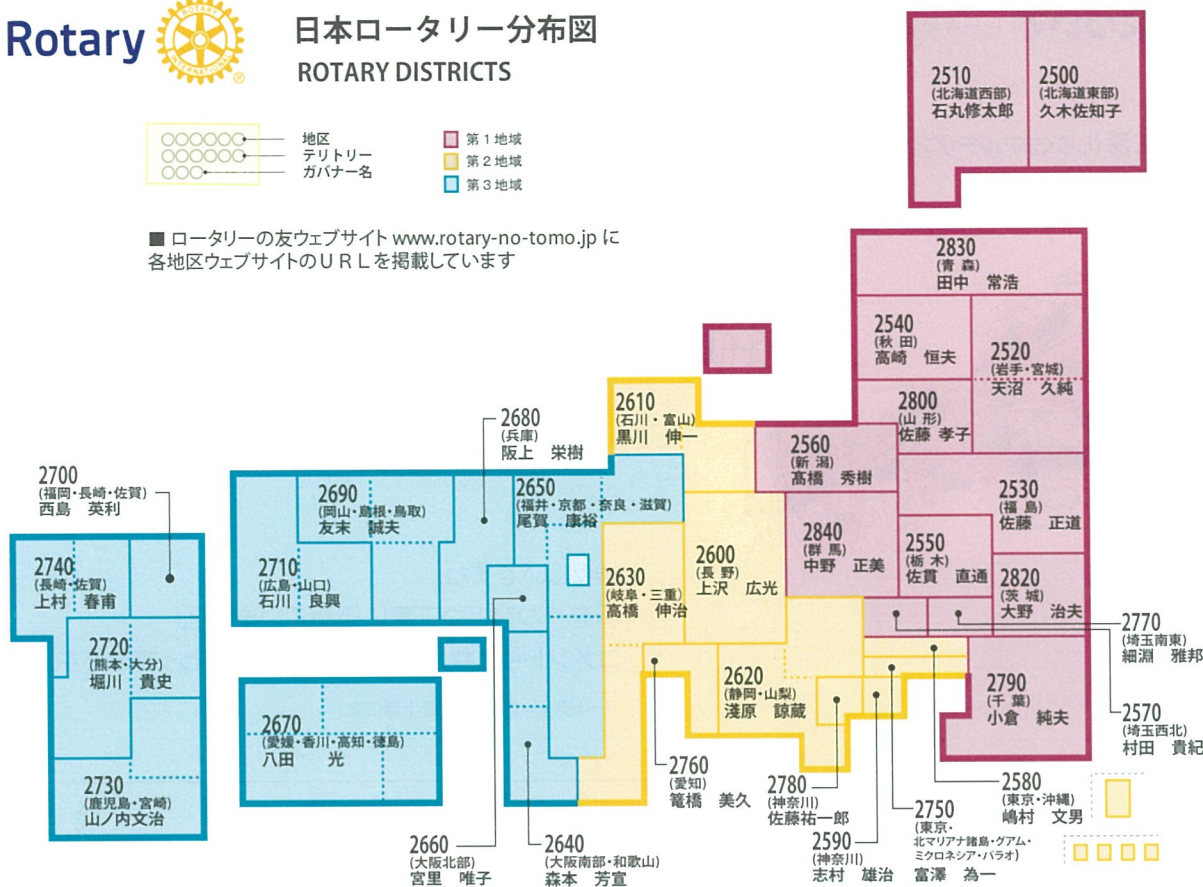
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp



第1地域
第2地域
第3地域

■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に
各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左エ門 (甲府)
副委員長 鈴木 一作 (寒河江)
R I 理事 佐藤 芳郎 (岡山南)
特別顧問 片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
顧問 矢口 信哉 (東根)

顧問 小林聡一郎 (甲府北)
塚崎 寛 (長崎中央)
栃木 一夫 (東京北)
宮崎陽市郎 (東京三鷹)
相談役 神崎 正陳 (茅ヶ崎南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
地区代表委員
2500 井内 正樹 (旭川西)
2510 伏木 淳 (札幌西)
2520 藤原 繁 (盛岡南)

2530 星 富士雄 (喜多方)
2540 山本 隆弘 (秋田港)
2550 天川 主税 (宇都宮南)
2560 小林 悟 (新潟)
2570 齊藤 勇司 (鶴ヶ島)
2770 山内 一浩 (浦和)
2790 中澤 雅彦 (松戸)
2800 菅原 成規 (鶴岡)
2820 菅原 俊 (つくば学園)
2830 石川佳共子 (青森)
2840 岡部 幹雄 (前橋)

2580 佐藤 文則 (東京四谷)
2590 伊藤道一郎 (川崎南)
2600 小林 晃 (須坂五岳)
2610 芝田 実 (富山南)
2620 成田 伸行 (長泉)
2630 山田 秀夫 (岐阜)
2750 金澤 洋 (東京新橋)
2760 尾本 和弘 (名古屋東南)
2780 端山 創之 (藤沢西)
2640 樹谷 知樹 (和歌山北)
2650 赤井 紀之 (近江八幡)

2660 青山 快玄 (大阪北梅田)
2670 真屋 正明 (高松北)
2680 前田 正明 (宝塚)
2690 福原 徹 (津山)
2700 藁田三三男 (小倉南)
2710 戸倉 茂雄 (徳山)
2720 山角 智秀 (熊本西穂)
2730 尾形 栄 (延岡)
2740 牟田 清敬 (佐賀)
編集長 野崎 恭子

月刊 ロータリーの友

第71巻 1月号
2022年12月31日印刷
2023年1月1日発行

定価 275 円
(本体価格 250 円 送料別)

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人 ロータリーの友事務所

■社員 佐藤 芳郎 (岡山南)
嶋村 文男 (東京東江戸川)
富澤 為一 (東京品川)
佐藤祐一郎 (津久井中央)
宮里 唯子 (茨城西)

■理事会

代表理事 高野孫左エ門 (甲府)
理事 鈴木 一作 (寒河江)

理事 片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
矢口 信哉 (東根)
小林聡一郎 (甲府北)
塚崎 寛 (長崎中央)
栃木 一夫 (東京北)
宮崎陽市郎 (東京三鷹)
横山 武志 (東京北)
恵川 一成 (大宮シティ)

理事 羽田 伊助 (東京目黒)
慶野 保夫 (小山中央)
野中 茂 (川崎)
榎原 一久 (東京豊島東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
野崎 恭子
監事 宮嶋 康明 (新千歳)
高野伊久男 (横浜西)

■職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
副所長 渡辺 剛
編集長 野崎 恭子
編集 稲川やよい
黒野 穰二
山名 愛
飯田亜由香
熊谷健太郎
管理 富澤 美子
半田 弥生
草野 淑美

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

表紙について — 今年度は多才な障害者アートをお届けします

イラストレーション

こまえ工房 (しろくまアルチザン)

白井 淳子さん



「いやしの女神」

心と心 ・ 平和

なかよし ・ ハッピーアース

戦争はいや ・ 元気 ・ たのしい毎日

神々しいですね。

羽を一つひとつ丁寧に染めていました。

コメントも白井さんの優しさがよく伝わってきます。

アートディレクション / 五十嵐仁之

こまえ工房に
行ってきました！



『友』表紙のアート作品を制作している「こまえ工房」。アートディレクターの五十嵐さんが案内してくれました。

右から
東京たまがわRC・廣瀬由香さん
編集長・野崎恭子
アートディレクター・五十嵐仁之さん
編集部・熊谷健太郎



作品を制作中の利用者。工房ではアート作品制作の他、アロマキャンドル作りや、綿花栽培からコットンを作るなどして、一部を販売している。



多機能型事業所
こまえ工房

東京都狛江市にある
日中活動支援事業所。

〒201-0014
東京都狛江市東和泉
1丁目32番21号
☎ 03-3480-1443

パズルdeロータリー 10月号の答え

正解は「**3+4=7**」

1	9	8	6	2	4	7	3	5
7	2	6	8	5	③	1	9	4
5	3	4	7	1	9	8	6	2
4	8	3	5	7	6	2	1	9
6	5	9	2	4	1	3	7	8
2	7	1	9	3	8	4	5	6
8	1	5	④	9	7	6	2	3
3	6	2	1	8	5	9	4	7
9	4	7	3	6	2	5	8	1

応募総数 121人 正解者 117人

当選者(敬称略・順不同)／関口泰永(春日部西RC)、平出茂樹(浜松RC)、中山芳子(甲府南RC)、磯上佐太彦(いわき常磐RC)、井上俊江(津山西RC)、樺山 修一(豊川宝飯RC)、吉原崇己(佐賀RC)、松山隆(奈良RC)、小林一臣(南アルプスRC)、星隆一(根室西RC)

◆ P49 詰め碁の答え ◆

黒先白死 (16の一)

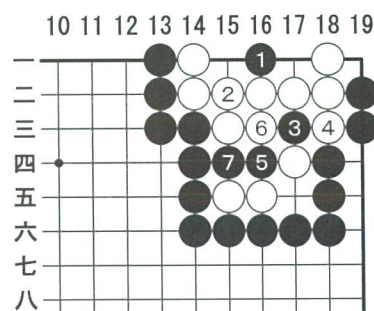
この問題に関するお問い合わせは、下記(公財)日本棋院認定係までお問い合わせください。

TEL : 03-3288-8723

FAX : 03-3261-5841

◆ 解説 ◆

黒1が白の眼形を先手で崩す手筋で、白は2が省けず、続けて黒3がとどめの手筋。白4には黒5、7で欠け眼にすることができ白死です。白2で7は黒2のウツゲエシが発生し白死。初手黒3は白1で白生きになり失敗。手順前後です。



内外よろず案内

みんなおいでよ!「ふれあいコンサート2023」開催!

東京八王子北ロータリークラブ

普段なかなかコンサートホールで音楽を聴く機会のない障害者や小さい子どもに、生の音楽を楽しんでもらおうと、20年ほど前から続けているコンサートです。音楽を通じたふれあいを目指し、地域の高校生らが演奏やダンスを披露してくれています。また、会場内の特設コーナーでは、障害者福祉施設で作られたパンやケーキ、木のおもちゃ、手織りのマフラーなどを販売。事前配布の入場券または当日券に付属の補助券を使って、買い物を楽しむことができます。ぜひ、お越しください。



■開催概要

日時	2023年1月22日(日) 12時開場 16時終演
会場	J:COMホール八王子
内容	高校吹奏楽部の演奏、ダンス部の演技、阿波踊り、和太鼓の披露など パン、ケーキ、木のおもちゃなどの販売
入場料	無料
主催	東京八王子北RC
共催	NPO法人八王子ワークセンター 東京八王子ロータリーアクトクラブ
お問い合わせ	東京八王子北RC事務局 ☎ 042-627-6261 hachioujikitarc@nifty.com イベント詳細は二次元コードから



ロータリー国際大会 2023

Rotary International Convention 2023
Melbourne Australia

開催期間 2023年5月27日(土)~31日(水)

開催地 オーストラリア メルボルン

RI指定のメルボルンの一流ホテル100部屋確保いたしました!

2023年のロータリー国際大会はオーストラリアのメルボルンで開催されます。オーストラリア連邦は、6つの州と2つの特別地区から成り立っており、面積は約769万平方キロメートルで日本の約20倍、総人口は約2575万人です。1788年シドニー湾付近に入植を開始、1901年オーストラリア連邦が成立しました。人口497万人を擁するメルボルンは、シドニーに次いで第2の都市、ヴィクトリア朝時代の建築物が多く残る落ち着いた街並みとともに、住民のおおらかな性格と親切さはロータリアンの皆様の心の奥にいつまでも想い出として残ることでしょう。各訪問地では一流のホテル、できるだけロータリアンの皆様のお口に合う料理、旅の日程が過密にならないよう等々に配慮し、万全の準備を目指して、社員一同努力して参ります。日本からのロータリアンの皆様のおひとりでも多くのご参加を切にお待ち申し上げております。



ツアーパンフレットをご用意いたしております。
ご希望の数だけお送りいたしますので、ご遠慮なくお申し付けください。

※2名様1室ご利用になります。 ※別途諸税(およそ2万円)がかかります。

- ◆ 各コースの旅行代金はパンフレットにてご案内いたしております。
- ◆ 各コース、ビジネスクラスを多数ご用意しております。お早めにお問合せください。各地方都市からの便も承ります。

A-1 メルボルン大会参加 カンタス航空 5日間
 旅行期間 5月26日(金)~30日(火)
 旅行代金 325,000円(エコノミー)(燃油込)
 1,100,000円(ビジネス)(燃油込) **催行決定**
 羽田ーメルボルン③ー羽田
 国際大会だけは参加したいと願うロータリアンのためのコースです。

A-2 メルボルン大会参加 日本航空 6日間
 旅行期間 5月24日(水)~29日(月) **催行決定**
 旅行代金 369,000円(エコノミー)(燃油差額 ¥94,000-R4年12月現在)
 853,000円(ビジネス)(燃油差額 ¥94,000-R4年12月現在)
 羽田ーメルボルン③ー成田
 日本の航空会社を利用したい方のための大会参加コースです。

A-3 メルボルン大会参加 シンガポール航空 6日間
 旅行期間 5月25日(木)~30日(火) **催行決定**
 旅行代金 羽田 360,000円 関空 394,000円(エコノミー)(燃油込)
 羽田 1,100,000円 関空 1,058,000円(ビジネス)(燃油込)
 関西ーメルボルン③ー関西/関西ーメルボルン③ーシンガポール①ー関西
 世界航空会社ラング上位に入賞するシンガポール航空をご利用のコースです。

B 大会参加とシドニー、ブルーマウンテン、キャンベラ 日本航空 9日間
 旅行期間 5月22日(月)~30日(火) **催行決定**
 旅行代金 638,000円(エコノミー)(燃油差額 ¥94,000-R4年12月現在)
 760,000円(プレミアムエコノミー)(燃油差額 ¥94,000-R4年12月現在)
 1,054,000円(ビジネス)(燃油差額 ¥94,000-R4年12月現在)
 羽田ーブルーマウンテン②ーキャンベラ①ーメルボルン③ーシドニー①ー羽田
 最大都市シドニーから青く煙る雄大な山並みブルーマウンテン、首都キャンベラを周りメルボルンで大会にご参加いただくコースです。

C 大会参加とシドニー、エアーズロック カンタス航空 9日間
 旅行期間 5月24日(水)~6月1日(木)
 旅行代金 659,000円(エコノミー)(燃油込) **まもなく催行決定**
 1,245,000円(ビジネス)(燃油込)
 羽田ーシドニー②ーメルボルン②ーエアーズロック②ー羽田
 最大都市シドニーに滞在後、大会参加。その後アボリジニの聖地で地球の臍とよばれるエアーズロック(ウルル)を訪れます。

D 大会参加とハミルトン島、ゴールドコースト カンタス航空 10日間
 旅行期間 5月21日(日)~30日(火)
 旅行代金 635,000円(エコノミー)(燃油込) **まもなく催行決定**
 1,296,000円(ビジネス)(燃油込) **【リーフホテル利用】**
 羽田ーハミルトン島③ーゴールドコースト②ーメルボルン②ー羽田
 世界最大の珊瑚礁地帯グレートバリアリーフに位置する多彩なリゾート、ハミルトン島と観光保養地ゴールドコーストを楽しんだ後、大会に参加するコースです。

E 大会参加とタスマニア島 カンタス航空 9日間
 旅行期間 5月23日(火)~31日(水)
 旅行代金 659,000円(エコノミー)(燃油込)
 1,529,000円(ビジネス)(燃油込)
 羽田ーホバート②ークレイドルマウンテン①ーメルボルン③ー羽田
 大自然と深く繋がる場所タスマニアで国立公園や世界文化遺産にもなっている囚人遺跡群のひとつポートアーサーを訪れます。大会参加後は最大都市シドニーに立ち寄ります。

F 大会参加とパース シンガポール航空 8日間
 旅行期間 5月23日(火)~30日(火) **まもなく催行決定**
 旅行代金 羽田 496,000円 福岡 513,000円(エコノミー)(燃油込)
 羽田・福岡 966,000円(ビジネス)(燃油込)
 羽田・福岡ーパース③ーメルボルン③ー羽田・福岡
 インド洋に面した西オーストラリア州の世界一美しい街と兼高かある氏に紹介されたパース、不思議と癒しの風景ビナクルスを訪問してから大会に参加するコースです。

G 関空発 大会参加とパース シンガポール航空 9日間
 旅行期間 5月22日(月)~30日(火)
 旅行代金 558,000円(エコノミー)(燃油込)
 関西ーパース③ーメルボルン③ーシンガポール①ー関西
 関西空港発着のシンガポール航空を利用し、メルボルン大会ご参加いただくコースです。世界一美しい街と称されるパースの観光を3日間でお楽しみいただけます。

H 大会参加とニュージーランド カンタス航空 10日間
 旅行期間 5月22日(月)~31日(水) **催行決定**
 旅行代金 639,000円(エコノミー)(燃油込)
 1,335,000円(ビジネス)(燃油込)
 羽田ークライストチャーチ①ーマウントクック①ークイーンズタウン②ーメルボルン③ー羽田
 ニュージーランド南島の美しい自然の中に佇むマウントクック、悠久の時をかけて深く水をたたえるミルフォードサウンド、心を奪われる絶景クイーンズタウンの訪問後、大会に参加するツアーです。

NAS 日洋航空株式会社
 観光庁長官登録旅行業第334号 社団法人日本旅行業協会正会員
 海外緊急事故支援システム会員 総合旅行業務取扱管理者:長澤宏美
 〒107-0062 東京都港区南青山 6-13-2 フルジョン南青山 3F
 URL: www.nichiyo-air.co.jp 担当: 金澤、長澤、松本

お問い合わせ先

TEL 0120-347016

FAX 03-5774-5783

TEL 03-5774-5781

nas@nichiyo-air.co.jp



ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定

友愛の広場 ★

- ・ エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など。

原稿：1,000 字以内 写真：あれば添付

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★

- ・ ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。活動後 1 カ月以内にご投稿ください。

原稿：150 字程度（必ず活動日を入れてください）

写真：集合写真、カメラ目線の撮影以外で、活動の様子が分かるもの

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★

- ・ 紹介内容は写真編と同じ。活動後 1 カ月以内にご投稿ください。

原稿：600 字以内 写真：あれば添付(写真編に同じ)

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・ 1 人 1 カ月にはがき 1 枚 3 句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。歌壇・柳壇は、友ウェブサイトの投稿フォームからも受け付け可。

私の一冊 ★

- ・ 会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）をお願いします。

原稿：320 字以内。原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を付記してください。

うちの子 ★

- ・ 自慢のペットを写真で紹介。

原稿：100 字以内（ペットの名前を明記してください）

写真：ペットそのもののアップの写真

パズル de ロータリー ★

- ・ 2 種類の問題（数独、パズル）を毎号順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは原則、発行月翌月の 10 日。

内外よろず案内

- ・ 会員間の趣味の交換、催し物の案内など。

原稿：200 字以内。資料があればお送りください。

声 ★

- ・ 『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の 10 日締め切り。

原稿：150 字以内。対象記事を明記してください。

★は友ウェブサイトの投稿フォームでも受け付けています

情報もお待ちしています！

NEW GENERATION

- ・ ロータリーのプログラムに参加している（参加経験のある）若い人たちを紹介。推薦対象者（インターアクター、ロータリーアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼します。

特集記事

- ・ ウェブサイトで特集記事の情報を募集することがあります。チェックしてください。

『クラブ週報』『クラブ会報』

- ・ 「卓話の泉」掲載用として、クラブの『週報』『会報』を継続してご送付ください。メール配信のクラブは、メーリングリストに友編集部メール(hensyu@rotary-no-tomo.jp)を加えてください。紙のみで発行のクラブはご郵送ください。

※投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます。

※写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、(一社)ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載する場合があります。

※掲載は、(一社)ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後 6 カ月をめどにご判断ください。

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



送り先・お問い合わせ

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15

黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958

E メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト投稿フォーム

www.rotary-no-tomo.jp/form.php

声

10月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

【対象記事】

特集・共に生きる世界への伝言。米山学友・佐古ウスビ氏の「私、空気は読みません」(横P8~10)

【感想】 学長として学生に寄り添う様子をテレビで見ることがあり、その際に大変感動しました。金銭的に恵まれた中国留学から、わざわざ日本へ。米山記念奨学金にも挑戦された。アフリカ人初の学長経験者として、大いに日本を変えていただきたものです。私は、和の精神を伝えつつの、多様性に期待します。

八女RC 甲木 敏光

【対象記事】

特集・共に生きる世界への伝言。米山学友・佐古ウスビ氏の「私、空気は読みません」(横P8~10)

【感想】 日本人の無意識の特性に関する部分が、多様性を理解する妨げに通じると知りました。

福井水仙RC 伊東 俊祐

【対象記事】

特集・『友』10年を振り返る。橋本長平氏の「ここで語り合おう」(横P16)

【感想】 クラブ職業奉仕委員長の身として、主張に同感。職業奉仕がもつと表に出てよいのだと思うこの頃です。

塩釜RC 鈴木 文夫

【対象記事】

フードフォーサイト④「ムシのいっ話」(横P20~21)

【感想】 普段から偏食な私ですが、もし食料危機になったら、昆虫食も「ムシ」できないことになるのではうね。

福山南RC 本瓦 誠

【対象記事】

エバンストン便り(横P29)

【感想】 アメリカやイギリスでポリオが検出された記事にショックを受けました。ワクチンで防げる病気です。危機意識を喚起し、根絶の一助になれるよう、当クラブも頑張ります!

浜松南RC 鈴木 基義

【対象記事】

うちの子(縦P16~20)

【感想】 本当にかわいい子がいっぱい、うれしくなります。以前はボメラニアンを2匹飼っていましたが、1匹が15歳で亡くなると、もう1匹も後を追うように亡くなりました。私も年ですので飼うことを諦めました。今でもあの子たちを思い出します。岡山東RC 荒川 謙三

【対象記事】

友愛の広場。佐世保RC・福田金治氏の「ロータリーの将来について」(縦P18~19)

【感想】 『友』誌を読む例会で、この記事を取り上げたのが、入会後間もない若い会員でした。寄付の増額と会員増強の迷路にはまっているような昨今の国際ロータリーの方向性に対して、原点回帰を促す文章に目をつけた会員を、誇りに思います。

盛岡中央RC 佐藤 公江

【対象記事】

スピーチ。井領明広氏の「デジタル時代の企業改革が会社と地域を変える」(縦P4~8)

【感想】 変えるべきものは、道具ではなくて考え方、という点に共感した。

新千葉RC 宮嶋 康明

【対象記事】

友愛の広場。越谷中RC・山崎晶弘氏の「一期一永」(縦P19)

【感想】 近隣クラブ元会長・幹事の集いが20年前から続いているとの記事。その内容に刺激され、われわれも3年ぶりに3回目となる、近隣5クラブの元会長・幹事同窓会を開くことにしました。久しぶりの会が楽しみです。

真庭RC 廣岡 順

【対象記事】

ロータリーアットワーク文章編。岡山東RCの「森の宝石ブッポウソウ」(縦P27)

【感想】 私は日本野鳥の会郡山支部の会員です。記事の内容は、とても今後の活動の参考になりました。

郡山RC 平松 敏郎

●本文150字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトで!

ケースが増えているとの報道を耳にするにつれ、「今でしょ!」との思いが募り、実施に踏み切りました。

いざ準備を始めてみれば、目まぐるしく変化する社会情勢の中、関係機関との連携他、薬物の危険をどう伝えていくか、街頭キャンペーンはどうすればよいのかなど、以前と比べ調整することが増えていました。コロナ禍では、配布物を受け取るのも消極的になるだろうと考え、以前は入浴剤などを配布していましたが、消毒ができるウェットティッシュも追加。例会終了後、たわいもない話をしながら会員で袋詰めをし、600個を用意しました。例会時とは異なる雰囲気となり、親睦が図れたと思います。

ロケット教室大成功!

大津中央ロータリークラブ

第2650地区・滋賀県

10月2日、ブランチ大津京にて「子どもロケット教室」を開催しました。



ロケット制作中の子どもたち

晴天で、10月にしては気温も高く風も穏やか。ロケットの打ち上げには最高の日でした。

午前と午後それぞれ25人の定員で、学童クラブの子らを対象に実施。今回使用する紙ロケットの創始者・植松努氏は人気のテレビドラマ「下町ロケット」のモデルにもなった方で、参加者の家族も一緒に15分ほど、植松氏から子どもたちへの思いのこもった動画のメッセージを視聴しました。

その後は、当クラブ会員やお手伝いに来たNPO法人のスタッフのアドバイスを受けつつも、子どもたちが説明書を見て、自分一人の力で制作。約1時間で完成させることができました。付き添いの家族の中には、近くでサポートできないことが心配で、落着

かない気持ちでいた方もいましたが、わが子が完成させたロケットを見ると、大変感激したようでした。

その後は芝生広場に移動して、待ちに待った打ち上げ。自分が作ったロケットが空高く上がっていくのを見て、安心感と、やればできるという達成感に満ちた目をしていました。会員たちも童心に返り、一緒に楽しみました。この成功体験を胸に、これから先の人生でも、何事にも諦めずトライしてほしいと思いました。

日本の教育を考える講演会

都留ロータリークラブ

第2620地区・山梨県

9月の「基本的教育と識字率向上月間」を踏まえ、同30日に前文部科学事務次官の前川喜平氏を講師として「日本のリテラシー政策と夜間中学」と題した講演会を開きました。浅原諒蔵ガバナリーをはじめロータリーの関係者や県の教育関係者、市民の皆さんが参加し、会場は盛況を博しました。

講演中、前川氏は「夜間中学は学びの場、学び直しの場として就学機会の確保に重要な役割を果たしており、教育を受ける権利は、国籍や年齢、貧富の差にかかわらず、誰にでも等しく保



クラブ初の試みで、教育に関する講演会を開催

証されなければならない」と強調。そして「山梨県を含め国内には夜間中学のない県が多くあり、さまざまな理由で教育の機会を得られない人、得られなかった人全てを受け入れる場の普及が喫緊の課題だ」と訴えました。

前川氏自身が夜間中学校のスタッフとして現場経験があるため、事例が具体的で、非常に説得力があり、多くの来場者が教育について再考するきっかけとなったことは間違いないでしょう。施策の選択によって日本の未来に大きく影響が及ぶことを示唆する、貴重な講演でした。

講演会の開催はクラブ初の試みでしたが、会員が団結した成果を得られ、同時にロータリーの認知度アップにも寄与できたと感じています。

ROTARY AT WORK

をスローガンに掲げ、SDGs(持続可能な開発目標)に即したスポーツとして注目されています。今回の目的は、ロータリーの重点分野「環境」の保全。単なる清掃ではなく、健康増進とコミュニケーションの促進を図りつつ、環境への意識向上も狙いました。

当日は京都外国語大学RACと京都市立西京高校・附属中学校IAC、他クラブと会員の家族、一般参加も加え、総勢78人が集結。地区ポリオプラス委員会のメンバーが参加したため、ポリオ根絶の啓発と募金活動も行いました。結果、真剣ジョギングコース、のんびりウォーキングコース、ポリオ根絶の募金活動コースと3グループに分かれて活動。フィットネスと社会貢献を一緒に行うことで得られたすがすがしい笑顔が、何よりの収穫です。



ごみを拾いつつ、健康増進



壁面にピンクのリボンマークを投影

女性の乳がん 死亡者を減らそう！

行楽シーズンの嵐山は観光客が多く、ロータリー活動のPRにつながりました。また、京都西RCにとっては、クラブが提唱する京都西RAC、京都市立西京高校・附属中学校IACと、ロータリーファミリーとしての絆を深める絶好の機会となりました。

(京都西RC 徳尾隆次・記)

横須賀ロータリークラブ
第2780地区・神奈川県

当クラブは9月30日、乳がん検診の啓発と促進を目的に「ピンクリボンよこすか2022」を開催。式典とイベントを行った他、翌日まで、横須賀市役所を含む2カ所を、ピンクリボン活

動のシンボルカラーのピンクにライトアップしました。

生活様式の変化などにより、日本人女性の乳がん罹患率は増加傾向にあり、今や約9人に1人が患うがんになったとされます。検診受診率が70%、80%の欧米では近年、乳がんの死亡率が減少していますが、40%台で推移する日本では、死亡率が下がっていません。検診受診率をもっと上げて、乳がんを早期発見して治療しようというのが、この活動のメッセージです。

ピンクリボンかながわと乳がん予防医学推進協会の共催、横須賀市や同市医師会の後援を得て、当日は三浦学苑高校吹奏楽部総勢60人による素晴らしい演奏で、ライトアップ式典のスタート。カウントダウンで市役所の壁面にピンクリボンマークに染まると、歓声が上がりました。

乳がんの早期発見につながるマンモグラフィー検査が行えるバスを用意し、事前予約済みの23人を検診。その他、会場内では自己検診のための指導を中心とした講習、チャリティーグッズ販売も行い、収益金はピンクリボンかながわに全額寄付しました。

イベント後は、参加した会員で慰労会を開き、数力月の準備を要した活動を振り返りました。会員の親睦もさらに深まり、次年度もこのイベントとピ

ンクリボン活動を続けていきたいと確認し合いました。

(前田長生・記)

薬物乱用防止キャンペーン 奉仕と親睦を両立

市川東ロータリークラブ
第2790地区・千葉県

コロナ禍の収束が見えない中、「今回も様子見かな?」「見送りましたら?」との声がある一方、「いつやるの?」「今でしょ!」という会員の一言に動かされ、10月25日、3年ぶりに街頭で薬物乱用防止キャンペーンを行いました。

当初の予定では9月。しかし、収まりつつあった新型コロナウイルスの感染者に増加の兆しがあったことから実施を見合わせに。しかし、昨今の状況から人同士の接触が薄れ、衝動的に薬物に走る



感染防止に配慮しながら啓発活動

諫早に バルーンがやってきた

諫早北ロータリークラブ
第2740地区・長崎県

9月23日、西九州新幹線が開通した。わが町・諫早の玄関口である諫早駅も現代的な建築物に変貌を遂げ、この先、人の動きや物流にも大きな期待が寄せられている。この地で職業人として生きるロータリアンであれば、喜びを共有するのは当然のこと。登場すべきは、クラブ公共イメージ委員会のメンバー。活動の一端として、宣伝効果抜群のバルーンを諫早の空に上げ、開通の喜びや当市の発展を祈願するという意味を持たせることにした。

隣県の佐賀では国際的な熱気球大会が開催されており、おなじみとなったバルーンを佐賀西ロータリークラブ(RC)からお借りした。バルーンには「ゆつつら」と、佐賀市」という文字が入っており、そのバルーンで速さを競う新幹線の運行を祝福する、というのとは妙な取り合わせであるが……。

早朝5時半の諫早陸上競技場。バルーンの浮上には陽の昇らぬ朝なきが最適の条件とか。事前に募集した約150人が、早朝から列をなして待機していた。天候は曇り。開始直前に西



バルーンで新幹線開通を祝福

の空に虹が出たのも幸運だった。

空気を送入すると次第に膨らみ、巨大な風船に姿を変える様子に胸を躍らせる。代わる代わるバスケットに乗り込み、ゆったりと上昇するバルーンから手を振る子どもたち。良き思い出として胸にとどめてくれることだろう。

渋沢栄一がつないだ縁 友好クラブ締結調印式

清水ロータリークラブ
第2500地区・北海道
深谷東ロータリークラブ
第2570地区・埼玉県

9月30日、北海道上川郡清水町で、清水RCと深谷東RCとの友好クラブ締結調印式を行いました。

近代日本経済の父といわれ、来年が

らの新1万円札にも描かれる渋沢栄一氏は、1898(明治31)年、清水町に「十勝開墾合資会社」を設立。その歴史をきっかけに、渋沢氏生誕の地・深谷市との縁ができ、深谷市産業祭では「十勝牛とろ丼」といったご当地グルメを提供するなど、交流を重ねてきました。その他にも議員の相互派遣や小学校間でのオンライン交流、一昨年は深谷市にある渋沢栄一記念館館長が清水町で講演するなど、住民間の交流も活発に行っています。

そこで、ロータリーでも絆を深めていこうと、今回の友好クラブ締結へ。調印式当日は、長岡秋佳会長はじめ深谷東RCの会員総勢41人が、遠路はるばる清水町を訪問してくれました。

また、調印式を前に、深谷東RCの一行は空港から貸し切りバスで、前述した合資会社を前身とする「十勝開墾株式会社」の農場畜舎、十勝開墾会社が本館を造営した大勝神社、渋沢氏の寄付で建設された青淵山寿光寺など、渋沢氏ゆかりの場所を町職員の案内で見学。物産店では小豆、ジャガイモ、テンサイ(ビート)など農業の盛んな十勝地方の産物に触れ、紅葉の景色も楽しんだようです。

調印式では両クラブ会員の見守る中、長岡会長と清水RCの梶竹征会長が調印。その後は懇親会となりました。



両クラブの会長が友好クラブ締結の署名

渋沢栄一がつないだ縁を大切に、今後はさまざまな分野で交流しつつ、互いに一層の発展につなげていこうと誓い合いました。(清水RC 今井重男・記)

京都嵐山でプロギングと ポリオ根絶活動

京都西ロータリークラブ
京都西ロータリーアクトクラブ
第2650地区・京都府

10月9日、京都西RCの創立65周年と京都西ロータリーアクトクラブ(RAC)の創立25周年を記念し、京都の観光地・嵐山でプロギングを行いました。これはスウェーデン語の plocka upp(拾う)と英語の jogging(走る)を合わせた新たなフィットネス。「ポリタイプ」な力で足元から世界を変える」



練習を重ね、感動を呼ぶ演奏を披露

当クラブには、会員や家族らで結成するバンド「ウエスト・サイズ」があります。ウエストがややふくよかな10人で、クラシックからジャズ、フォークソングと幅広い分野の演奏で好評を得ています。今回は100人を超える満席の来場者を前に、グノーの「アヴェ・マリア」や「神田川」など15曲を披露。「アヴェ・マリア」の演奏では、高齢の避難民の女性の目に涙が……。祖国の厳しい状況がしのばれました。

バンドのメンバーによれば、心に届く演奏をしなければと、3カ月前から毎週月曜日の夜、2時間半の猛練習をしたとか。女性の涙の話を聞くと、努力が報われたとメンバー全員が感動していました。

来場者から頂いた浄財は当クラブの花房孝光会長から会場で直接、避難民

の皆さんに手渡ししました。1時間半の演奏でしたが、平和の尊さを会員一同、深く胸に刻んだコンサートでした。

小中学生に向けて バレーボール教室開催

犬山ロータリークラブ
第2760地区・愛知県

当クラブは9月3日、エナジーサポートアリーナ（犬山市体育館）で小中学生を対象に「バレーボール教室」を開催しました。全国大会出場常連校である誠信高校女子バレーボール部の中村与直監督と部員を講師に、午前的小学生の部はスポーツ少年団4チーム男女60人、午後の中学生の部は犬山市と扶桑町の6校の女子バレーボール部員約60人が指導を受けました。

中村監督の指導で基本技術のアンダーパスやオーバーパス、レシーブなどを中心に練習。部員たちは、自主性を大切に練習に取り組んでいることやバレーボールの楽しさを伝えたいと、熱心に笑顔で指導していました。

練習後は、全国レベルの試合を実感できるよう、同校部員による模範試合を見学。その後、意見交換の時間を設けて、閉会となりました。

参加者からは、また開催してほしいとの要望が多数あり、今回の事業をき



高校生たちの模範試合

つかけに、他団体との協力による継続事業になる話も出ています。

（山根雄司・記）

鴻巣の空へ 久方ぶりに大輪の花

鴻巣水曜ロータリークラブ
第2770地区・埼玉県

台風で初めて地元の花火大会が中止された後、新型コロナウイルスの流行で計3年もの間、鴻巣の夜空に花火を打ち上げることができませんでした。コロナ禍は終わったわけではありませんが、こんな時だからこそ、鴻巣から多くの方に希望を届けなければいけない！と商工会青年部が中心となり、今できる最大限の規模で、10月1日に「第19回こうのす花火大会」が開かれました。



3年ぶりに夜空に咲いた大輪の花

当クラブでは大会を盛り上げるべく、クラブや会員企業が連帯し、音楽とのコラボで花火を打ち上げました。地元の活性化に貢献できたと思います。

鴻巣市の地名はコウノトリの伝説に由来するともいわれ、伝説の場所を鴻の宮（現在の鴻神社）と呼び、そこから地名も鴻巣となったそうです。昨年1月、鴻巣市コウノトリ野生復帰センター「天空の里」がオープンしたのをきっかけに、当クラブ会員の作詞家・宮内たけし氏の詞、平川竜城氏作曲によるコウノトリの歌「天使の降臨」が市に寄贈されました。

今回の打ち上げでは、地元の観光大使で歌手の美根ゆり香さんが生で歌唱を披露する中、秋の夜空いっぱい、新しい時代の幕開けを告げるような、感動的な大輪の花が開きました。

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

元プロ野球選手から学ぶ諦めない心

大村ロータリークラブ
第2740地区・長崎県

当クラブは9月23日、青少年育成事業として元プロ野球選手・横田慎太郎氏を迎え、「諦めない心」を演題に講演会を開催。会場の向陽高校の生徒、

「ない心」
「イガース選手」
山慎太郎氏



元プロ野球選手の横田慎太郎氏が講演

大村市内中学校の野球部員と保護者など約250人が参加しました。

横田氏は22歳で脳腫瘍の診断を受け、闘病の末、一度は野球選手として復帰したものの、病気の影響で視力が戻らず引退に至りました。今回の講演では、プロ野球人生最後に見せた捕殺「奇跡のバックホーム」を軸に、脳腫瘍の手術と闘病、家族の支え、横田氏が見据える未来の話をしていただきました。

学校教育におけるクラブ活動は、技術の向上はもちろん、精神的な成長を促す場であると考えます。コロナ禍においてさまざまな制限がかかる今だからこそ、技術的な上達だけでなく、感謝の気持ちや、逆境にあっても諦めない心が必要だと思っています。今回の講演から、生徒たちにそうした気持ちが芽生え、指導者や保護者にとっては子どもへの関わり方や励まし方の向上につながるれば、と期待しています。

講演後、生徒たちの物事に取り組む姿勢に変化があった、と多くの声が寄せられました。クラブとして久々に行った対外事業でしたが、向陽高校インターアクトクラブ（IAC）や同校の生徒と協力し合うこともでき、大変有意義な機会となりました。横田氏からは「また、大村にきたい」と言っていたことができました。闘病への励みになったのではないのでしょうか。こ

の事業を開催して良かったと思っています。（宮本朗・記）

100年後につなぐおしやぎりの森

村上ロータリークラブ
第2560地区・新潟県

村上市の夏を彩る村上大祭は毎年7月6〜7日に開かれ、「おしやぎり」と呼ばれる2輪の屋台19台が市内を巡行します。400年近い歴史を持ち、2018年には「村上祭の屋台行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。おしやぎりの車輪はすり減るために、数十年に一度、作り替えられます。部材には硬さがあるイタヤカエデが使われますが、近年、車輪に使える巨木の入手が難しくなってきました。

そこで、当クラブではこの村上大祭を後世につなげていくため、今年5月、村上市高根の1畝ほどの牧場跡地にイタヤカエデの苗木100本を植樹。「おしやぎりの森」と名付け、100年後の車輪の作り替えに備え、成長を見守ることにしました。

8月初め、新潟県北部の豪雨災害により、森までの道路が途中で寸断されましたが、復旧工事により開通したため、9月17日に森で草刈りを行いました。



草刈り機で雑草の除去

た。当日は晴天に恵まれ、丈が苗木より高く伸びた雑草を草刈り機で除いていきました。今後、100年にわたりこの森のメンテナンスを継続するという覚悟で、貴重な地域の伝統文化を守っていくと考えています。

ウクライナ避難民へのチャリティーコンサート

三島西ロータリークラブ
第2620地区・静岡県

三島市では、ウクライナからの避難民を受け入れています。これをご縁と捉え、当クラブでは、ウクライナに平和が戻り、避難民の皆さんが笑顔で帰国できる日が一日も早く来るよう祈念し、9月22日にチャリティーコンサートを開催しました。

ROTARY AT WORK



全ての人に働く喜びを!!
 〈福山RC〉
 障害のある人たちが働く喜びを得て、自ら生きる力を育んでほしいと、障害者就労支援団体「あいあい広場」に耕運機1台とローラーコンベヤー4台を寄贈した。あいあい広場から、より多くの利用者が安全に農作業に参加できる設備の要望があり、それに応えての支援。利用者から大変喜ばれた。
 (10月3日 第2710地区 広島県)

ROTARY AT WORK



学び舎に満開のサクラを咲かせよう
 〈長野北東RC〉
 例年、長野市立城山小学校の6年生とサクラの植樹を続けている。今回は同小学校正面玄関付近に、約80人の児童と全会員で高さ4mほどのオヤマザクラ3本を植樹した。児童からは「春にきれいな花が咲いてほしい」「卒業後も友達と見に来たい」と感想が上がった。10年目となるこの事業は、卒業する児童にとって良い思い出になっている。
 (10月13日 第2600地区 長野県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

沖縄の海を美しく保つために
 〈那覇東RC〉
 美しい沖縄の海を守るべく「ビーチクリーン」を実施した。会員や家族、友人、興南高校・AACの会員ら総勢約70人が参加し、暑い砂浜を一齐清掃。ちぎれた魚網やロープ、ブイといった漁業関連の廃棄物や、外国語のラベルが付いた一般ごみなどが集まった。細かく砕けたプラスチックの破片も見られ、参加者からは「マイクロプラスチック問題について改めて考えなければ」との声が上がっていた。
 (9月25日 第2580地区 沖縄県)



ROTARY AT WORK

ワイキキRCと3年ぶりに交流
 〈日立南RC〉
 15年前、ハワイのワイキキRCと姉妹クラブを締結、交換留学生事業の継続をはじめ交流を重ねてきた。ところがコロナ禍で全てが休止。このたび3年ぶりの交流事業としてワイキキRCが奉仕活動の資金調達パーティーを開き、会長を含む4人が参加した。日本からは当クラブ同様、姉妹クラブの大阪城北RCと大坂平野RCからの参加があり、総勢約200人がマジックショーやシークレットバザーなどで交流を深めた。
 (10月1日 第2820地区 茨城県)



ロータリーの奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



台風被災地で 災害ボランティア（静岡RAC）

9月23〜24日に静岡県内に大きな被害をもたらした台風15号の災害ボランティアに参加。少しでも市民の力になれるよう、静岡市の災害ボランティアセンターに団体登録をし、クラブとして10月に3回参加。個人の活動として複数回参加した会員もいた。近隣クラブのロータリーアクトを誘ったり、クラブのフェイスブックで活動の様子を知ったロータリアンが参加してくれたり、活動の輪の広がりを感じられた。

（10月 第2620地区 静岡県）

ROTARY AT WORK



秋の夜長に 職業奉仕セミナー

〈箕輪RC〉

職業奉仕への理解を深めるため、夜間例会で職業奉仕セミナーを開催。「自分が日々行っている職業奉仕」をテーマに各会員が話し、皆で意見交換をした。互いの職業の内容や仕事への思い、四つのテストの実践について語り合い、職業奉仕という概念の捉え方についても意見が交わされ、心に残る例会となった。

（10月21日 第2600地区 長野県）

ROTARY AT WORK



ウクライナから避難した 女子大生を招いて

〈和歌山城南RC〉

ロシアによる侵攻で、ウクライナ・ザポリージャから母妹を残し避難した女子大生を例会に招いた。彼女は、地元の子大生を例に招いた。彼女は、地元の日本語学校有志の支援を受け、4月から無償提供された和歌山市内の住居で暮らしながら日本語学校に通っている。卓話で彼女の経験を聞いた後、支援金を贈呈。会員一同、平和への願いを込めてエールを送った。

（10月6日 第2640地区 和歌山県）

ROTARY AT WORK



歴史を紡ぐ彫刻の清掃

〈宇部RC〉

UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）の野外彫刻の清掃を毎年、春・秋分の日に実施している。秋分の日、今年、会員15人に加え、地元高校生と教師ら総勢37人が参加し、それぞれ担当の彫刻を清掃。会員の企業から高所作業車の応援を得て、水を含ませたスポンジで丁寧に汚れを落とし、周囲の雑草や落ち葉も取り除いた。彫刻清掃は今後も、地元の歴史を紡ぐ社会奉仕活動として継続していく。

（9月23日 第2710地区 山口県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



幸福は「口福」から
 〈広島安佐RC〉
 崇徳中学・高校1ACのインテークターを招き、本格的なフランク料理をいただく「マナー講習夜間例会」を開いた。こうした場は初めてという生徒もいて、少し緊張しつつもマナーを習得。岡本忠文会長が話した「幸福は口福から」の言葉通り、おいしく、楽しく、幸せな例会となった。
 (10月20日 第2710地区 広島県)

ROTARY AT WORK



陶芸教室と「海の生き物ふれあい体験」
 〈横浜南央RC〉
 普段経験できないことを体験してもらおうと、子ども食堂に来る子どもたちを対象に、陶芸教室と「海の生き物ふれあい体験」を開いた。陶芸教室では「何を作るか」「形はどうする」「色は何色か？」など、子どもたちが楽しみに考えていた。その後、横浜市内の貴重な砂浜が残る野島公園で、海岸清掃とともに海の生き物に親しんだ。
 (9月24日 第2590地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

子どもたちにすてきな眠りを
 〈鹿児島東RC〉
 児童養護施設「愛の聖母園」ではさまざまな理由で保護者と一緒に暮らせない子どもたちが入所しており、現在、50余人が生活している。子どもたちが就寝する際に使うマットレスが費用の面からなかなか交換できず、劣化が進んでいると知り、気持ちよく眠りに就いてもらおうと、地区補助金を活用して新しいマットレスを寄付した。
 (10月6日 第2730地区 鹿児島県)



ROTARY AT WORK



女子硬式野球大会を三重県で初開催
 〈熊野RC〉
 女子硬式野球の拡大と女性スポーツの向上、さらには地方のスポーツ交流を目指し、「第1回女子高校野球くまのベースボールフェスタ Cup」が、熊野市で初開催された。全国大会優勝歴のある強豪チームなど8チームを招き、トーナメント形式で熱戦を展開。クラブは創立50周年記念事業として、優勝と準優勝の各チームにカップを贈った。
 (9月24・25日 第2630地区 三重県)

ROTARY AT WORK



学生への食料支援 プロジェクト〈枚方RC〉

コロナ禍や物価高騰の影響で困窮する関西外国語大学の学生を支援するため、食料品などを無料配布する団体の事業に協賛参加したところ、開始直後から会場を囲む座席が順番を待つ学生でいっぱいになり、8月から受け入れを再開した留学生を含め1000人以上の学生に支援品を手渡した。（9月17日 第2660地区 大阪府）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

ポスターでSDGsを啓発

〈志賀RC／富来RC〉

SDGs（持続可能な開発目標）は誰でも取り組める活動だということを、もっと分かりやすく、目に見える形にしたいと、啓発ポスターを制作。イラストは、タカラトミーのおもちゃ「こえだちゃん」のキャラクター創作者で、志賀町出身の桜井勇氏に依頼し、2種類のポスターを仕上げた。6～9月、志賀町役場や学校、各企業をはじめ、町内一円に900枚ほど配布。志賀RCの友好クラブ・長野南RCにも寄贈し、活用してもらっている。（第2610地区 石川県）



ウクライナ難民のための サポート教育センター支援

〈泉佐野RC〉

ロシア軍の侵攻以来、ウクライナから避難する人は増え続け、隣国のポーランドでは約200万人を受け入れている。そこで貴志豊国際奉仕委員長とワルシャワのシヨパンRCにいる知人とのつながりを生かし、ロータリー財団災害救援補助金を活用し、同クラブに2万5000ドルを送金。現地でサポート教育センターを開設し、専門のスタッフらによる精神的サポート、デイケア、教育の分野で難民支援を行ってもらっている。

（9月29日 第2640地区 大阪府）

ROTARY AT WORK



中学校へドローン寄贈

〈松戸西RC〉

デジタルや科学技術への興味を持ってもらうと、松戸市内の中学生たちの学習用品としてドローンを寄贈。寄贈式では、市長から「ドローンはこれからの世界をけん引していく大きな手段。身近なものになる一つのきっかけとなれば」と感謝の言葉を頂いた。子どもたちの未来がドローンのように上昇していくことを、会員一同願っている。

（9月20日 第2790地区 千葉県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



**伝統行事「川内大綱引」
祭りに太鼓寄贈** 〈川内RC〉
地元で400年以上続く伝統行事「川内大綱引」祭りを子どもたちに継承してもらおうと、綱練り(巨大綱作り)に子どもたちと一緒に参加した他、祭りに使う子ども用太鼓を寄贈した。大綱引きはコロナ禍で3年連続中止となっているが、子どもたちは楽しい思い出をつくることができた。
(9月22日 第2730地区 鹿児島県)

ROTARY AT WORK



**地域と歩む
支援学校応援プロジェクト** 〈京都山城RC〉
昨年4月に開校した京都府立井手まぶき支援学校に、地区補助金を活用してベンチと遊具のバラバロンを寄贈した。贈呈式には児童生徒の代表34人と保護者、先生が出席。その後の交流会ではバレーゲームやボッチャと一緒に楽しみ、支援先の状況を体験学習。今後の支援活動へとつなげた。
(10月5日 第2650地区 京都府)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

久しぶりの職場見学 〈川崎南RC〉
コロナ禍の影響で中断していた職場見学がようやく再開でき、「カワスイ川崎水族館」を見学した。地元の多摩川から熱帯雨林まで、世界各地の水辺の生態系が再現されており、地球環境の尊さや環境保護の大切さについて考えるきっかけとなった。地域の子どものためにも大切にしたい施設だと会員たちは実感していた。
(10月18日 第2590地区 神奈川県)



ROTARY AT WORK

愛ビーチ・大島クリーン作戦 〈八幡浜RC〉
八幡浜市の沖合12kmのところにある大島で、ビーチ清掃を実施。流れ着いたペットボトルなど大量のごみがあつて大変な作業だったが、見違えるようになった。今回の活動を「離島における漂着ごみ問題」を考える契機とし、ゆくゆくは地元行政などの協力を得て、継続できるようにしたいと考えている。第2回は4月2日を予定。
(10月2日 第2670地区 愛媛県)





ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK

写真編

ニシキゴイがお出迎え 駅前のおもてなし清掃

小千谷ロータリークラブ
第2560地区・新潟県

昨年11月3日は、日本海を挟んだ対岸の北朝鮮からミサイル発射の報道が伝えられる物騒な日となりましたが、当クラブでは晴天の下、JR小千谷駅周辺の清掃活動を行いました。

地域の玄関口である駅前から、「おもてなし」の輪が波紋のように広がることを願って、当クラブは昨年5月、創立60周年記念事業として、駅前の雰囲気を一新するよう、看板や庭園の改修に努めました。当地はニシキゴイの生産で有名な町であり、駅前にはニシキゴイをかたどった地下道入り口（写真）もあります。この日は、週末に品評会を控えていたことから、クラブとして改めて「おもてなし」の心で、駅周辺のごみ拾いや清掃活動を行うことにしました。

ニシキゴイの品評会には、日本のみならず欧米やアジアなど、海外からも大勢の人が訪れます。色や模様は多様性に富み、穏やかな性格。環境への順応性も高く、調和と共存を兼ね備え、優雅で品格ある姿は世界に誇る芸術品。わが地域と世界の架け橋となる大事な存在です。私たちもゴイの品格に負けぬよう駅前をきれいにすべく、会員それぞれが雑草抜きや、たわし、バケツ、ほうき、ちり取りなどの道具を持ち寄って汗を流しました。回収したごみは雑草、石、コンクリートのくずなどさまざま。自主的に集まって活動した会員たちは充実感にあふれ、かつて地下道を造った人に思いをはせてみるなど、地域における多くの気付きも得られました。そんな中、通りかかった地元の子供が一言、「きれいにしていただき、ありがとうございます！」。会員たちになれしい気持ちで響き合い、さすがにしく平和なひとときとなりました。

（木村敬知・記）

うちの子

秋田犬は誠実、忠実にして頑固、無駄ばえもない。おかげでウオーキングは三日坊主にならず、2年近く続いている。6月末には七生が6匹の子犬を生んだ（秋田犬保存会会員）。



早川 敏江（愛知県・名古屋名駅RC）

及び法規に対しては認め否認もしない」という一文があった。RIの規定では、クラブは「政治的性質を持った世界問題または国際政策」に関する活動はしてはならないとあり、地区、クラブ単位での難民支援は展開できずにいた。しかしこの人権問題に、宮城県の築館RCは、クラブ有志の資金で1年間、南ベトナム出身の留学生を援助した。また、『白石RC創立30年記念誌』によると、同クラブのある会員は「難民問題は政治活動ではない。人権問題と捉えるべきだ」と、RI中央事務局（現・RI世界本部）や当時の理事・向笠廣次氏（1982―83年度RI会長）に書簡を出し、強く働きかけ続けた。やがて『手続要覧』の国連関連の記載は訂正され、後の広島でのロータリー平和会議開催

（88年）にもつながったそうである。さて今回、災害救援補助金が適用された結果、わが地区は当地で暮らすウクライナ難民の方々に、猛暑対策としてエアコン、ウクライナ語による学習タブレット、高校生用学生服、運動着、パソコンなどを寄贈することができた。さまざまに難民の方々に応援できる機会を得たことで、改めて苦勞なされた先輩らの努力と、ロータリー財団に大いに感謝している。

（第2520地区 宮城県 土地改良換地上）

バイクで広がる、 親睦グループの輪

富良野 松田 英郎

2021年8月に設立したロータリー親睦活動グループ「International Fellowship of Motorcycling Rotarians」（バイクのロータリー親睦活動グループ）の日本支部は、全国から会員が集まり、現在140人を超えました。

活動を日本支部のフェイスブックなどに載せていたところ、そのつながりから、北海道のツーリングを予定していた九州地区の熊本江南RC・田中俊宏さんと、大分キャピタルOHIOロータリー衛星クラブ・林秀一さんから連絡が入り、8月7日、北海道ツーリングの最終日に富良野に寄っていただきました。道中の広島では、諏訪昭浩さん（広島西RC）と会って、夕食を一緒にしました。

初めてお目にかかったのに、親睦活動グループの仲間同士、随分前から知り合いだったよう

な既視感を抱かせ、すぐに仲良くなって談笑しました。ロータリーは不思議な力を持っていますね。ランチを共にしながら、今後の当グループの活動などについて話し合いました。また、お目にかかれる日を楽しみにしています。

（第2500地区 北海道 外科医）

IFMR日本支部フェイスブック www.facebook.com/groups/31973029812091



全国にツーリング仲間が。一緒に走りませんか？（前列右が筆者）

Annotation

ロータリー親睦活動（Rotary Fellowships）世界ネットワーク活動グループ（Global Networking Groups）の一種。共通の関心事、職業、レクリエーションの活動を軸に、世界中で交流と友情を深める目的でつくるグループ。

上げたりと、ちょっと天然！」な彼女ですが、何事にも熱心で真面目に取り組む姿が皆の信頼を得ています。当クラブではこの機会に、彼女の絵本『レオちゃんびょうきになったんだって』を、地元保育園や幼稚園に配布しようとして検討しているところです。

(第2640地区 和歌山県 電気工事)

クラブ主催の囲碁大会 でプロ棋士4人目誕生

堺北 池田 茂雄

堺北RCは2011年に「第1回子ども囲碁フェスタ・堺」を主催して以来、毎年開催しながら現在に至っております。堺市教育委員会、堺市こども会育成協議会、(公財)日本棋院、堺商工会議所の後援により、育ち盛りの小学生を対象に、日本の伝統文化でもある囲碁に触れてもらえたらとの思いで始めた行事です。

今までに、この行事に参加した小学生の中から、囲碁プロ棋士が3人誕生しています。第1回のAクラス優勝者・田中康湧君、同準優勝者・辻篤仁君、第2回Aクラス優勝者・渡辺寛大君です(『友』22年1月号本欄参照)。

そして、22年9月、18年11月3日の第8回時、Bクラスで優勝した藤田怜央君が見事、囲碁プロ棋士になり、これで参加者から4人目の囲碁プロ棋士誕生となりました。

参加当時は5歳6カ月の保育園児。小学生対象の行事でしたが、お兄さんと一緒に参加したいとの申し出があり、Bクラスに参加してもら



優勝した当時の藤田君(18年11月)

いました。その4年後の今回、小学3年生で見事、わが国での史上最年少記録となる「9歳4カ月」で囲碁プロ棋士になったのです。これまで小学5年生でプロ入りし最年少記録だった仲邑菫二段(当時)の「10歳0カ月」を3年ぶりに追い抜くこととなりました。4歳から囲碁を始め、囲碁教室に通い、子ども大会などで活躍。小学1年生からは、囲碁道場で腕を磨いてきました。本人の弁、目標は「世界一」とのことでした。

この行事は当初、堺市広報に掲載していたが、堺市内各区役所など地元公共機関の支援を仰ぎながら始めましたが、今では近隣地域にも広く知れ渡り、応募者も広範囲に及んでいます。今回の藤田君も、大阪市内からの参加者でした。

このところ、コロナ禍で開催できない状態が続いていますが、参加希望者のもとより、特に保護者からの関心が高く、次回開催の問い合わせなどが多く来ています。今回の藤田君のプロ合格も、当クラブにとって今後、活動をする上で大きな励みとなりました。皆さんの期待に応えるべく、今後も若い世代のための青少年支援活動に力を入れて取り組んでまいります。

(第2640地区 大阪府 税理士)

R財団と46年前の ロータリアンに感謝!

仙台青葉 大江 勝雄

2022年2月24日のロシア軍によるウクライナ侵攻直後、ロータリー財団の災害救援補助金を活用して、ウクライナ難民を支援できるようになった。それを聞き、私は過去の出来事に思いをはせた。

1970年代半ば、ベトナム戦争を逃れた南ベトナムからの難民が、ボートビープルとなつて海に漂うニュースが連日報道されていた。南ベトナムから来日していた留学生は、親との連絡も取れず生活資金にも窮していた。

当時の『手続要覧』には、「国際ロータリー(RI)は、国際連合憲章の規定や国際連合の決議



母国のオンライン授業も受けられるタブレットなどを寄贈



執筆者の西村さん(右)と、編集・校正を担当した筆者

※小冊子のお問い合わせは0827・43・1323 /
ro@iwrc.jp (若国西RC事務局)

この混迷の時代にあつて、ロータリアンとしての誇りを持ち、常に謙虚な姿勢で社会的な責任を果たそうとしている西村さんに頭が下がる思いです。この小冊子が「ロータリー人生の心のよりどころ」として、会員に読み続けられることを願ってやみません。

このたび、その40談話を小冊子にまとめました。ロータリークラブのことを知らない人や初心者に対して、その概要、背景、意義を示し教えてくれる「入門書」とあるとともに、ロータリー人生を豊かにするための「指南書」となっています。

バナーが2021—22年度の1年間にわたり、『週報』に連載で「榮ちゃんの如辺談話」として、ロータリーにまつわるさまざまな情報を執筆し、例会を盛り上げていただきました。

思いやりの心で！ 石橋会員、絵本を出版

御坊南 楠本 勝彦

御坊南RCの石橋理代さんが、このたび絵本『レオちゃんがびょうきになったんだって』(文芸社)を出版しました。かわいい猫たちが通う学校が舞台で、いじわるなサビ猫のレオちゃんが病気になるって学校を休んでいる間に、クラスの皆が先生と一緒に感染症を正しく理解し、一緒に「手あらい歌」で手をきれいに洗うというストーリーです。

最初、皆はいじめっ子のレオちゃんが学校を休んでいることを喜んでいましたが、何日もレオちゃんに会えない日が続くと心配になってきます。その後「びょうきになったのは、レオちゃんではなく自分だったかもしれない」という気持ちに、心理的変容していく場面が一番伝えたい部分だそうです。挿入の「手あらい歌」も親子で楽しく歌ってほしいとのこと。「優しい心が広がる世の中になれば、との思いを込めました。人間も動物も、そして地球も共に元気で仲良く過ごせる日が来ることを願っています」(石橋さん)。

日本に新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた2020年春ごろ、石橋さんは感染者への周囲の批判や冷たい反応を感じ、「コロナで大人たちが互いに批判し合う中、子どもたちはどのような気持ちだろう。おびえているのではないか」と考え、「怖がらなくても大丈夫」というメッセージを子どもたちに伝えたいと、ス

トリーを温めていたそうです。同時に、地域内の保育園・幼稚園に、他の作家が出版した、新型コロナウイルスに関する知識や手洗い・うがいに關する絵本を配布する事業もクラブに提案し、実践してきました。

石橋さんはまた、人権擁護委員を21年間も務め、21(令和3)年秋には藍綬褒章を受章。06(平成18)年から現在まで、放送大学で心理学・福祉・哲学などを学び続けてきました。他にも自殺予防に関するボランティアや、近所のお年寄りを集めてサロンの開催、また日本舞踊の名取として踊りの指導をしたりと、ロータリー活動以外にも多忙な毎日を送っています。

今の一番の趣味は「朗読」で、作者や時代背景を調べながら読むそうです。

クラブ内では、大嫌いなニワトリの置物に出くわし悲鳴を

『レオちゃんがびょうきになったんだって』
(文：石橋理代／絵：宇井清子／文芸社)



絵本執筆中の石橋さん



友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

青少年交換クラブへ お礼のメールアップ

人吉中央 村田 優子

2022年8月8日、2年越しの念願がかない、オーストラリアのシドニー近郊、キャンベラタウン・ロータリークラブ（RC）にメールアップをしました。

同クラブと人吉中央RCとの交流は17年夏、当時高校2年生だった私の娘が、青少年短期交換学生として5週間派遣されたことに端を発します。その1年後、先方のクラブから、日本に大変高い関心を持ち、独学で日本語を学習しているという高校1年生のアリサ・パウエルさんが派遣され、私を含む4人の当クラブ会員宅で計2カ月間、ホームステイをしながら人吉の県立高校に通う、という交流がありました。私は、娘がお世話になったホームステイ先の



2年越しでホストファミリー同士の対面交流が実現

ご家族に、母として直接お会いして感謝の気持ちを伝えたい、そして私たちが受け入れたアリサさんの成長した姿を見たいと思っていました。20年夏に、小学生の息子と二人で渡豪する計画を立て、先方と連絡を取り合い、航空券も購入していました。その矢先、世界中が新型コロナウイルスのパンデミックに陥り、国境は封鎖、緊急事態宣言も発令され、あえなく計画を断念せざるを得なくなりました。

そんな中、「令和2年7月豪雨」により、私たちが住む熊本県の球磨人吉地方は大水害に見舞われてしまいました。私が経営する球磨川沿いの8階建てのホテルも地下階と1階ロビーが水没、大変な被害を受けました。

真夏の泥出しから、建物、設備機械の修復を経て、ようやく半年後の21年1月にホテルはリニューアルオープンを果たし、私もロータリー活動を再開することができました（その節は、全国のロータリアンの皆さまから、物心両面から多くの支援を頂き、心より御礼申し上げます）

ます）。

あれから2年がたち、思わぬ被災とコロナ禍により棚上げとなっていたオーストラリア訪問が今夏、ようやく実現したのです。例会では、水害被害を受けた人吉の当時の様子と、復興しつつある今の状況を伝える時間を取っていただき、「温泉観光地・人吉へぜひお越しください」とお誘いしました。

交換留学で子どもたちが交流し終えた後も、こうしてわれわれホストファミリー同士が絆を深めることができ、ロータリーの結ぶご縁に大変感謝しています。今後も大いに青少年交換を通じた国際交流を推進していきたいと思っています。

（第2720地区 熊本県 ホテル）

※コロナ禍における熊本豪雨災害の記録については、『友』20年10月号をご参照ください。

榮ちゃんの炉辺談話

岩国西 兼田 康史

前年度、私は会長を務めました。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、クラブ運営も大きな影響を受け、例会を休会にしたり、委員会活動の停止を余儀なくされたりと、かつて経験したことのない試練でした。一方で、2カ月間にわたる例会の休会という異常事態が、例会の意義、ロータリーの仲間の大切さ、ロータリーの良さを改めて確認する機会となりました。

特に、コロナ禍での例会を少しでも有意義なものにしようと、当クラブの西村栄時（さきとし）バスターガ

菊月の清酒愈々旨くなり

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

寝酒干し祖母の夜咄始まりぬ

大分・日田 梅野 啓子

椋鳥のなだれ込んだる櫛かな

千葉・富里 寒郡 政雄

露きらり光りて氣付くすべきこと

千葉・野田 高梨昇一郎

葉隠れのひとつ大きな青蜜柑

埼玉・日高 犬竹 功子

八幡平竜胆の道続きけり

東京蒲田 馬場 久恵

田仕舞の煙に噎ぶ一家族

三重・名張 城山 勝紀

秋の陽をあびて散歩は下駄がよし

奈良 寺田 康宏

山門の大戸開けたる良夜かな

東大阪東 天野 春正

俳諧の旅の伊予路の秋深し

福岡城南 吉武 草徑

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に葉書で一人三句まで ◆締切二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆文字明確に ◆『友』俳壇係宛

研修医に物言ふ医師の穏やかな
口調耳にし緊張をとく

奈良 寺田眞佐子

ビートルズを流し続ける喫茶店
帰れるやあの日の「Let It Be」

大阪天王寺 高見篤志郎

竜胆は香りなけれど色形
いと涼しげで残暑和らぐ

香川・高松 平峯 千春

本年も連れ立って来る鴨は
黒鉄もちの実が熟す時

茨城・日立 藤居 彰一

ペランダに干しものせむと来てみれば
秩父連山遠く晴れ見ゆ

埼玉・坂戸さつき 岡部みゆき

何事もふつうが一番という母を
亡くしてわかる言葉の重さ

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰

ペイゴマの仲間は皆んな逝きにけり
音信不通の一人残して

千葉・富里 寒郡 政雄

秋半ば台風一過の爪痕に
空気がわりて布団冷たし

三重・上野東 長谷川真嗣

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に一人三首まで ◆締切二〇日必着 ◆作品横にクラブ名・氏名、電話明記 メール可 ◆文字明確に ◆『友』歌壇係宛

もう一杯隠れ飲む酒チクる孫

福岡伊フニング 甲斐総治郎

隠れて飲む酒のおいしいこと。でもお孫さんが心配してますよ。健康のためにほどほどに。

オリオンがつかめるみたいに冴える朝

熊本・八代北 清水 明美

明けの空に、降って来そうな満天の星座が見えます。冷たい空気が美しさに華を添えます。

神楽舞う巫女の携帯鳴り始む

宮崎・高鍋 平山 英俊

私もよく分かります。古典落語をやっていると、客席で鳴り響く携帯音。あつと言つ間に現実に戻ります。

あらこれも手に取り棚に戻す秋

鹿児島・川内 新原 建次

物価高が止まりません。いつもの調子で手に取ってビックリ。寂しい秋は今年限りでお願いします。

肩と腰ついでに首も回らない

埼玉・入間南 大河内隆敏

この句も物価高を詠んだ句ですが、ユーモアがありますね。リズムも良いので、思わずクスッと笑っちゃいます。

すれ違い右によけたら右に来る

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

私も不思議に思っていました。なぜ同じ方向に？でもこんな日常の疑問も句にすると、含蓄（がんちく）ある言葉に聞こえます。

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に一人三句まで ◆締切二〇日必着 ◆作品横にクラブ名・氏名、電話明記 メール可 ◆文字明確に ◆『友』柳壇係宛

1月から柳壇に加え歌壇も、ハガキ以外にウェブサイトの投稿フォーム、メールでも受け付けを始めます。ご応募お待ちしております。横組57頁・投稿規定参照。



長谷川 權

産み育て今は亡き母麦こがし

兵庫・西宮 太田 博

今や子育ては母親だけの仕事ではなく、子育てだけが母親の仕事でもない。ただ子どもは母のおかげと思う。麦こがしは大麦を炒(い)って粉にしたもの。おやつに水やお湯で練って食べる。

洗車後のバックミラーに鰯雲

富山・朝日 前川 治美

秋天の鰯(いわし)雲。白い雲が一群をなして遠ざかる。不思議なことにこちらに向かつてくるように見える。洗いたてのバックミラーに鮮やかに映る鰯雲。これもどこかへ遠ざかってゆく。

鰯雲風の便りも絶えし人

大分・宇佐 磯永喜八郎

手紙やメールも来なければ、このところ噂(うわさ)も聞かなくなつた。ふと気がつくところ人生のどこかにそんな人がある。自分の人生という舞台から、いつの間にかどこかへ立ち去つた人。

よく鳴きますと鈴虫を籠に入れ

愛知・名古屋錦 石井 弘子

ペットショップで鈴虫を買つているところか。「よく鳴きます」とは店の人の言葉である。かつては虫売りがいて鈴虫にかぎらず、いろんな虫を売つた。今はカブトムシとかクワガタか。

鈴虫や今宵は共に過ごさんと

兵庫・神戸西 飯田美奈子

鈴虫の声を聞きながら秋の夜長を過ごそうというのだ。「今宵(こよい)は」というところをみると、きょう到来したばかりの鈴虫のようである。庭に放したのかもしれない。静かな秋の一夜の友。



馬場あき子

北海の魚運んだスチロール
上なき我が家の花壇となりぬ

岐阜加納 鶴飼 武彦

北海で獲れた新鮮な魚を運んできたスチロールの箱。土を入れて草木を植えて楽しもうと、そうした箱がいつしか花壇をなすまでに増えていたのだ。植えた植物の思い出が、箱を手にした時の漁獲物の思い出、時にはそれを贈られた人の思い出にも重なる花壇である。さまざまな草木や花の四季が、その生きこし方をふりかえらせることとともにある、スチロール花壇だ。感慨の深さもひとしおであろう。

ファミレスでメニューが示すカロリーの
高い順から記念日の格

神奈川東 河野 明光

生きてゆく歳月の中に、人はいろいろな記念日をもつ。誕生、入学、卒業、就職をはじめ、昇進や受賞、そして七五三の成長や還暦以後の齡(とし)の節目など。すべては生きるよろこびにつながる記念日だ。作者の一家は、それを多く簡潔にファミレスで祝ってきた。

そのメニューと祝いの格の高下の基準が面白い。カロリーの高そうな濃厚な豪華料理、これがやはり意義深い記念日の祝いにぴったりだ。健康食の場ではなし、納得である。



三遊亭白鳥

新年あけましておめでとうございます。

しかし円安に物価高。懐がますます寒くなりますね。でも、考えるのはタダですよ。挑戦することが元気の秘訣(ひけつ)。

今年も楽しく、川柳で頭の体操をいたしましょう。

天 熱い仲秋風吹けど焼き餃子

大阪大淀 長谷川真哲

フライパンの中でバチバチと焼ける音と香ばしい匂いが漂ってきます。外は寒くても熱々餃子(ギョーザ)。これさえあれば幸せだなあ。くつついている餃子に仲良い様子が重なります。

地 なぜ生きる解からぬままに歳をとる

福岡伊ブニング 菊池 文彬

まさしく人生の先輩の教えですね。生きていくことに意味を探さず、日々生きていくことに感謝。私も落語家、解らぬままに三十五年やってます。今日寄席で受けたことに感謝。

人 りんごもぎ小鳥の分は枝先に

青森・八戸 道尻 誠助

晴れた空。冷たい風が吹きわたる。枝先に一個だけ残る真つ赤なりんご。そんな風景が浮かびます。小鳥を思う優しい気持ち、その風景を暖かくしてくれます。



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

事業承継としてのM&A

関口会計事務所 関口 良康

M & A (Mergers and Acquisitions、企業の合併と買収) は、日本では増加傾向にあり、民間の調査では2021年は、4280件と過去最多を記録しています。M & A市場が盛んになってきた要因として、譲渡する企業側には、経営者の高齢化と後継者不在、相続税対策、業界の先行き不安、時代の変化への対応、M & Aに対する抵抗感の希薄化などが、譲り受ける企業側には、事業強化と拡大の必要性、新規事業への参入などが挙げられます。M & Aの大きな利点は、事業や社名の存続、いわゆる事業承継がスムーズにできることです。日本ではかつて親族への承継が9割以上を占めていましたが、近年では親族外承継

が6割弱となっています。国も事業承継としてのM & Aを推進しており、中小企業庁からガイドラインが出ています。経営戦略の一つの選択肢として活用する、という考え方が広まってきているのです。

事業承継には親族内承継、社員などによる親族外承継があります。これらは金融機関からの借入連帯保証を引き継がなければなりません。M & Aだと解除が可能です。ただし親族内承継の場合、株式は引き継ぐ際には相続税を現金で支払う必要があります。親族外承継ですとその承継者が買い取らなければなりません。対して、M & Aは譲渡企業が株式を買い取ります。ですから、タイミングや確実性が読みづらく、早い段階から計画的に取り組まねばならないことは注意してください。

M & Aで最も多い手法は株式譲渡です。基本的に会社はそのまま、社名、所在地、取引先、従業員も原則変わりません。雇用はそのままですから、リストラのようなことはありません。また、譲渡企業の大半は黒字企業です。そのため、引き継ぐ側も売り上げや利益が見込めます。企業再生というより、事業承継と発展の手段です。会社発展の手段の一つとして、M & Aをご一考ください。

(第2770地区・埼玉県・上尾RCにて・同RC会員)

私の一冊

失敗の科学

失敗から学習する組織、学習できない組織

大阪難波RC 中川 博之

失敗と聞くとネガティブなイメージがあります。「失敗をしないようにするにはどうすべきか」ということが書かれているのではと予想しつつ本書を手にしたのですが、むしろ失敗をポジティブに捉えるべきである、ということ学ばせてもらいました。

タイトルにある通り、本書ではさまざまな角度から失敗が分析されています。特に、航空業界と医療業界での失敗の捉え方の違いに関する事例は、自身の失敗への向き合い方を考えさせられる、非常に印象深い内容でした。「成功」の反対は「失敗」ではなく、「諦め」であると学んだことはあったのですが、本書からは、失敗から多くを学ぶことが成功への道になるということを知り、失敗に対する捉え方が大きく変わるきっかけを与えてもらえました。

(第2660地区 大阪府)



マシュー・サイド 著、有枝春 訳
ディスカヴァー・トゥエンティワン
2016年12月刊



左から、太樹さん、綱紀さん、茂樹さん（写真提供 昭和書体）

と、父親と同じ看板会社で4年間修業した（ちなみに3代目の太樹さんもこの東京の看板会社で仕事を学んだ）。帰郷後いったん地元のビジネスを知るために、縁を頼り鹿児島市の看板会社で2年勤めてから、父の看板店に入る。

「戻ると看板屋の経営は火の車。父が信頼して事務を任せていた人の売上金横領が判明したりして。初めて借金取りの取り立ても経験しました」

だが、なんとか苦境を切り抜けると一転、事業を拡大。景気の波にも乗り、公共施設のメンテナンスのような景観商品の新規事業にも進出した。1980年代後半には従業員20人を雇うほどになった。それも束の間、90年代に入りバブルが崩壊し、鹿児島まで波及すると公共事業も激減、やがて「億の負債」を抱えるほどの事態に陥る。

そんな頃、出入りの資材会社の人が会社に積んであった綱紀さんの筆文字の束を見て、「すごい文字だ。電子フォントにしたらどうですか」と話した。その一言に坂口さんがひらめく。

5〜6カ月かけて、最初の毛筆フォント商品で看板業者向けの「看板楷書」を完成させた。それを持って各地の看板会社や「行商」したが、「あなた、看板屋なのに字は書けないの?」「自分で書きなさい」などと言われた。

「潮目が変わったと思ったのは、インターネット上で、創作フォントを投稿するサイトの人気投票があり、当社の毛筆書体が連続1位になった頃からでしょうか。これは見られているなど」（竹島さん）

ある日1本の電話がかかる。有力ゲームメーカーのコーエー（現コーエーテクモ

ゲームス）からだった。ゲーム「真・三國無双」シリーズに採用が決まり、快哉を叫んだという。2007年のことだ。同じ頃、息子の太樹さんも戻ってきた。

退会余儀なくされた ロータリーにも復帰、活躍

さて、坂口さんは宮之城ロータリークラブ（RC）に2度入会している。最初は30歳の頃の1989年。ところが、97年に一度退会することになった。経営が傾き会費も滞り、例会出席もままならなくなったためだ。

その後、「宮之城RCの外部卓話で坂口さんに毛筆フォントの事業について話してもらおう機会があった」と、宮之城RCの先輩で町議、1級建築士の橋之口富雄さんが振り返る。その機に20年ぶりに再入会を申し出た。太樹さんも宮之城RC会員だ。同RCが会員10人ということもあり、2019〜20年度には会長に。就任直後に病気で入院を余儀なくされ、翌年度に再度やり直しの会長を務めた。昨年度はガバナー補佐に就任。タッグを組んだ当時のガバナー、井福博文さんは、「一見いかつい感じだが、実は優しいジェントルマン」と信頼を寄せる。見事なロータリー復活だ。

「父の毛筆の字は唯一無二のもので」と坂口さん。自身も父の背中を見て毛筆を練習し、父亡き後は二代栄泉も名乗るが、

「私には父の代わりはできない。プロデューサーに徹しました。フォントにするため、父の字を取捨選択し駄目出ししましたが、親子だからできた。適材適所で役割分担し、社長の太樹は渉外をやっ

ています」

近年は父、息子、孫の3代で芋焼酎を酌み交わすこともあった。父の綱紀さんは腎臓を患い、だんだん食も細くなったが、「ある日、牛丼をべろりと平らげ、なぜか『洋子ちゃん、ありがとう』と言った。翌朝には、もういけなくなっていました」と言う。

綱紀さんが感謝したのは、坂口さんの妻の洋子さんのことだ。お二人は高校時代の同級生。夫のことを聞くと、

「まさに波瀾万丈。でも、この人なら大丈夫、絶対成功すると思ってきました」と大らかに笑う。綱紀さんの遺品に、冠二郎やフランク永井のCDがあった。BGMにして字を書いたのだろう。最後に坂口さんと洋子さんのツーショットを自宅で撮影した。そこで坂口さんがギターでボロンと弾き語りしたのはかぐや姫のフォークソング「加茂の流れに」（昭和47年発売）だ。古くて新しい毛筆電子フォントを制作販売する、懐かしい時代の名を冠した昭和書体。その社名に父子の絆を感じ、じんときた。頂いた色紙の文字が心なしかにじんで見えた。

◇坂口茂樹（宮之城RC会員）1958年生まれ。鹿児島県薩摩郡さつま町出身。（株）昭和書体代表取締役会長。鹿児島県立入来商業高校卒業後、上京し看板会社勤務などを経て、家業の看板業を継ぐ。2007年、電子フォント制作販売に事業転換し、父・綱紀氏（書家名・綱紀栄泉）の毛筆文字の電子フォント化を図る。13年、（株）昭和書体を設立。長男・太樹氏を代表取締役に、自身は会長に就任する。



例えば、アニメ「鬼滅の刃」に使われた書体のうち、「閻龍書体」は「空を舞う若い龍のイメージ」で、「陽炎書体」は「ゆらゆらと地を這う陽炎イメージ」という。すると綱紀さんは龍になったり鬼や般若になったりと、書体が変わるごとに「変身」していた？ 言霊という言葉 言霊という言葉があるが、まさに一筆入魂の揮毫だったのだろう。

膨大な父の原字を坂口さんがせっせとパソコンにスキャンした。綱紀さんが自在に書いた文字をフォントの四角い規格の枠内にバランスよく収めたり、筆先から飛び散った不要な墨の痕を消したりと、繊細な調整が必要だ。パソコン上の文字は、細かいドット（点）とドットを線で結んで表されるが、定規で書いたような文字ならドットの数が少なくて済むのに、綱紀さんの筆の字はドットの数が多いに多いので、パソコンが情報を処理できず、字がでたらめに化けるトラブルもあった。

多額の負債にもめげず 父の筆に賭けて再起

昭和書体の前身は、1960年に綱紀さんが地元で始めた看板店である。開業以前、もともと手先が器用で絵心があった綱紀さんは京都の画塾で学んだり、帰郷して時計店をしたり、映画館の広告部で腕を振るった。書道を正式に習ったことはなく、朝早くから電信柱の看板に半紙を当てて写し、手本にして勉強した。その手本3000枚を仕事場の火事で焼失。看板屋になろうと一念発起し単身上京、世田谷区の看板会社に就職し、修業を積んだ末の念願の開業だった。

息子の坂口さんも地元の商業高校を卒業する



フォントの元になる原字の方は、今も昔もフォントベンダー（書体設計士）と呼ばれる人たちが、鳥口という特殊なペンや毛筆、直定規、雲形定規などを使って作る。その原字をパソコンでスキャンし、データ化して電子フォントにする。一方、昭和書体の毛筆フォントは、坂口さんの父である故・網紀さん（雅号・網紀栄泉）の毛筆で一字一字書いた原字が出発点である。

昭和書体を一躍有名にしたのは2019年放映の超人気テレビアニメ「鬼滅の刃」だ。登場する最強の剣士9人の名前と肩書を紹介したシーンで、網紀さんが原字を書いた3種類のフォントが使われた。坂口さんが振り返る。

「当初は私たちも毛筆フォントが『鬼滅の刃』のアニメで使われていたとは知りませんでした。ところが、ツイッターでどなたか知らない方が、『あの文字は昭和書体のこれとこれのフォントだ』などと投稿した。そのつぶやきがあつという間にネットで拡散されました」

昭和書体のフォントは対面販売ではなく、主にウェブサイトやeコマースのサイトなどから、CD・ROM版を注文するか、ダウンロードして購入してもらう。だから購入したお客さんがどんな使い方をしているかまで、詳しく把握していなかったのだ。

「あの『鬼滅の刃』の昭和書体」としてテレビ

や新聞、雑誌、ネットにも度々紹介され、評判が評判を呼ぶ。他にないテイストの毛筆文字が注目され、ドラマや映画、ゲーム、ラーメンチェーンはじめ飲食店の看板、イベントのロゴ、お寺、生花店、年賀状……。身の回りのあちこちに昭和書体の毛筆フォントが使われるようになった。

会社は鹿児島県の北部、薩摩郡さつま町にある。盆地にある人口2万に満たない、のどかな町だ。東京からだといく飛行機とバスを乗り継いで3時間余り。高台に立つ2階建てアパートの2階にあるこぢんまりしたオフィス。そこで会長の坂口さんと長男で代表取締役の太樹さん、部長の竹島和治さん、新人の原田風沙さんの4人がフォント制作と販売に務めている。同社の専属書家だった父の網紀さんは昨年3月、病気で亡くなられた。享年86。

コンピューターの並ぶ部屋の隣の作業台に網紀さんが半紙に筆で書いた漢字があり、掛け軸の作品などの遺作が壁に掛かっていた。使っていた太筆、細筆、極細の筆も残されている。

「父は2000円ぐらいの筆も擦り減るまで使っていた。朝10時から夕方5時まで、ずっと書いている。『字を書いているのではない、描いているんだ』と言っていました」と、坂口さん。

昭和書体は210種類のフォントがあるが、和文は92あり、そのうち半数の46は網紀さん一人が



15年かけて書いた。普段文章を書くのによく使う文字は3500字程度だが、フォントとして快適に使うためには人名や地名、旧字体などを加えた約7000字が必要とされる。

「7000字を46書体だから32万2000字。書き損じや書き直しもあるので、その1.5倍は書いた」。ざっと50万字近い。「コピー用紙500枚分の束を積み重ねたら約45センチになりますか」量だけではない。坂口さんが続ける。

「しかも46フォントのそれぞれには個性がなくはならず、そのために、父は『人格を変えなくらい、気持ちをつくり上げないと書けない』と言っていました。それも一つのフォントは最初の1字と7000字の最後の1字までずっと同じスタイルでなければならぬのです」

坂口茂樹

さん

● 宮之城ロータリークラブ



「看板屋三代」が生んだ
大ヒット毛筆・パソコン文字

「こちらをどうぞ」。取材冒頭、坂口茂樹さんから色紙を2枚贈られた。坂口さんはパソコンの文字を作って販売する(株)昭和書体の代表取締役会長である。色紙にはそれぞれ記者の私と熊谷カメランの肩書と名前が墨痕鮮やかに書いてあった。筆が勢いよく跳ね、時にはかすれ、ぎゅっと押さえ付けられ、小気味よく払われ……。名刺には「二代栄泉」という書家の雅号も書いてある。つつきり記念に揮毫してくださったと思い、お礼を言うと、

「いや、私は書いていません」

なんと、同社の商品である毛筆タッチのフォントを使ってパソコンから出力したデジタル文字だった。目をこすり、もう一度色紙を見直した。フォントとは、本や雑誌、新聞の印刷物からアニメ、ゲームの映像まで、さまざまな用途に使われる同じデザインの文字のセットのことだ。印刷が電子化される以前は、それぞれの書体の元になる原字から鋳型を作り、そこに鉛合金を流し込んで一文字ずつ鋳物の活字を作っていた。現在は電子データが活字に取って代わった。

ル貼りがどんどん進んでしまう。そんな社会になりかねない。

かつて、インターネットが現れたころには、これからパーソナル化がいい形で進む、個人に力を与えてくれる、そんな明るい期待、プラスの思いが大きかったわけですが、今やそのITがむしろ個人を軽視しかねない、そういう状況を生むのではないかという懸念が、憲法研究者の間に広がっています。これは本当にきちんと頭に置かなければならないテーマです。

とにかく、AIには偏り、バイアス問題があることを念頭に置くべきです。AIを作るのは人間であるがゆえ、AIに学習させる教材には、作成者の価値観が反映されるわけです。それがそもそも偏った思想による選択だったらどうでしょう。結果として、不利益を被る人が出てくるリスクがあります。どんな人も、バイアスに邪魔されることなく、テクノロジーの恩恵を受けられるようにする必要があります。

これはすなわち、AIを生み出す現場にはDEIが正しく根付いていなければならない、ということ。その視点で現場を眺めれば、テクノロジーの開発現場がいわゆる男社会であることは、否定できない問題でしょう。

2005年から09年、私がシリコンバレー支局に勤務していた頃は、有力企業のトップはほとんど白人の男性で、開発者も特定の人種への偏りがありました。そんな環境で生み出されるAIで、果たして、本当に広くあまねく人々のニーズに届えることができるのか。この問いはかねて指摘されてきたことで、今、まさに真剣に考えなければならぬことです。

今の社会の成長分野にはダイバーシティが足りていません。エンジニアリングやクラウドコンピューティングなど、IT社会の根幹を支えるような分野の仕事に就いている女性の割合は、非常に低いのです。ベンチャーキャピタル(VC)、いろいろなスタートアップが生まれるのを支える投資家に女性は少なく、そういう投資家のお金が女性起業家にはあまり回りません。

このように、特定の性別、特定の人種にテクノロジー分野、あるいはスタートアップの担い手が偏っているとすれば、そこから生み出される技術やサービスが多くの人たちの役に立つものである可能性は、おのずと下がらざるを得ません。テクノロジーを生み出す現場に、もっと多様性がなければ、開発の進むAIが多くの人に寄与する、というのは難しいのではないのでしょうか。

「AIと仕事」というと、生み出されたAIによつて仕事はどう変わるのか、どう影響を受けるのか、というところに目が行きがちです。それはそれで大事なポイントです。しかし、AIを生み出す仕事を誰がどのように担うか、もまた実には大事なことです。考慮すべきポイントです。

やはり、その多様性がしっかり確保された環境で生み出されたAIでなければ、倫理的にも、あるいは信頼性などの面でも、ちよつと足りないぞ、という指摘を受けてしまうのではないかと思います。

人間自身が試される時代

今、私たちは時代の大きな転換点にいます。従

来型の組織、時間の使い方からある種、解放され、新しい社会の姿を模索する時期に入ったと思います。そこでは個人、スモールビジネスの存在感が今まで以上に重みを増していき、同時に、新しい働き方も生まれてくる。AIはそのキーファクターなのだと思います。

一方、何度も申し上げましたが、AIが危うさを秘めた道具であることは否定できません。道具として使いこなす視点が不可欠です。

今、私たちに求められているのは、どのような社会を目指すのか、どのような働き方をすれば個人個人の能力を本当の意味で生かせるのか、というビジョンです。まず、設計図をきちんと描いて、それを実現していく有力なツールとして、AIをはじめとする多種多様なテクノロジーをどのように生かしていくのか。やはり、そこに今、知恵を絞るべきでしょう。

最後に申し上げれば、決して一握りのテクノロジー企業に任せておけばいい、という話でもなければ、エンジニアだけが考えるべき話でもない、ということ。より多くのステークホルダーが議論に参加し、その声が反映される必要があると思います。私のようなメディアに携わる人間の役目も当然大きいと思っています。

あくまでも「人」という存在が主体です。人による健康的な社会をつくるのが基軸であり、AIをはじめとするテクノロジーを道具としてどう生かしていくか、なのです。

うまく生かせれば、真の意味で、近未来的な良い社会、新しい仕事のカタチが見えてくるはず。現代は人間、人自身が試されている時代といえます。

SPEECH

人間とAIが共生する
職業の近未来のカタチ

「自動化」「個の時代」「メタバース」「DEI」、全て大きいトレンドでしょうし、AIと密接に関わるはずです。どのキーワードも大量かつ迅速なデータ処理を伴い、相当高度な状況認識や制御が必要であり、ものによっては非常にリアルな表現を問われますから、このようなメガトレンドとAIの関係性は、とても密接なものとなるでしょう。

テクノロジーをどう統治するか

「テックラッシュ」。お聞きになったことがあるでしょうか。テクノロジー、それからバックラッシュ、これは反発という意味合いの言葉ですが、これらを組み合わせた造語です。具体的には、近年成長著しいテクノロジー企業に対し高まっている、社会の反発・批判の言葉です。世界を代表するGAF Aと呼ばれる4社、グーグルGoogle、アップルApple、旧フェイスブックFacebook（現在のメタMeta）、アマゾンAmazon、この4社をはじめとする大手が富を独占し、自分たちに有利な形で事業を運営しているのではないか、公正な競争を阻害しているのではないか、といった批判が世界で高まっています。日本も例外ではないのはご承知の通りです。批判にとどまらず、このような企業への規制をもっと強めるべきだ、という声さえ出てきています。

かつては単純に「スマートフォンという便利なものが出てきた」「インターネットは全く便利だ」というふうな、最新テクノロジーが受け入れられた時代もありました。しかし、技術革新が著しく進み、テクノロジーの影響力がもう、本当にすご

い勢いで広がるにつれ、単純に喜んではいられない課題が発生してきました。その負の側面に対する批判の声が大きくなってきています。ここにAIの進化、発展が大きく関係しているの言うまでもないことです。

私が取材したあるデータサイエンティストは、「AIのアルゴリズム開発の指導者は、倫理を伴うリーダーシップを執るべきだ」と言っていました。この業界で活躍してきたプロが今、倫理教育の重要性を実感しているのです。ビッグデータを利用しAIは多方面で機能するけれども、ただそれを漫然と受け入れ続けていくと、いずれ、どんな問題も起きるのではないかと。

医学の世界では、研究開発の対象者の権利を尊重する、というふうな倫理の重要性がかねて叫ばれ、その面の教育がなされてきました。それと同じように、人工知能やデータサイエンスの世界でも、倫理教育をきちんと位置付ける時に来ているということです。その道のプロ、現場から倫理が重要だ、という提言が出ていることに重みがあります。

一方、憲法や人権の観点から、AIに向き合っている人たちもいます。最近読んだ『AIと憲法』。この本のなかで、憲法13条の視点からのAI問題の提起がなされています。憲法13条とは、「全て国民は個人として尊重される」というところです。

人の実態に迫るプロファイリングの手法を、AIを駆使して事業に生かしているわけ、という動きが近年、産業界に広がっているわけです。例えば「信用スコア」といって対象者が信用できるかどうか数値化し、金融サービスの対象になるかならないかを判断する、といった活用方法があります。結構デリケートな判断を、データ学習したAIが下すケースが出てきています。人材採用に使われる場合もあります。しかし、個人の「分類」「仕分け」が進行していくと、最終的に差別的な扱いにつながるのでは、という懸念を否定できません。AIで得られるのは、あくまでもデータから浮かぶパターンに基づく予測、確率です。その人が実際に当てはまるかどうかは別問題です。

AIを漫然と使っているうちに「この人はきつとこういうタイプに違いない」とある種のレッテ



■ 日本経済新聞社 コメンテーター

村山恵一

1969年 山形県生まれ。92年 東北大学法学部卒業後、日本経済新聞社入社。東京本社編集局産業部に配属、情報通信エレクトロニクス、自動車、医療、金融などの業界を担当。2004～05年 米ハーバード大学留学。05～09年 米シリコンバレー支局。12年 編集委員。15年 論説委員兼務。担当分野はIT、スタートアップ。著書多数。

ます。配送する商品を選び出し、箱に詰めて送り出す作業を、ロボットができるようになってきています。しかし、箱の形状や素材などにより、ロボットではどうしても扱いきれないものが出てきます。そういった場合、倉庫とは違う遠隔地にいる人がロボットを操作し、その作業を行うというアイデアがあります。人工知能やロボットではない仕事をする人間が「やむなく肩代わりしている」という捉え方もできますが、そうではなく、微妙な作業、サービスの品質や正確さ、クオリティに関わる重要な任務を人間が担っている、そういう仕組みだと考えることもできるのではないのでしょうか。

いずれはこのロボット操作の作業も、100%自動化される日が来る可能性は高いと思います。が、実現するのはいつになるのか、どのくらいのコストがかかるのか。いろいろ考慮すべき変数はたくさんあります。

このような新しい働き方、人間の能力の、新しい生かし方につながるような職場風景が今後は広がるように思います。ポジティブに捉えていいのではないのでしょうか。

「自動化」「個の時代」 「メタバース」「DEI」

今後、社会はどこに向かうのか。光のあて方は多様でしょうが、テクノロジと仕事のあり方、という角度から眺めてみたいと思います。ロータリー概念・職業奉仕が今日のテーマですから、職に関わるキーワードを挙げたいと思います。

まずは「自動化」。今や、人手不足はどんな産

業でも深刻です。業種によっては人余り、余剰になっているところもあるようですが、全体としては人手不足が深刻化しています。2030年の日本では、644万人ほどが不足するという調査もあります。やはり自動化は避けては通れないテーマです。ここにAIをうまく取り込み、人材、労働力を有効活用し、再配置することは不可避だろうと思います。

次のキーワードは「個の時代」。インターネットが本格的に普及してもう30年近い。すなわち情報の発信者、あるいは表現者として、個人という存在が台頭したと思います。個人の活動がつかつてない形で経済に結び付くようになつてきており、その典型例はユーチューバーでしょう。個人がクリエイティブティを生かし、得意なことを経済価値に転換するような仕組みが広がってきています。

「クリエイターエコノミー」という名称も生まれ、このような活動は世界的な潮流です。写真を撮るのが好き、料理をするのが得意、そういう個人の「好き」「得意」で対価を得る、稼ぐ方法が広がってきています。SNSなどを使い収入を得るような人、クリエイターと名乗るような人は、世界で5000万人レベルに達していると耳にしました。なかには一般的なフルタイムの仕事に匹敵するほどの収入を得ているケースもあります。

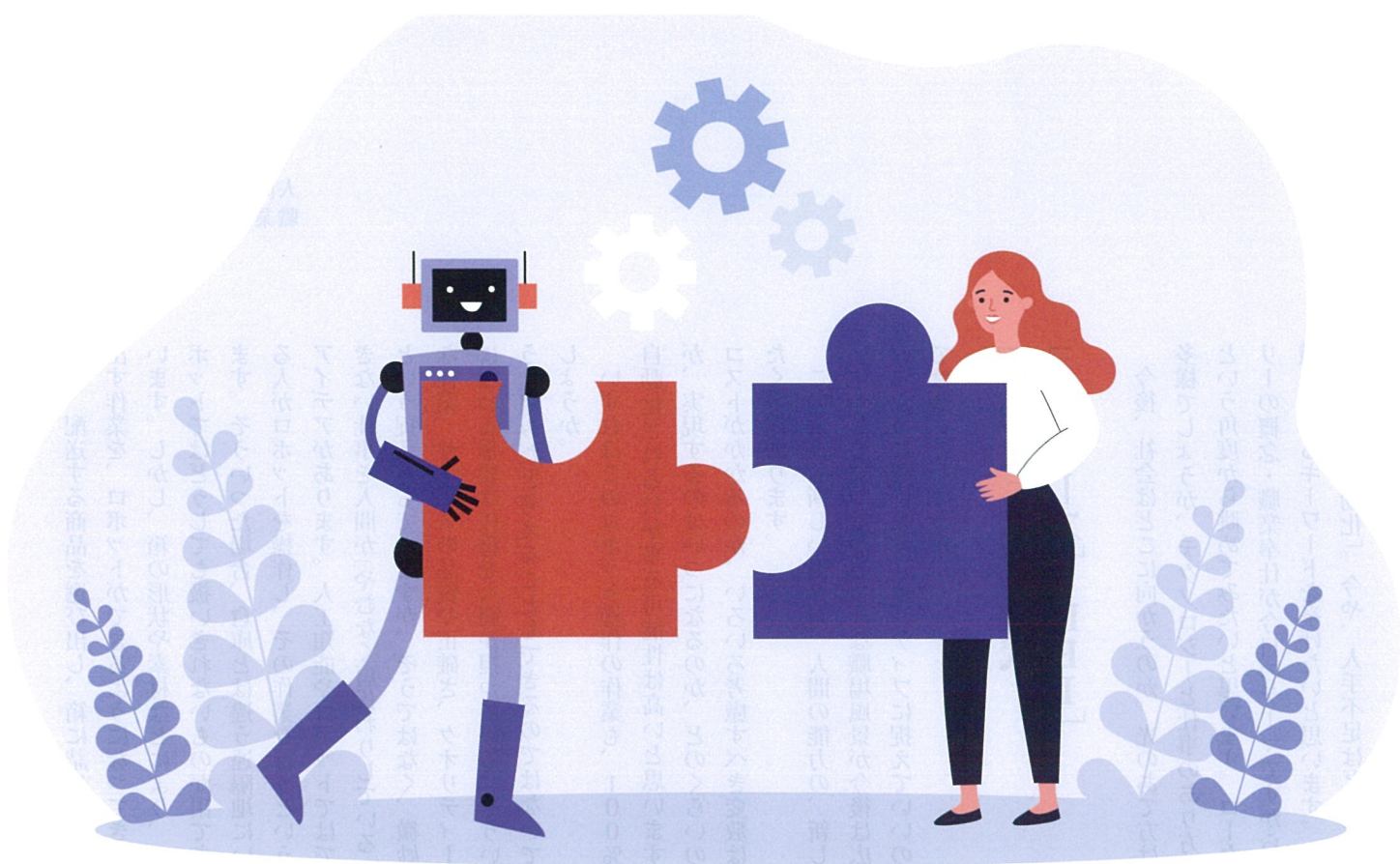
そして、「メタバース」。最近よくお聞きになる言葉であるかと思いますが。まだ定義も揺れている段階で、一過性のはやり言葉なのでは、という見方をする人もいますが、私はまじめに捉えてよい動きではないかと考えます。コンピュータで作られた仮想空間の中で仕事をしたり、エンターテ

インメントを楽しんだりコミュニケーションしたり、いろいろなことをしていくという動きのことで、「アバター」という自分の分身が仮想空間の中に入って活動をしします。

ほとんどの活動がメタバース空間の中で可能とされます。友人や家族と集う、仕事、学習、娯楽、買い物、創作をする……。さまざまな可能性があります。アバター店員が自身の人間のお客さんを接客するということもあり得ます。アバター店員にはAIが搭載されていて、人とのやり取りはインタラクティブになされる、ということですね。アバターという新しい労働力が生まれることで、自身の人間はより付加価値の高い仕事、「その人だから」できる仕事に時間を回せるということです。

さらにもう一つ、ロータリーでも挙げる「DEI」。ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン。多様性、公平性、包摂が今後の職場、仕事のキーコンセプトである、ということに異を唱える人はいないでしょう。多様なバックグラウンドを持つ人たちが、フラットな立場で多彩な活動に参画し知恵を生んでいく、という考え方は、課題が多く存在する今、とても重要だと思います。このような動きの中から、次への活力が生まれてくると思います。

先ほど、ロボットを遠隔操作し、倉庫の作業をこなすという事例を挙げました。この方式だと、高齢の人や、ちよつと体力的にきつい労働などを感じる女性でもクリアできます。多様な人が多様な形で仕事に就くことができる可能性が広がります。これも一つのダイバーシティであり、インクルージョンの実現を促すテクノロジと捉えられます。



© iStock / BRO Vector

のですが、この会社では日本語AIエンジンというものを開発しています。

読む、書く、話す。この能力を人間と比較するテストをしてみたら、E L Y Z Aの人工知能エンジンは正解率が83%、人間が80・6%、数字の上では既に人間を超えました。もっとも、ネット上の交流サイト（SNS）に書かれた大量の文章を読み、その中身がどんなものを分類するという、限定的な環境でのテスト結果ではありますが。

AIを活用すれば、多分野でタスクを任せることが出来る。例えば病院の業務。カルテを要約したり、画像とカルテの情報を合わせた診断サポートができたりするでしょう。ウェブ情報の収集・整理の自動化、定型記事の自動作成なども可能です。実際に当社でも記事の作成、発信を既に実施しています。人事にも営業にも使えそうです。AIで自動化していけば、相当プラスのインパクトがもたらせます。

「なんだ、やつぱりどんどんAIに人間の仕事は浸食されていくのか」と感じられたかもしれません。しかし、仕事、つまりジョブを分解していくと、多彩なタスクが組み合わさっています。ですから、AIがある仕事を丸ごと駆逐する、取って代わるという捉え方は、正しい理解ではありません。

記者の仕事を例に考えます。私のスマホには文字起こし機能が搭載されています。自然言語処理を行うAIが入っていて、マイクで捉えた話し言葉がリアルタイムで書き起こされる仕組みで、日本語、英語など複数の言語に対応しています。仕事柄、いろいろな人にインタビュしますが、今や一言一句まで、自力で書き起こさなくてもよい

状態になってきました。

もちろん、これだけでは記事は完成しません。やはり必要に応じて書き起こされた内容を精査し、もう一度確認することが求められます。ただ、インタビュが終わった瞬間にその書き起こしができあがっていることは大きい。プラスもう一人、インタビュする時間が作れるなど、今まで書き起こしのために費やしていた時間を、別の作業に充てることができます。仕事における時間配分が変わってきます。

言うまでもなく、新聞記者の「仕事」は文字の書き起こしが全てというわけではありません。多種多様な「タスク」によって構成されています。全自動で記事がパツと出てくるわけではありません。あくまでも「ジョブ」を構成するいろいろな「タスク」があって、一部の「タスク」が場合によっては、AIなどのテクノロジーによって自動化・代替できるというのが実態です。一足飛びに、その仕事丸ごとAIによって置き換えられるわけではありません。時間やエネルギーを、より付加価値の高いところに振り向けられるようになった、ということです。可能性の幅が大きくなったのです。もっとも、新しい手段は全て「上手に使えば」という条件があることを申し添えます。

今後、AIそのものを研究開発する仕事に加え、AI周辺にもさまざまな仕事が生まれていくでしょう。最新テクノロジーをどのように世の中に適用していけばいいのか、社会に実装していったらいいのかを考える仕事などが、当然必要になってきます。逆に、AIの進展に伴って消えていくタスクもあるでしょう。

倉庫の中の作業を自動化する動きが加速してい

人間とAIが共生する 職業の近未来のカたち

「AI」とはあくまでも道具、ツールであり、手段であって決して目的ではない。この点をまず皆さんに確認しておきたいと思います。テクノロジーとは、あくまでも人間のためにどう有効活用していくか、が主題になる道具、ツール、手段であって、決してそれ自体が目的ではありません。

日本経済新聞社 コメンテーター **村山恵一**
Keiichi Murayama

AIを上手に使えば

何年前になるでしょうか。ロボットが導入されると、人の仕事がどんどんなくなってしまうのではないかと、といったような極端な議論がありました。その後、実際にロボットが導入された職場では生産性が高まり、会社の事業が拡大し、雇用が増えた、といった事例も報告されるようになりました。もちろん、現実の社会は相当に複雑ですから、今後きちんと、導入実態を精査していかなければなりません。「現場へのAI導入に全く問題なし」と安易に、一足飛びに進むのは危険です。しかし、「人工知能が人の雇用を奪う」といったごく単純な、悲観的なシナリオは過去のものになりつつあるのでは、と私自身は思っています。ここに「2099年」という数字を挙げさせていただきます。『人工知能のアーキテクトたち』という本があります。AIの研究開発者や、AIを使ったビジネスを始めたスタートアップ経営者

など23人の専門家にインタビューした本です。もう数年前の本となりましたが、その人選は多分今でも世界のAI第一人者といっても過言ではない、という一冊です。

いわゆる汎用人工知能、これもなかなか定義が難しいのですが、この本ではそれを「人間レベルの能力を持った人工知能」と位置づけています。本の最後の方で、この汎用人工知能が実現している確率が50%以上になるのはいつ頃か、すなわち、人工知能が人間並みのレベルに達していると思えるのは大体いつ頃か、という問いを立てています。回答には2029年、2200年、とかなり幅があったのですが、平均すると2099年となりました。23人のうち5人ほど回答を拒否した人もいて、答えたのは18人。まさに最前線で研究開発、あるいはそれに関わるビジネスをしているような専門家の皆さんにとっても、この問いは非常に難しかった、という結果です。

今後、AIが人間に牙をむくような脅威的な存在になるかもしれない、というテーマから目を背けてはなりません。しかし、現時点では、まだまだこのテクノロジーの可能性の一部をほんの一触りしたような状況でしょう。ですから、当面考えるべき優先順位が高いのは、今後、どのようにAIを有益なことに使っていくのかという点であり、人としてそこに知恵を出す、そういう段階にあると私自身は思っています。

事例を挙げましょう。東京大学発のスタートアップ企業にELYZAという会社があります。人工知能研究で有名な松尾豊研究室から生まれた企業で、自然言語処理という技術を手掛けています。「自然言語」とは日常使っている言葉を指す

人間とAIが共生する
 職業の近未来のカタチ

日本経済新聞社 コメンテーター 村山 恵一

 4
85

シリーズ この人訪ねて

坂口茂樹さん 宮之城RC(第2730地区)

記事・岩田一平 撮影・熊谷武二

 9
80

卓話の泉

事業承継としてのM&A

上尾 関口良康

 13
76

私の一冊

大阪難波 中川博之

 13
76

ロータリー 俳壇

◆長谷川 權 選

 14
75

ロータリー 歌壇

◆馬場あき子 選

 14
75

ロータリー 柳壇

◆三遊亭白鳥 選

 14
75

友愛の広場

青少年交換クラブへお礼のメークアップ

人吉中央 村田優子

 16
73

榮ちゃんの炉辺談話

思いやりの心で！ 石橋会員、絵本を出版

御坊南 楠本勝彦

クラブ主催の囲碁大会でプロ将士4人目誕生

堺北 池田茂雄

R財団と46年前のロータリアンに感謝！

仙台青葉 大江勝雄

バイクで広がる、親睦グループの輪

富良野 松田英郎

◆うちの子

ロータリー・アット・ワーク

 ニシキゴイがお出迎え
 駅前のおもてなし清掃

小千谷ロータリークラブ

 京都山城／川内／川崎南／八幡浜／枚方／
 泉佐野／志賀・富来／松戸西／横浜南央／
 広島安佐／鹿児島東／熊野／箕輪／静岡RAC／
 和歌山城南／宇部／長野北東／福山／那覇東／
 日立南

 20
69

元プロ野球選手から学ぶ諦めない心

100年後につながるおしゃぎりの森

ウクライナ避難民へのチャリティコンサート

小中学生に向けてバレーボール教室開催

鴻巣の空へ久方ぶりに大輪の花

諫早にバルーンがやってきた

渋谷栄一がつかない縁 友好クラブ締結調印式

京都嵐山でプロギングとポリオ根絶活動 京都西・京都西RAC

女性の乳がん死亡者を減らそう！

薬物乱用防止キャンペーン奉仕と親睦を両立

ロケット教室大成功！

日本の教育を考える講演会

大村

村上

三島西

犬山

鴻巣水曜

諫早北

清水・深谷東

横須賀

市川東

大津中央

都留

声 10月号の感想

 31
58

表紙 横組み 「いやしの女神」

こまえ工房（しろくまアルチザン）白井淳子

表紙デザイン スタジオジャングル・ジム

表紙題字 加藤光峰

◆本誌中のRCはロータリークラブ、Rは国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた7ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

◆表紙については横組み54ページを参照。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

 ロータリーの友
 Home Page
 www.rotary-no-tomo.jp


『ロータリーの友』 創刊70周年特別企画 俳句コンテスト

テーマ ローター

思わず笑みがこぼれるようなこと、
いつまでも心に残っている出来事や、次に生かしたい反省、
ハプニングなど……。そんなロータリーにまつわる出来事を
「季語」にのせて五・七・五で詠んでみませんか？
たくさんのご応募お待ちしております。

* 句の中に必ずしも「ロータリー」と入れる必要はありません

俳句

作品募集中

季語

例えば……

春の海 雪解け 秋深し 山桜 鴨
寄鍋 松茸 仕事始 白鳥渡る
唐辛子 鏡餅 双六 苗木植う
牡蠣 冬支度 鶯(うぐいす) かまくら
初雪 門松立つ 落のとう

選 夏井いつき

写真:御厨慎一郎

募集期間

2022年9月1日～2023年2月28日

応募資格

ロータリアン、その家族、ローターアクター、インターアクター、米山奨学生などロータリーのプログラム参加者・学友

受賞発表

『ロータリーの友』2023年6月号誌面上

注意事項

ご応募はお一人1回。3句まで

応募方法

ウェブサイトもしくは、ハガキ郵送

○ウェブ応募

以下のサイトにアクセスし、応募用ボタンをクリックして画面に入力

<https://rotary-no-tomo.jp>

○ハガキ応募

作品の横にクラブ名、氏名、電話番号を明記してください
〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15-4F
ロータリーの友事務所 70係



ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

1
2023
January

SPEECH

村山恵一さん

人間とAIが共生する職業の 近未来のカタチ

この人訪ねて

坂口茂樹さん

宮之城ロータリークラブ

Rotary

